

生活環境(ごみ等)に関する市民意識調査

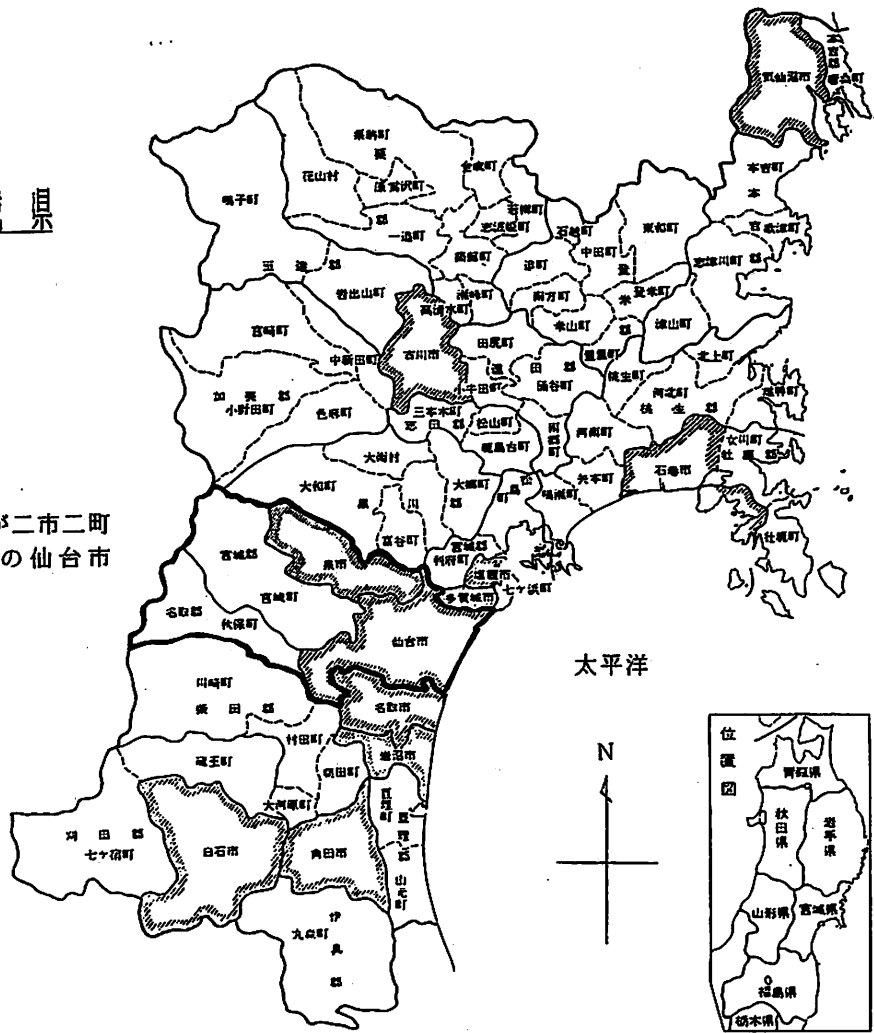
報 告 書

平成元年 11 月

仙台市環境事業局

宮城県

太線枠が二市二町
合併後の仙台市



仙台市



仙台市 / 人口 - 910,279 人 (平成元年10月1日現在推計)

面積 - 788.05 km² 世帯数 - 330,759世帯

はじめに

本市は、東北の政治・経済・交通・文化等の中心都市として発展してきましたが、昭和62年11月に宮城町、昭和63年3月には泉市及び秋保町と合併し、市域面積は237.05 km² から788.05 km² へと大きく広がり、人口は約70万人から約91万人を擁することとなりました。そして、平成元年4月1日からは全国11番目の政令都市に指定され、国の多極分散型国土建設の計画とも相まって、より一層の発展が期待されています。

ところで、このような都市化の進展の中で、私たちを取り巻く環境は次第に厳しくなってくることが認識されてきています。特に廃棄物を取り巻く環境は生活の多様化及び産業社会の変化に伴い大きく変化してきており、今日の経済動向等を反映してますます複雑化の様相を呈しています。

このような情勢の中で、生活環境の保全という大きな役割を担う廃棄物処理事業は、私たちの日常生活に最も密着したものとして一日も揺るがせにできない事業であります。日々活発化する都市活動の中で、二市二町の合併に伴って生じた廃棄物処理事業に係る格差・制度の相違等の調整、政令都市としての機能の充実及びごみ量の増加への対応等早急に検討すべき様々な課題を抱えております。

このような仙台市の廃棄物処理事業に係る様々な問題を解決するためには総合的に施策を検討する必要があります。本調査は、この検討に資するため実施したもので、調査結果を総合すると、現時点ではおおむね各地区の現状で満足されていると考察しております。しかしながら、細部にあつては、行政施策の積極的な推進が必要とされることもあり、また、市民の皆様からの改善要望等について応えてゆく必要もあると考えております。

本調査の結果をここに発表しますと共に、この内容をさらに検討いたしまして、今後のより快適な環境づくりを進めてまいりたいと思います。

調査にご協力いただきました市民の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、併せて調査にあたり並々ならぬご協力をいただきました生活環境研究会（代表者 東北大学助教授 海野道郎 氏）に対し感謝申し上げます。

平成元年11月10日

仙台市環境事業局

目次

【調査の概要】

1. 調査の目的.....	1
2. 調査項目.....	2
3. 調査の方法.....	5

【調査結果】

1. 対象世帯と記入者.....	8
1. 1. 基本属性.....	8
1. 2. 一般的態度.....	15
1. 3. 環境問題への関心と情報接触.....	20
2. ごみ・し尿に関する意識と実態.....	28
2. 1. 収集回数.....	28
2. 2. 排出方法.....	39
2. 3. 分別収集.....	53
2. 4. ごみ集積所.....	78
2. 5. 集団資源回収.....	95
2. 6. し尿処理.....	102
3. 自由意見.....	113

【付録】

1. 調査票.....	全18頁
2. 単純集計表.....	全28頁

【調査の概要】

1. 調査の目的

廃棄物処理事業については、合併協定により当面のところは各市町の事業内容をそのまま引き継ぐことになっているため、現状では、例えばごみについては、合併地区ごとに分別の種類、収集回数、収集方式、収集・処分の業態、手数料等が異なっている。し尿についても同様のことが言える。このため現在生じている地域格差を是正すべく、収集回数、手数料等の統一に向けての調整、又は現段階で統一することが必ずしも得策でないと考えられる合併後の各地区の既存の収集方式、収集・処理形態等が地域の実状にあったものなのかどうかなどの検討を早急に行ない、行政水準の高い住民サービス提供に向けての制度の改善をおおむね平成3年度までに行う必要がある。

そこで、当局内に検討委員会を設置し、鋭意検討を進めているところであるが、本調査では、これらの実態を把握し整理するとともに、住民に密接に結びついたごみ及びし尿の処理に係る行政サービスの供与が住民にとって均等で満足のいく制度となるよう、住民の意向を調査し、今後の行政施策の検討に資することを目的とする。

2. 調査項目

調査票の設計に当たり、生活環境研究会に検討を依頼し、調査項目を次のような手順で決定した。

(1) ごみおよびし尿処理に関する意識と実態

まず、ごみについては次のような事項を知る必要がある。

ごみ種(可燃・不燃・資源・粗大・有害・臨時)ごとの排出方法の実態/
集積所に主にごみを運ぶ人/収集回数/分別の種類/収集(排出)方法の
是非/手数料/集積所の設置状況/資源化・減量化に対する意識/集団資
源回収等の回数、参加協力の実態と意識/意見・要望等

また、し尿については、次のような事項を知る必要がある。

し尿の処理方法/汲み取り回数の実態/汲み取り業者のサービス、応対等
について/手数料/意見・要望等

以上の実態等を調査するのは、「ごみ」や「し尿」についての行政的対応が、
地区(合併前の市町=旧仙台、泉、宮城、秋保)によって異なっているため必ず
しも容易ではない。しかしながら、この与件は、本調査そのものの企画動機の一
部を成しているため避けることはできない。それゆえ、地区別の比較を極力可能
とするために、同一の調査票を用いて全地区を調査することとした。このため、
調査票自体は若干複雑にならざるをえなかった。

(2) 基本属性

ごみやし尿に関する上記の行動や態度は、住民のもつさまざまな属性によって
変化することが考えられるため、次のような事項を調査票に含めた。

居住地区/小学校区/年齢/性別/職業/在住期間/世帯人数/住居の種別

(3) 一般的態度

当面必要な項目だけに調査項目を限定するのではなく、これまでに行われた各種
の調査や今後企画されるべき調査と関連づけるための項目を配しておくべきであ
るという観点から、以下の事項を加えることとした。

これは、①生活環境に関わる行動、特に分別や集団資源回収に関する行動や態
度は、住民の価値観と関わっているものと考えられる、②このような行動は、た
だ単にごみやし尿の問題に局限されるのではなく、行政が対応すべき多くの問題
と関わってくるという、配慮からである。

生活満足感/社会満足感/公平感/社会のイメージ/階層帰属意識/価値
志向/公共性に対する見解

(4) 環境問題への関心と情報接触

廃棄物についての問題は重要な環境問題の一つであるがゆえに、ごみ問題に対
する行動や態度を考える際には環境問題一般に対する関心を無視できない。そこ
で、環境問題に対する関心及び環境問題への関心に少なからず影響を与えている
と考えられる情報への接触について探るため、次のような事項を含めた。

環境問題への関心/環境破壊防止行動/情報メディアへの接触

上記のような方針に則り、作成した質問項目は以下のとおりである。

①基本的属性について

- 問1...居住年数
- 問2...仙台市在住の希望
- 問54...居住地域
- 問55...学区
- 問56...住居の形態
- 問57...記入者の年齢
- 問58...記入者の性別
- 問59...世帯人数
- 問60...家計支持者の職業
- 問61...記入者の職業

②一般的態度について

- 問3...日本社会を表す言葉
- 問4...公平感
- 問5...領域別不公平感
- 問33...日本社会に対する満足感
- 問34...公共性に対する見解(新幹線公害問題に対する態度)
- 問35...価値志向
- 問36...生活に対する満足感
- 問37...階層帰属意識

③環境問題への関心と情報接触について

- 問6...環境問題への関心度
- 問7...経済発展か環境保護か
- 問8...記入者自身が重要だと思う環境問題
- 問9...新聞で重要だとされている環境問題
- 問10...環境汚染防止のために実行していること
- 問29...仙台市広報への接触度
- 問30...テレビニュースの視聴時間
- 問31...購読新聞と閲読時間
- 問32...環境問題に関する記事への接触度

④収集回数について

- 問20...ごみ種(可燃・不燃・資源・有害)ごとの現在の排出回
数の実態と希望する収集回数
- 問21...粗大ごみ排出回数の実態と排出しなかった理由
- 問22...粗大ごみ収集の希望回数
- 問23...臨時多量ごみ排出の有無と処理方法

⑤排出方法について

- 問38.. 容器の希望（ポリバケツか袋か）とその理由
- 問39.. 排出形態（容器など）の実態
- 問40.. 特殊なごみの排出形態

⑥分別収集について

- 問41.. 分別の実態
- 問42.. 分別収集に関する意見
- 問43.. 分別の希望
- 問44.. 実行しているごみの減量方法
- 問45.. 実行しているごみの再利用法

⑦ごみ集積所について

- 問11.. ごみ集積所に主にごみを運ぶ人
- 問12.. ごみ集積所までの道のり
- 問13.. ごみ集積所までの距離感
- 問14.. ごみ集積所の清潔度
- 問15.. 動物による集積所の被害
- 問16.. ごみ集積所を掃除している人
- 問17.. 近所の家のごみを出す時間
- 問18.. 自分の家でごみを出す時間
- 問19.. 近所付き合いの程度

⑧集団資源回収について

- 問24.. 集団資源回収実施の有無
- 問25.. 集団資源回収の回数の実態
- 問26.. 集団資源回収の回数の評価
- 問27.. 集団資源回収への協力の実態
- 問28.. 集団資源回収への協力の意志

⑨し尿処理について

- 問46.. トイレのタイプ
- 問47.. くみ取り方法
- 問48.. くみ取り頻度の実態
- 問49.. くみ取り頻度に対する評価
- 問50.. くみ取り連絡への対応（業者はすぐに来るか）
- 問51.. くみ取りで支払う手数料の実態
- 問52.. くみ取りの手数料に対する評価
- 問53.. 希望するくみ取り方法

⑩自由意見欄

実査に使用した調査票（付録1. 参照）では以上の項目を話題の系列を考慮して問番号のとおり配列したが、調査結果の章では①～⑩の順序でテーマごとにまとめた。

3. 調査の方法

(1) 調査地域

仙台市全域

(2) 調査対象と理論母集団

仙台市住民基本台帳（平成元年6月現在）に登録された全世帯（約33万世帯）から、地区ごとに無作為に抽出した世帯

(3) 標本数

基本サンプル 1,497(旧仙台地区1,240、泉地区208、宮城地区42、秋保地区7)

補充サンプル 803(泉地区292、宮城地区258、秋保地区253)

合計 2,300(旧仙台地区1,240、泉地区500、宮城地区300、秋保地区260)

*本調査には、①現仙台市全体についての推定と、②合併前の旧市町ごとの推定という2つの課題があるが、①を地区ごとの世帯数に比例配分させた基本サンプルによって、②を補充サンプルも含めた全サンプルによって行った。調査結果の記述の際の「仙台市全体」は基本サンプルについてのデータを指す。

(4) 抽出方法

地区ごとの事情の相違から、実査の便宜および推定の誤差の精度を考慮して、それぞれ以下のような抽出方法を採用した。

旧仙台地区：確率比例抽出法

まず第1次抽出単位として79の小学校区の中から、各校区の世帯数に比例する確率で無作為に次の31校区を抽出した。

立町	八幡	高砂	四郎丸	金剛沢	幸町南
南材木町	南小泉	東長町	遠見塚	桜丘	荒町
長町	若林	上野山	八木山南	上杉山通	向山
国見	北仙台	川平	通町	西多賀	荒巻
鶴谷	東四郎丸	榴岡	六郷	台原	大和
東宮城野					

さらに第2次抽出単位として、1校区当たり40世帯を系統抽出法で無作為に抽出した。

泉地区：層化2段確率比例抽出法

泉地区の24の小学校区を、旧市街地（七北田）、農山村（野村、根白石、実沢、福岡）、新興住宅地（上記以外の19校区）の3つに層化し、500世帯を各層の世帯数に比例配分した結果、旧市街地に42、農山村に

18、新興住宅地に 440世帯が割り当てられた。そして第1次抽出単位として、農山村 1校区、新興住宅地11校区を世帯数に比例する確率で無作為に抽出した。その結果選ばれたのは、次のとおりである。

農山村：	根白石				
新興住宅地：	黒松	南光台東	八乙女	南光台	松森
	鶴が丘	將監	泉ヶ丘	虹の丘	向陽台
	加茂				

さらに第2次抽出単位として、七北田42世帯、根白石18世帯、及び新興住宅地の11校区については各40世帯を系統抽出法で無作為に抽出した。

宮城地区：系統抽出法

宮城地区の全世帯から 300世帯を系統抽出法で無作為に抽出した。その結果、小学校区ごとのサンプル世帯数は、広瀬126、上愛子28、作並16、新川分校3、大沢45、川前20、大倉5、吉成57 となった。

秋保地区：系統抽出法

秋保地区の全世帯から 260世帯を系統抽出法で無作為に抽出した。その結果、小学校区ごとのサンプル世帯数は、秋保76、馬場43、湯元141 となった。

【調査結果】

以下に、調査結果を報告する。全体は次の3つの部分に分かれている。

- ① 調査の対象となった世帯の概要を記し、他の調査結果との対照をふまえて、対象世帯及び回答者の性質を明らかにしたもの
- ② 「ごみ」及び「し尿」の処理に関する実態と意識
- ③ 調査票の最後に記した「自由意見」の紹介

①及び②では、テーマごとに、まず個別の質問項目に対する回答結果を列挙し、その後、各テーマ毎に若干の考察を加えた。

本章を読むに先立って、若干の注意が必要である。

まず第1に、記述は、分かりやすさに重点をおいて、図表を多用している。特に各項目の単純集計は、原則として地区別のグラフで表示してある。これに対応する集計表は巻末に付録として収録されているので、必要に応じて付録をも参照されたい。

第2に、本報告書で取り上げるごみ等に関する問題は、社会的装置や社会規範及び個人の価値意識や利害などが複雑に絡まりあった社会過程である。したがって、それを分析するためには、その複雑さに見合った分析装置が必要とされる。

しかし、本報告書の内容は、報告書の性質および予算や時間の制約から、ごく基本的な集計結果の報告とそこから引き出された推察に限定されている。一方、分析技術の発展の中で、表面に現れた相関関係の裏には疑似的な因果関係が隠されている場合もあることが知られている。したがって、本報告書を読む場合には、表面に現れた関係は必ずしも因果関係ではない、ということに留意する必要がある。また、本報告書に含まれる推察をより確かなものにするために、必要によっては本報告書を踏まえ、より詳細で発展的な調査を継続してゆくことが大切と考えられる。

凡例：1. 図表中の数字は、原則として個々の選択肢の百分率を小数点以下で四捨五入したものである。したがって、単一回答の項目においても合計は必ずしも100%にならない。

2. 「仙台市全体」はここでは、基本サンプルについてのデータを指しており、補充サンプルを含めたデータではない。

3. 記号「**」は、『賛成』＝「賛成」＋「やや賛成」のように、2つ以上の選択肢を合併したことを示す。**

(5) 実査期間

平成元年7月14日(金)～7月24日(月)

(6) 実査方法

対象世帯に調査票をあらかじめ郵送し、調査員が訪問して回収する、郵送併用の留置法

(7) 回収数

基本サンプル	1,317(旧仙台地区1,081、泉地区196、宮城地区35、秋保地区5)
補充サンプル	717(泉地区281、宮城地区226、秋保地区210)
合計	2,034(旧仙台地区1,081、泉地区477、宮城地区261、秋保地区215)

*回収率は、基本サンプル88.0%、補充サンプル89.3%、合計88.4%であった。(旧仙台地区87.2%、泉地区95.4%、宮城地区87.0%、秋保地区82.7%)

調査不能は合計 266票、理由は拒否82、不在99、転居52、病気 3、その他30であった。その他には高齢、調査票紛失等が含まれる。

1. 対象世帯と記入者

1. 1. 基本的属性

居住地域の種類（問54）

記入者が住んでいるのはどのような種類の地域であるかという質問に対して、仙台市全体では7割強の人が「ほとんど住宅の地域」だと答えている。

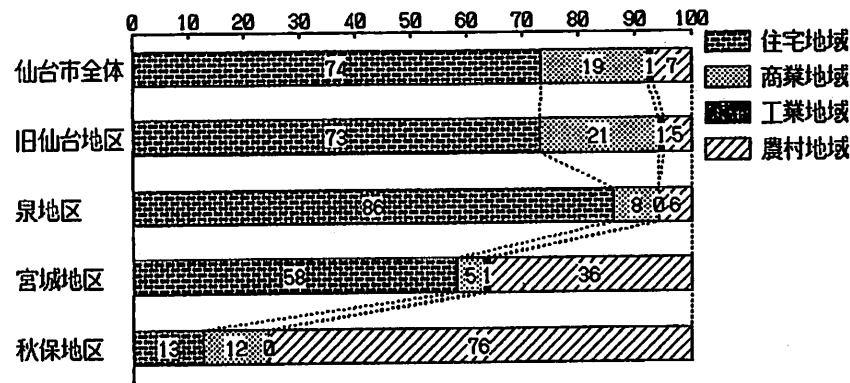


図1.1.1. 居住地域の種類 (%)

地区ごとにみると、旧仙台地区及び泉地区では住宅地域が各々約7割及び約9割を占め、宮城地区では住宅地域が約6割を占め、秋保地区では農村地域という回答が約8割であった。

居住年数（問1）

記入者自身の仙台市（旧泉市・宮城町・秋保町を含む）での居住年数を尋ねたところ、仙台市全体では約8割が仙台市に10年以上住んでいると答えている。地区ごとの特徴としては、泉地区では10年～19年住んでいる人及び20年以上住んでいる人の割合が各々約4割であった。また秋保地区では20年以上住んでいる人の割合が約7割と4地区の中では最も高かった。これは、近年開発された新興住宅地への人口の流入が多く、一方、農山村地域の多い秋保地区では人口の流入が少ないことによるものと考えられる。

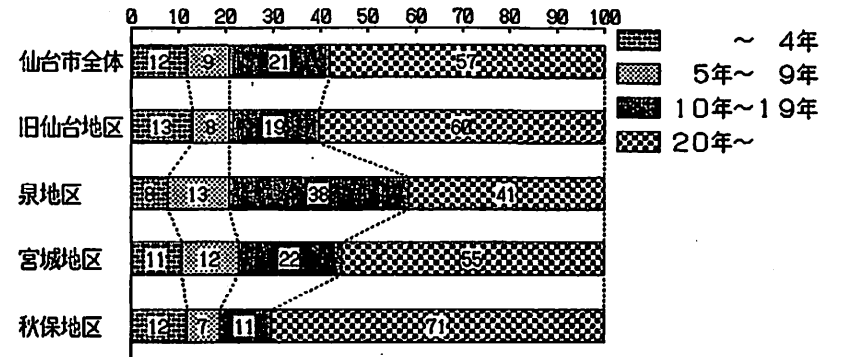


図1.1.2. 居住年数 (%)

仙台市在住の希望（問2）

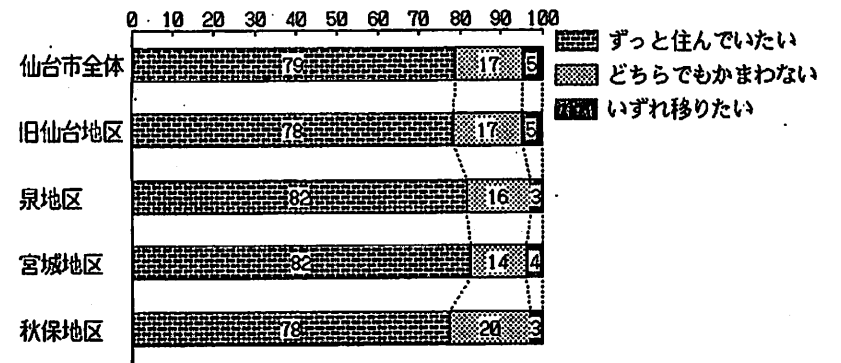


図1.1.3. 仙台市在住の希望 (%)

仙台市に住んでいる人たちの本市への在住希望については、仙台市全体では約8割の人が「ずっと仙台に住んでいたい」と回答している。一方、「いずれ仙台市外に移りたい」とする人は5%と少ない。

世帯人数（問59）

仙台市全体で世帯全体の人数をみると、4人世帯が最も多く、次いで2人世帯、1人世帯、3人世帯、5人世帯、6人世帯、7人以上の世帯となっている。

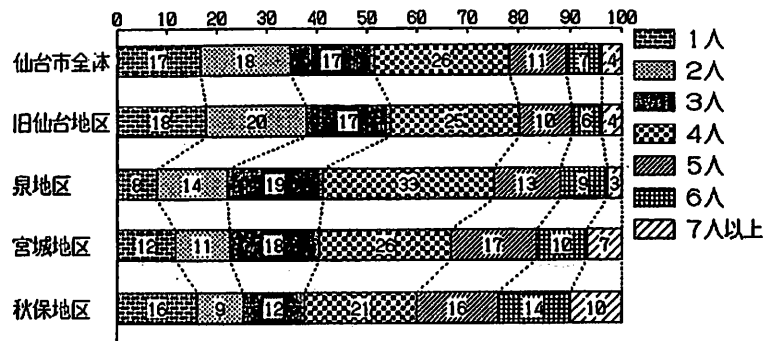


図1.1.4. 世帯人数（全員）（％）

現在の住まいの形態（問56）

対象となった世帯の住まいについて、回答をごみ処理との関わりという点から一戸建て（持ち家・借家）、共同住宅（マンション・アパート・公営住宅・社宅等）、その他（下宿・福祉施設等）の3つに分類した。地区別に見ると、一戸建ての比率は旧仙台地区が6割であり、他は全て約8割と高くなっている。

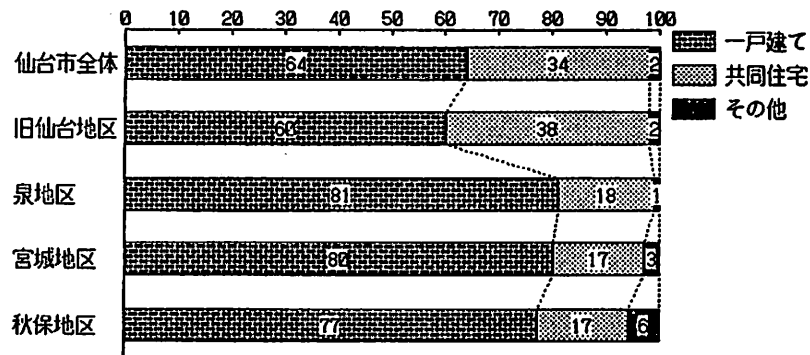


図1.1.6. 住居の形態（％）

記入者の年齢・性別（問57・問58）

仙台市全体での記入者の年齢・性別の構成は30代～50代の女性が多く、男性の記入者は、20代～70代以上まで1割以下ではあるがほぼ同程度に広がっている。

地区別で見ると、前ページの図1.1.7.のように、最も顕著な特徴があるのは秋保地区で、記入者の約半数が男性であり、50代、60代では女性よりも多くなっている。

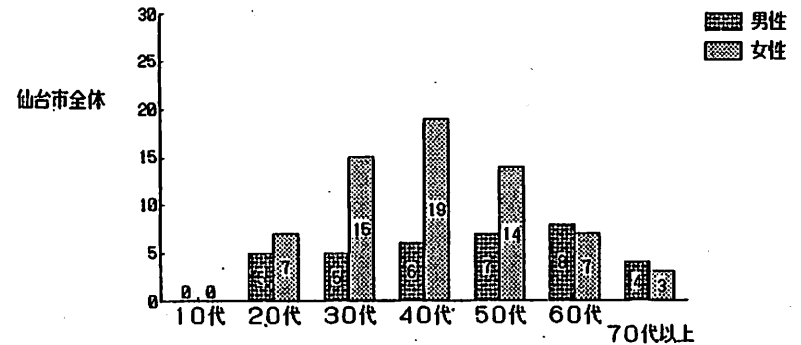


図1.1.7. 記入者の年齢・性別（地区別）（％）

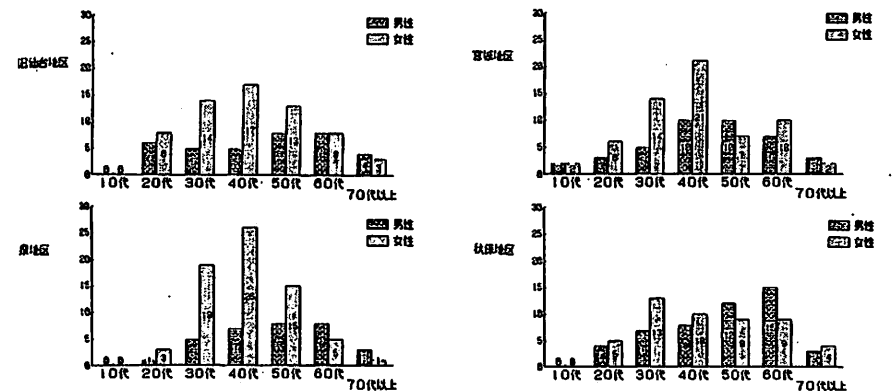


図1.1.8. 記入者の年齢・性別（仙台全体）（％）

各家庭の家計支持者について（問60）

各家庭に家計支持者の職業について尋ねた。ここで家計支持者とは、その家庭で一番収入の多い人を指している。

家計支持者と記入者の関係（問60・A）

仙台市全体で、主な家計支持者が記入者の配偶者であるというのは約5割、本人であるというのは約4割であった。

地区別では、泉地区で配偶者という回答が約6割と比較的多く、秋保地区で本人という回答がおおよそ半数近くを占めた。

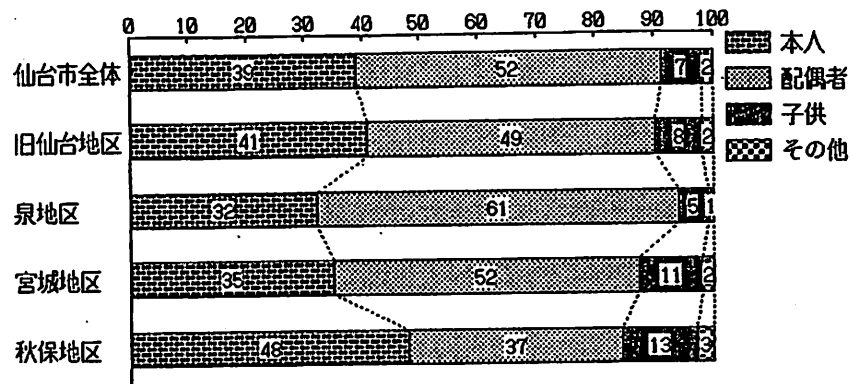


図1.1.9. 家計支持者と記入者の関係 (%)

家計支持者の職業 (問60・B)

家計を支持している人の職業を尋ねた結果、全体的に6～7割が常時雇用の一般従業者であった。

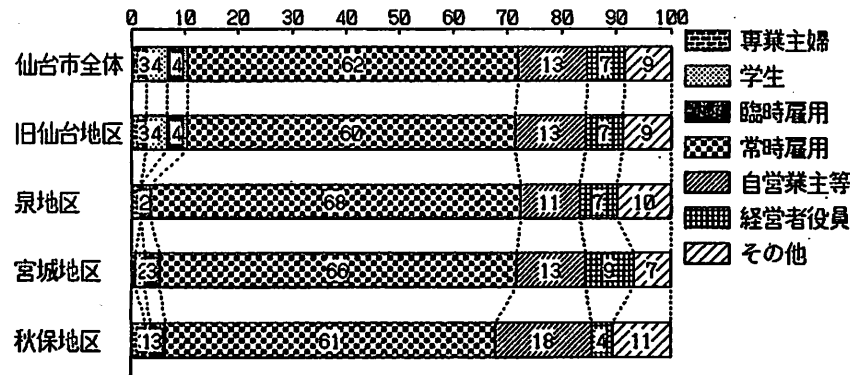


図1.1.10. 家計支持者の職業 (%)

家計支持者の就業先の規模 (問60・C)

家計支持者の勤務先の規模を全体的にみると、「1～499人」が約6割と最も多かった。また、「1000人以上」、「官公庁」、「500～999人」と続いている。ただし秋保では1000人以上の企業に勤める人が比較的少なく、官公庁等に勤める人の割合が他の地区に比べ若干高くなっている。

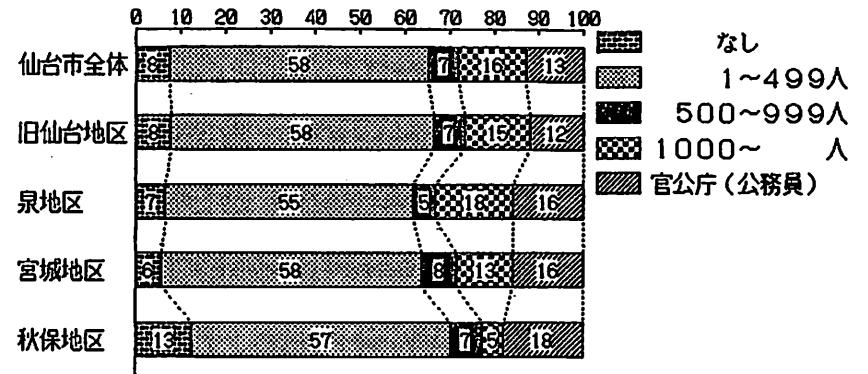


図1.1.11. 家計支持者の就業先の規模 (%)

家計支持者の職業内容 (問60・D)

家計支持者の仕事の内容として、仙台市全体では専門的職業、事務的職業、熟練・労務的職業及び、販売的職業がほぼ同じ割合を占めている。

旧仙台、泉地区はほぼ同じような結果になっているが、宮城地区では熟練・労務的職業が28%と比較的多く、専門的職業が14%と少ない。秋保地区は、熟練・労務的職業が全体の4割弱を占め、他と比べて農林水産業が多かった。

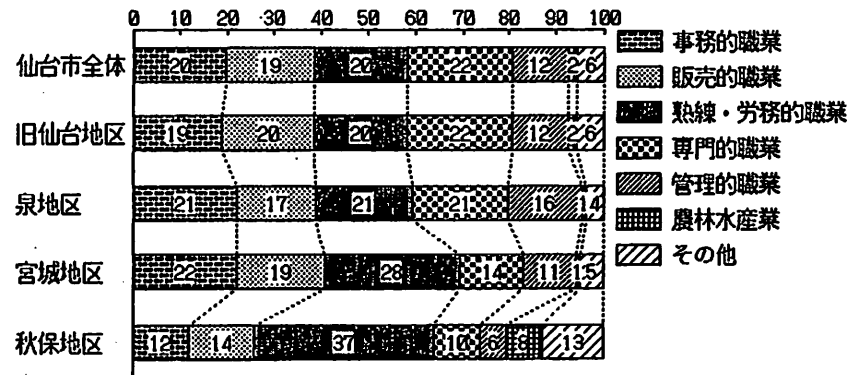


図1.1.12. 家計支持者の職業内容 (%)

記入者の職業（問61）

記入者本人の職業は、仙台市全体では専業主婦、常時雇用の一般従業者の割合が各々約3割ずつ、パート等の臨時雇用、自営業主や家族従業者はそれぞれ約1割、また学生や経営者・役員はともに4%となっている。

地区ごとの比較をすると専業主婦の割合が秋保地区で小さくなっており、この地区でのみ男性の記入者が多かったことと呼応している。さらに、他にも常時雇用の一般従業者、自営業主や家族従業者の占める割合が高いなど、他の地区とは異なる特徴が見られる。

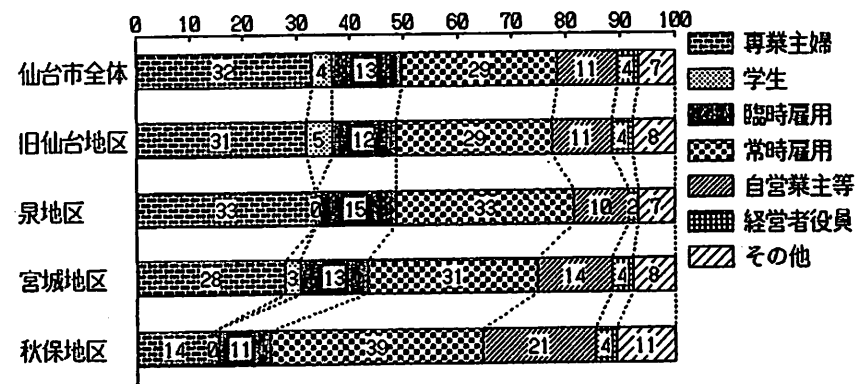


図1.1.13. 記入者の職業 (%)

1. 2. 一般的態度

この調査では、ごみに直接関係した質問だけではなく、一般的な価値観や社会に対する評価なども尋ねている。

日本社会を表す言葉(問3)

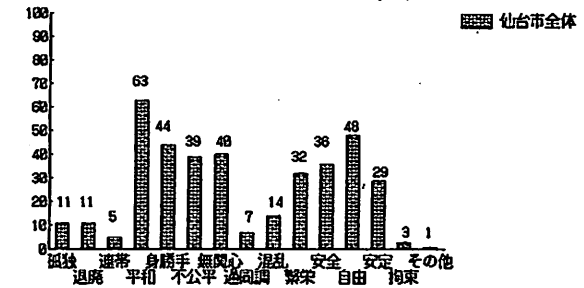


図1.2.1. 日本社会を表す言葉 (%)

この問では14の単語から日本社会に当てはまると思うものを好きなだけ選んでもらった。その結果、仙台市全体では「平和」を選んだ人が約6割と最も多く、以下、図1.2.1.のとおりである。

公平感(問4)

次に今の日本社会は公平だと思うかどうか尋ねてみた。すると『公平』（「公平」＋「だいたい公平」）と答えた人が35%、『不公平』（「余り公平でない」＋「公平でない」）が65%、という結果が得られた。また、地区による差はほとんど見られない。

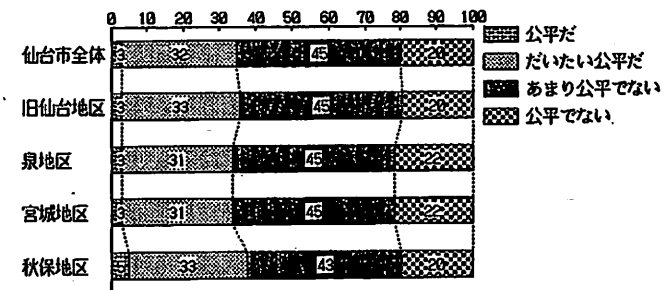


図1.2.2. 公平感 (%)

領域別不公平感(問5)

仙台市民の半数以上の者が感じている「不公平」の中身として、最も多くの人に指摘されたのは「学歴による不公平」であり65%であった。「職業」、「貧富」が共に約5割と、業績的地位による不公平が生得的地位による不公平を上回っている。

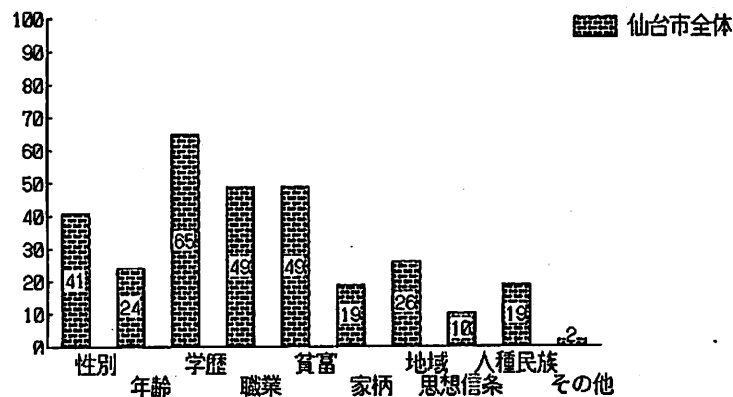


図1.2.3. 領域別不公平感 (%)

日本社会に対する満足感(問33)

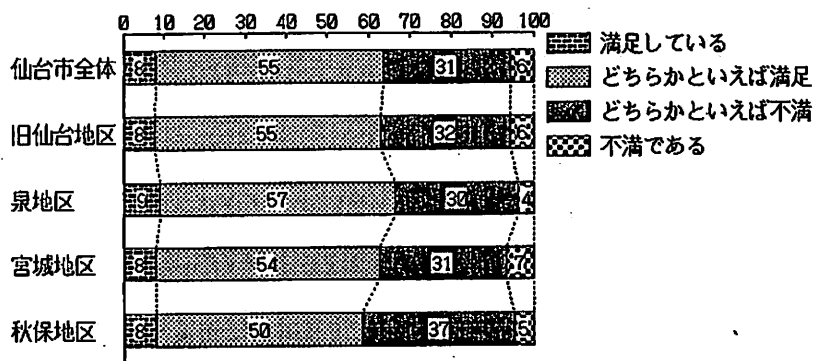


図1.2.4. 日本社会に対する満足感 (%)

今回の調査の回答者の65%が「不公平」と感じている日本社会は、果して満足していく社会だろうか。この調査の結果では約6~7割の人が『満足』（「満足」+「どちらかといえば満足」）と答えている。

新幹線公害問題に対する態度（公共性に対する見解）(問34)

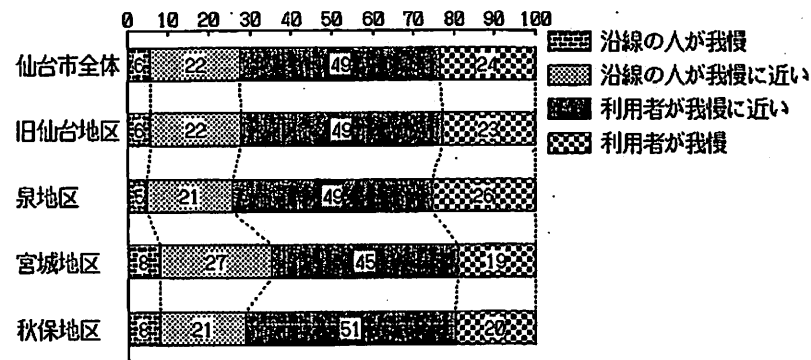


図1.2.5. 新幹線公害問題に対する態度 (%)

新幹線の持つ最大の利便性は高速性にある。一方、その分騒音もひどくなり、沿線住民の被害も増大する。仙台市全体では73%の人が「利用者が我慢すべきに近い」（どちらかと言えば近いも含む）と答えており、約7割の人が、“個人よりも社会的な損失を抑えることが優先する”という考えを多くの人が支持していることになる。

価値志向(大切なこと)(問35a)

限りある人生において重視すると考えられる各項目について、『重要』（「かなり重要」+「まあ重要」）と答えた人の比率を地区別に示したものである。全体的に、『重要』と答える比率の最も高い項目は「人並に暮らす」で、一方「高い地位につく」が最も低い。

表1.2.1. 各項目に「(かなり・まあ)重要である」と回答した人の比率

(%)	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
高い収入を得ること	77	77	78	80	72
高い地位につくこと	28	28	29	30	24
人並に暮らすこと	85	84	88	85	84
趣味に打ち込むこと	62	62	58	64	51
のんびり暮らすこと	70	70	71	67	56
仕事に生きること	56	55	57	62	64

価値志向(一番大切なこと)(問35b)

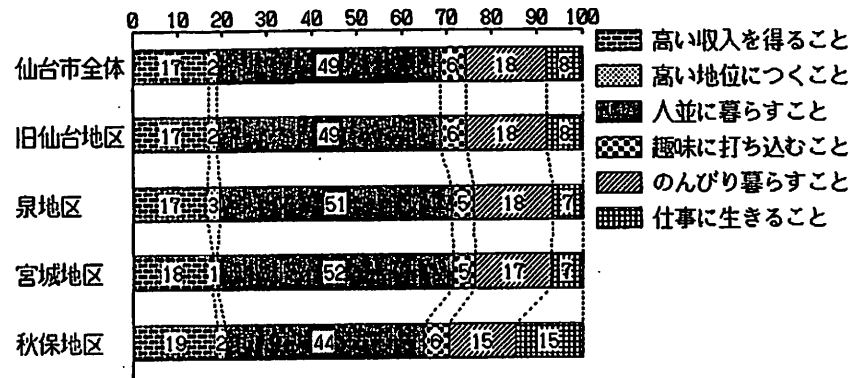


図1.2.6. 価値志向(一番大切なこと) (%)

6つの項目のうち何が最も大切かという問では、「人並に暮らすこと」がほぼ5割、「のんびり暮らすこと」、「高い収入を得ること」が各々約2割と続いている。

生活に対する満足感(問36)

問33で、社会に満足している人は全体の約3分の2であったが、自分の生活についても『満足』（「満足」+「どちらかといえば満足」）とする人が約7割と、ほぼ3分の2を占めた。

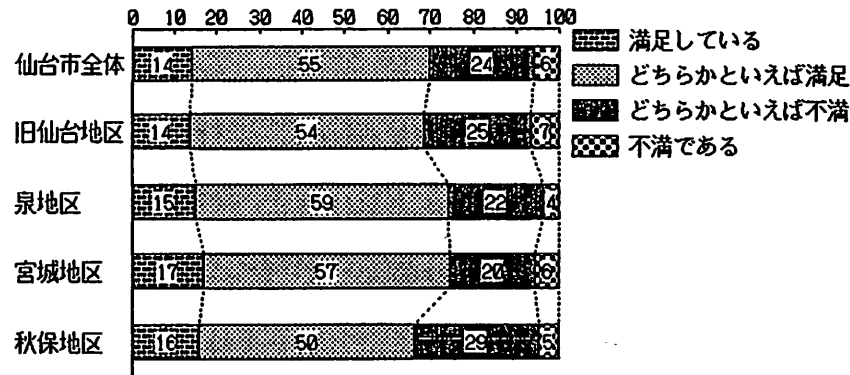


図1.2.7. 自分の生活に対する満足感 (%)

階層帰属意識(問37)

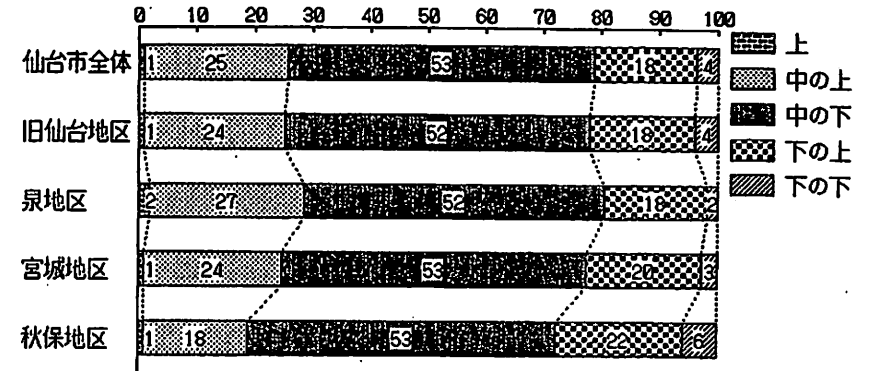


図1.2.8. 階層帰属意識 (%)

仙台市民は自分が社会全体の中でどの階層に属していると考えているのだろうか。最も多いのは「中の下」で5割強であった。

まとめ

日本社会に対するイメージは、「社会全体は「平和」で「自由」であるが、人間関係においては「身勝手」で「無関心」である」と言えるようである。また、公平感についての問では「あまり公平でない」と答えた人が2/3おり、その内容は、「学歴」、「職業」、「貧富」といったものが多かった。

このように、多くの人不公平を感じている一方、満足度に関しては「日本社会」に対しても「自分の生活」に対しても2/3の人が『満足だ』と答えている。

これらのことから、様々な不公平の存在を認めながらも、日本社会や生活の現状にはそれほど不満を抱いていないことがうかがえる。

階層意識については、約8割近くの人が「中」に属すると答えており、中流意識の強さがよく現われている。しかも、「大切なこと」の中に「高い地位につくこと」を含めている人は3割弱にとどまり、「一番大切なことは何か」に対する答として「人並に暮らすこと」を挙げる人が全体の5割を占めており、階層意識がライフスタイルにも影響していると考えられる。

1. 3. 環境問題への関心と情報接触

環境問題への関心度 (問6)

「環境問題について非常に関心がある」という回答は仙台市全体では約3割であり、「まあ関心がある」を加えると環境問題に関心を持っている人は約9割になる。地区ごとの差はそれほど大きいものではない。

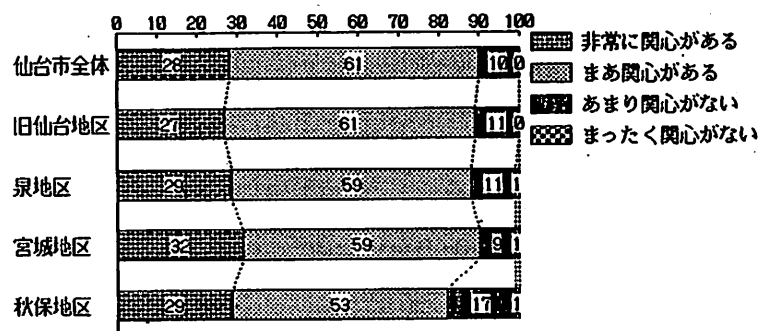


図1.3.1. 環境問題への関心度 (%)

経済発展か環境保護か (問7)

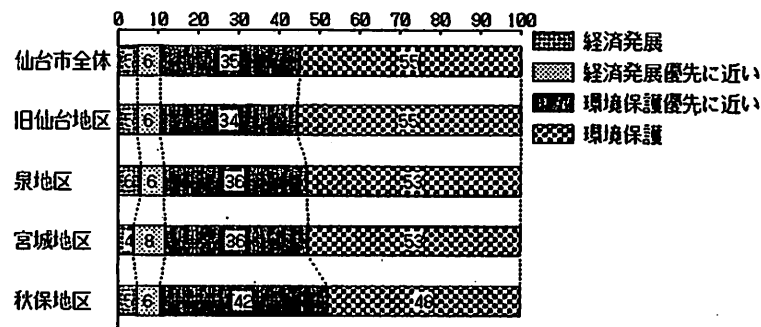


図1.3.2. 経済発展か環境保護か (%)

- A : 自然や生活環境を守ることも大切だが、日本の経済が停滞するのは望ましくない。
 B : 日本経済の発展も大事だが、そのために自然や生活環境が損なわれるのは望ましくない。

仙台市全体でみると、「経済発展よりも環境保護を優先させるべきである」という考えを持つ人が9割を占めている（「どちらかといえば環境保護優先」という回答を含める）。この考えを積極的に支持する人だけでも半数を越えている。

記入者自身が重要だと思う環境問題 (問8)

調査票では記入者本人が重要だと思う環境問題を重要度の高いものから順に3つ挙げてもらった。グラフの数字は、1位から3位までにその問題を挙げた人の割合を示している。

仙台市全体では「フロンガスによるオゾン層破壊」(61%)、「有害廃棄物の処理」(58%)、「乱伐による森林の破壊」(56%)となっている。「有害廃棄物の処理」問題を重要度の1位や2位に挙げた回答者の割合はさほど高いものではないが、3位に挙げた人の割合は一番大きい(仙台市全体で28%)。多くの人が、常にある程度は関心を持ち続けている問題だといえるであろう。地区別にみると、旧仙台、泉、宮城の各地区では三位以降の順位に多少の違いはあるものの、1位は「フロンガス」であり、2位は「森林乱伐」である。ところが、秋保地区の1位は水質汚染(62%)であり、以下、森林乱伐(59%)、廃棄物処理(54%)と続き、「フロンガス」は4位(51%)にとどまっている。秋保地区は、大多数の世帯が名取川沿いにあるため、河川の水質汚染を身近な環境問題としてとらえていることがその要因の一つと考えられる。

新聞で重要だとされている環境問題 (問9)

新聞で重要だとされている環境問題を、問8と同様に重要度の高いものから3つ挙げてもらい、各問題について、1位から3位までのいずれかにそれを挙げた人の比率をグラフ化した。

仙台市全体では、「フロンガスによるオゾン層破壊」という回答が約8割と一番多かった。地区別にみると、旧仙台、泉及び宮城地区では「フロンガス」の回答は約8割、秋保地区は約7割だった。二番目に多かったのは「スパイクタイヤによる粉じん公害」(54%)である。この項目は他の項目に比べればローカル色が強いが、仙台市民にとっては身近な環境問題であるため、地方紙に数多く取り上げられたためであろう。以下、仙台市全体、各地区ともに「森林乱伐」、「廃棄物処理」と続く(ともに43%)。

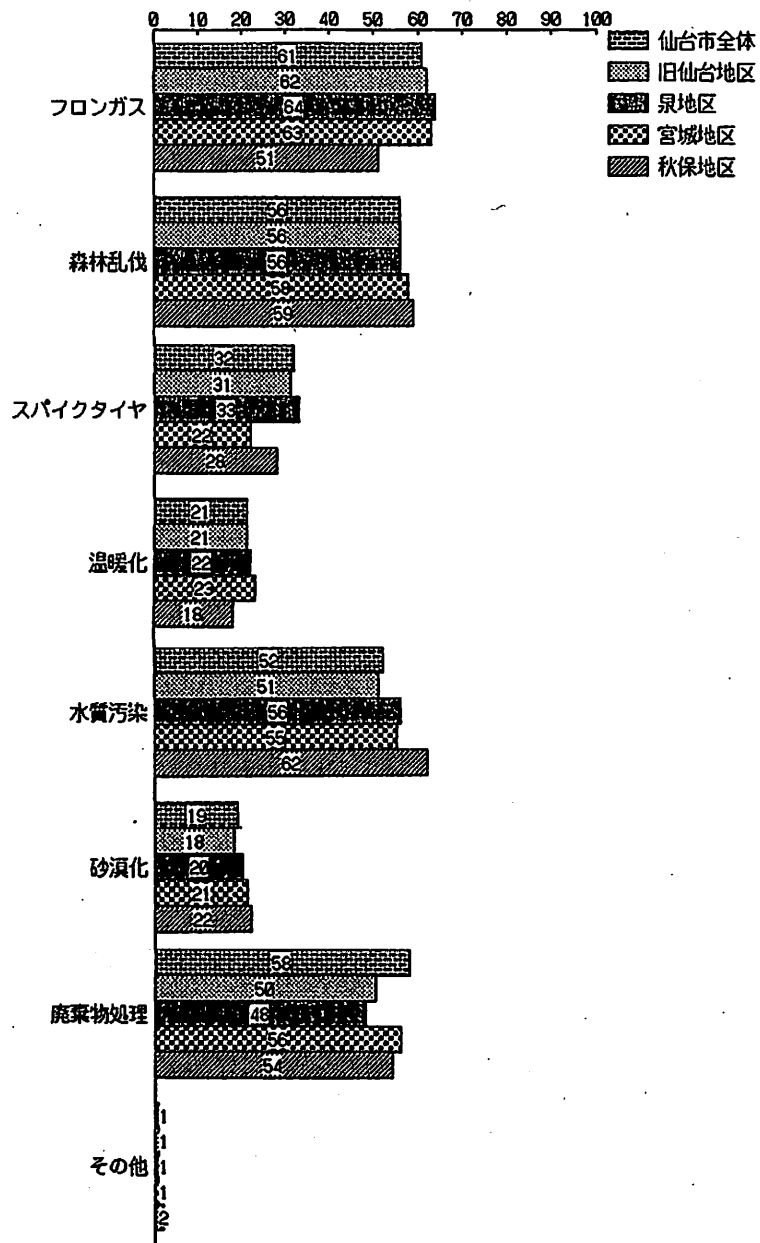


図1.3.3. 記入者自身が重要だと思う環境問題 (％)

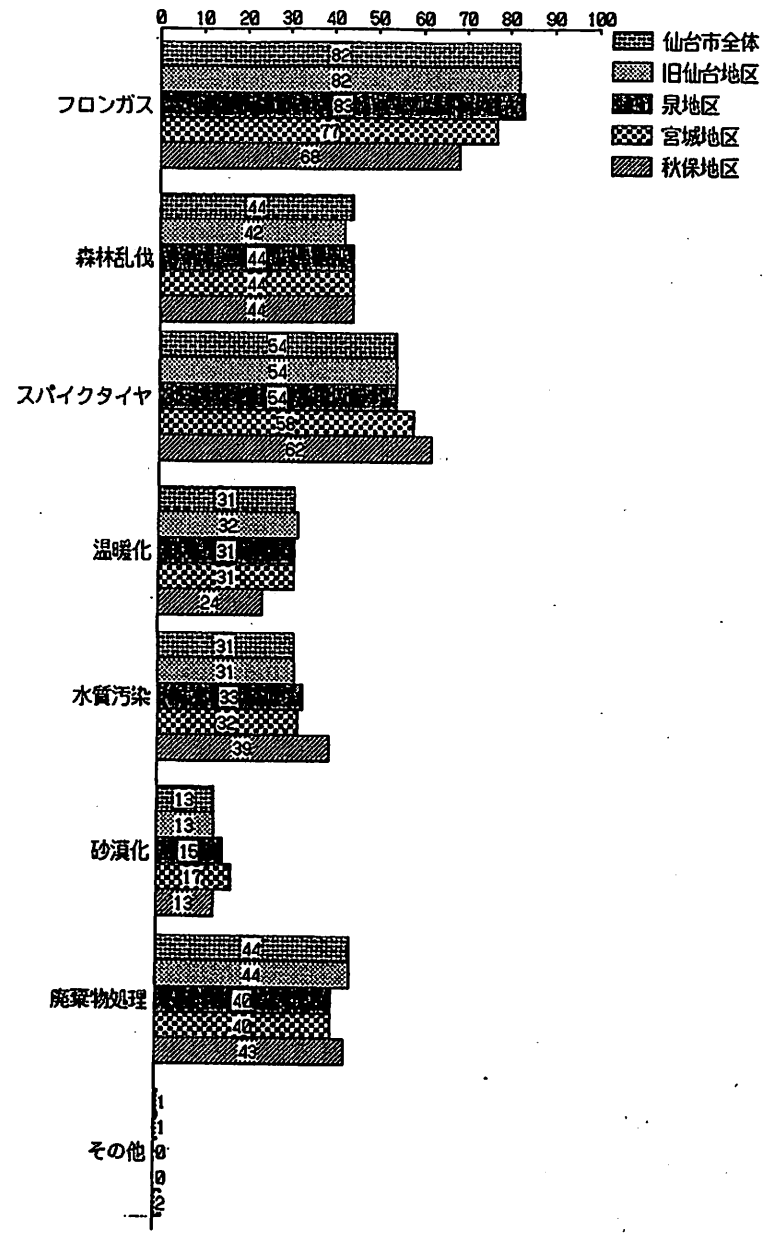


図1.3.4. 新聞で重要だとされている環境問題 (％)

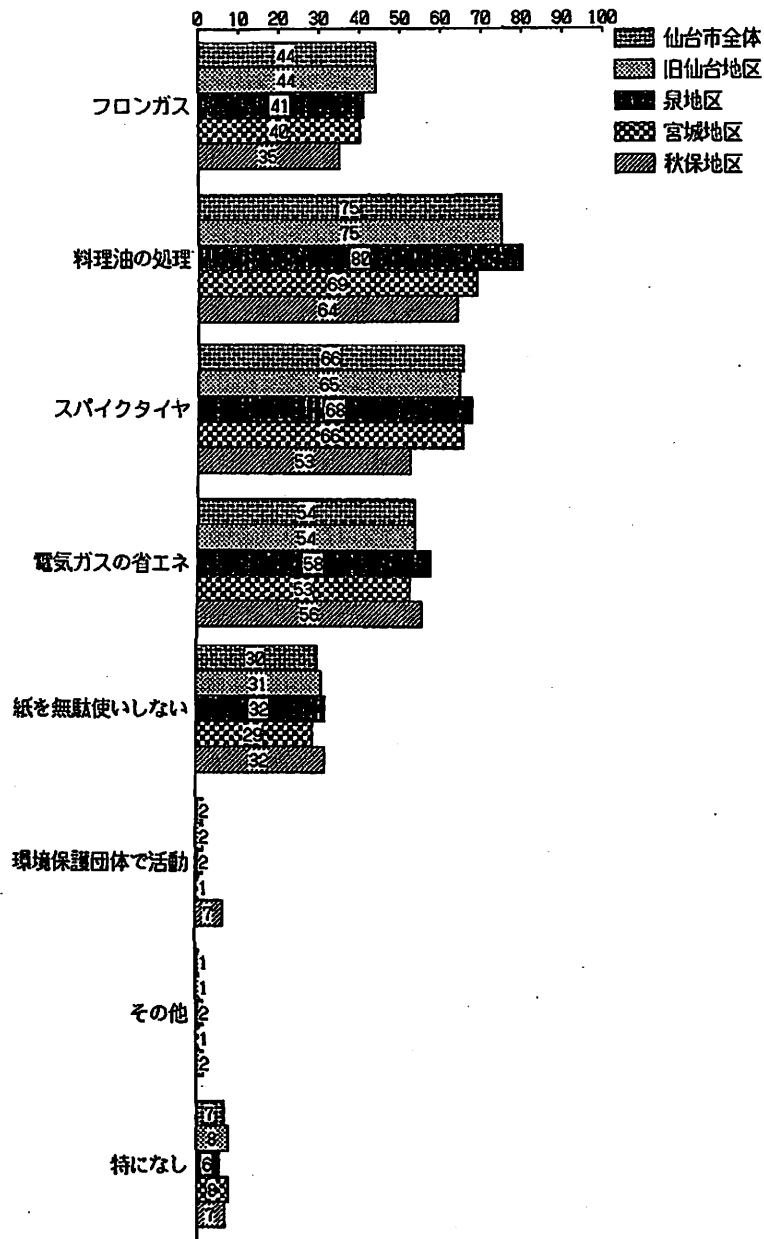


図1.3.5. 環境保護のために実行していること (%)

環境保護のために実行していること (問10)

仙台市全体、各地区ともが一番多く実行されているのは「料理に使った油を流しに捨てない」ことである(市全体75%、旧仙台75%、泉80%、宮城69%、秋保64%)。以下、「スパイクタイヤをはかないようにしている」、「電気・ガスなどの省エネルギーに努めている」と続いている。

仙台市広報への接触度 (問29)

仙台市全体では「よく読む」と答えた人と「ある程度読む」と答えた人との合計が84%となっている。地区別にみても、秋保地区を除く3地区でいずれも80%をこえている(旧仙台84%、泉86%、宮城81%、秋保76%)。仙台市民は市政の状況を知るためのメディアとして広報を利用しており、注目度も高い。

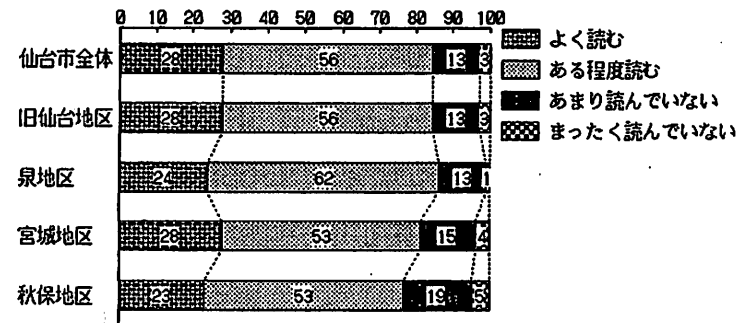


図1.3.6. 仙台市広報への接触度 (%)

テレビニュースの視聴時間 (問30)

仙台市全体でみると、「30分以上1時間未満」と答えている人が約4割と最も多かった。

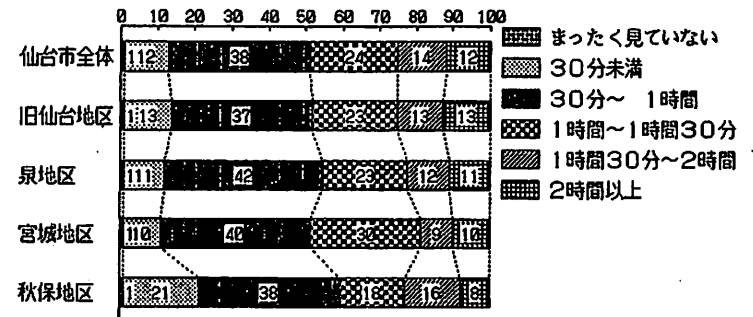


図1.3.7. テレビニュースの視聴時間 (1日) (%)

購読新聞と閲読時間（問31）

【新聞の閲読時間】

仙台市全体でみると、1日に新聞を読む時間は、一時間未満の人が約7割を占めている（「まったく読まない」という回答を除く）。地区別にみると、秋保地区では、「まったく読まない」、「30分未満」という回答の割合が他の地区に比べてやや高く、全体的に読む時間が短い人が多かった。

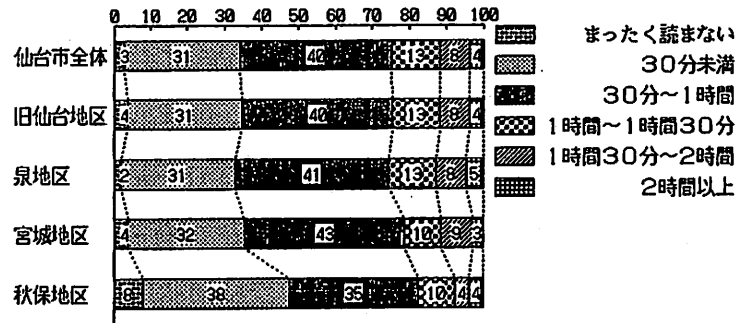


図1.3.8. 新聞の閲読時間（1日）（%）

【購読新聞】

地方新聞である「河北新報」の購読者が約7～8割と圧倒的に多い。いわゆる全国紙では「朝日新聞」の割合が一番高く、ついで「読売新聞」となっている。

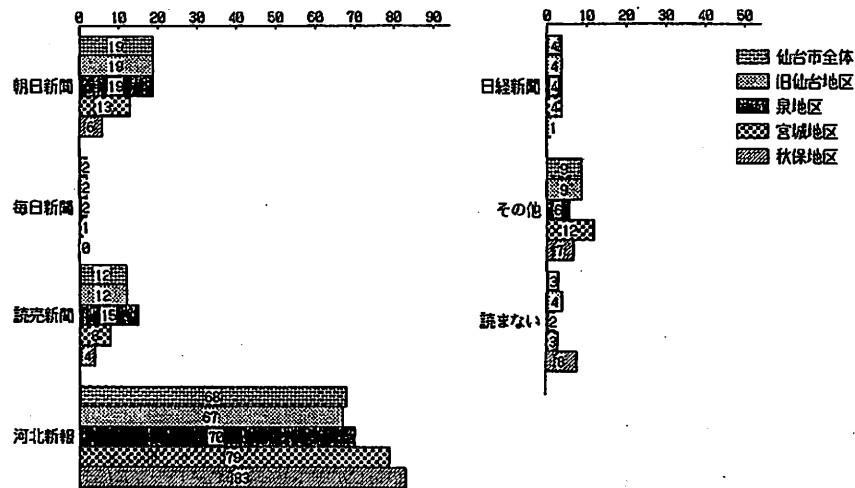


図1.3.9. 購読新聞（%）

環境問題に関する記事への接触度（問32）

環境問題に関する関心の高さを反映して、環境問題に関する記事を読む程度も比較的高い。仙台市全体については、「よく読む」と答えた人と「ある程度読む」と答えた人を合わせると約8割となる。地区別にみると、秋保地区で環境問題記事への接触度が若干少ない。

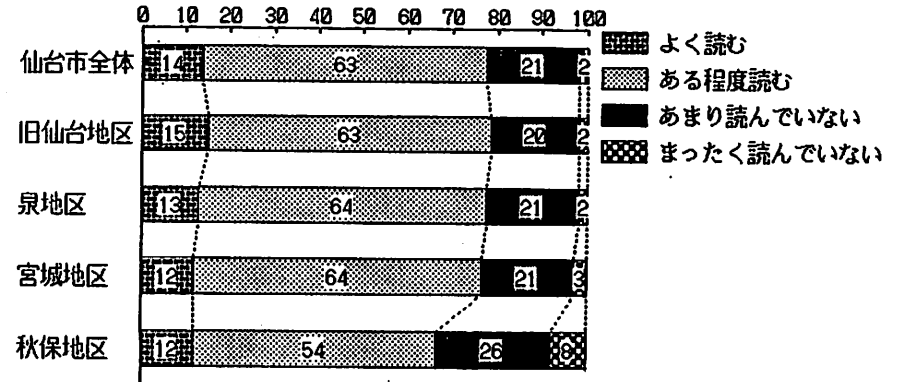


図1.3.10. 環境問題に関する記事への接触度（%）

まとめ

仙台市民の多くは環境問題に関心を持っており、環境問題に関する記事をよく読む人が多い。また、「経済発展よりも環境保護を優先する」という意見が多数を占めていた。全体として、環境に対する関心の高い人が多いといえるだろう。

「記入者自身が重要だと考える環境問題」及び「新聞で重要だとしている環境問題」の筆頭は「フロンガスによるオゾン層破壊」であった。環境汚染を防止するために一番多く実行されているのは「料理に使った油を流しに捨てない」ことであった。「フロンガスの入ったスプレーなどを買わない」という行為は、他の行為に比べると相対的に実行している人の比率が低い。

情報媒体への接触状況では、新聞については、「地方紙を30分から1時間程度読む」という人が最も多かった。テレビについては、いわゆる「ニュース番組」を1日に1つないしは2つ見ている人が多いと考えられる。また市政の状況を知るうえで、広報への依存度が高く、情報提供の重要なメディアとして位置づけられていることがうかがわれる。

2. 1. 収集回数

ごみの排出回数の実態と希望する収集回数（問20）

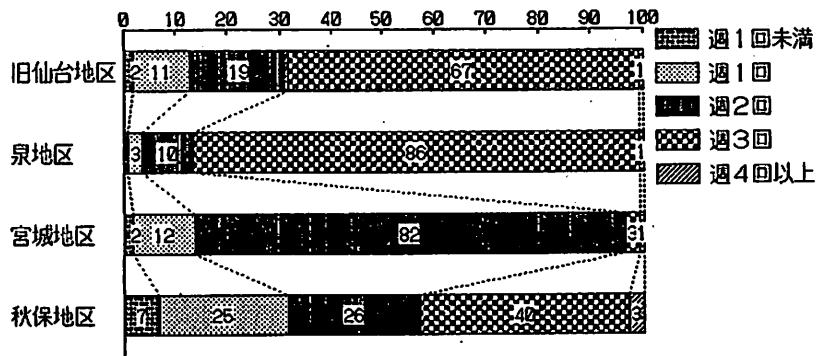
ここでは各世帯の現在のごみ排出回数の実態と、希望する収集回数を尋ねている。

(1) 可燃ごみ

家庭で最も排出量が多く、収集回数も多いごみ種（旧仙台地区における「日常の家庭ごみ」、泉地区における「燃やせるごみ」、宮城地区や秋保地区における「燃えるごみ」に対応している）の収集回数は現在、表2.1.1. のようになっている。

表2.1.1. 各地区の可燃ごみの収集回数

地区	収集回数
旧仙台地区	3回 / 週
泉地区	3回 / 週
宮城地区	2回 / 週（一部 1回 / 週）
秋保地区	2回 / 週 または 3回 / 週



旧仙台: 日常の家庭ごみ, 泉: 燃やせるごみ, 宮城・秋保: 燃えるごみ

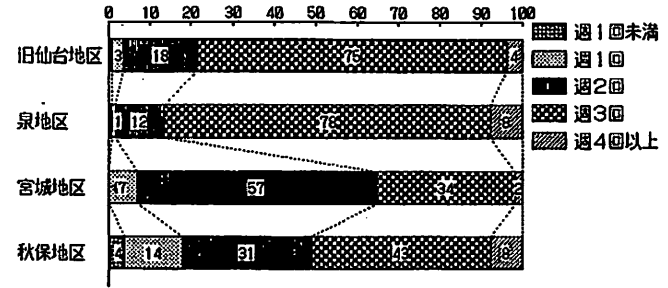
図2.1.1. 可燃ごみの排出回数の実態 (%)

〈実態〉

各地区とも、概ね現在の収集回数を反映している結果となった。(図2.1.1)

〈意向〉

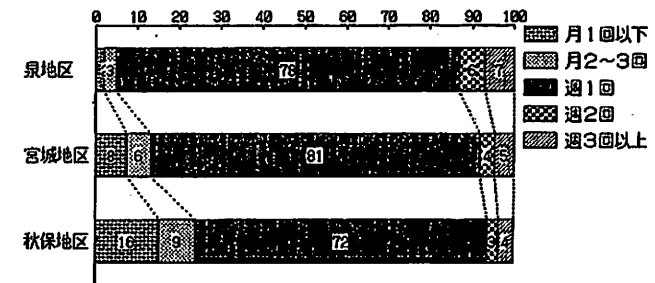
各地区とも、多くの人が現状の収集回数を望んでいることがわかった。但し、宮城及び秋保地区においては、週3回を望む人が3~4割あった。



旧仙台: 日常の家庭ごみ, 泉: 燃やせるごみ, 宮城・秋保: 燃えるごみ

図2.1.2. 可燃ごみの希望収集回数 (%)

(2) 不燃ごみ



泉: 燃やせないごみ, 宮城・秋保: 燃えないごみ

図2.1.3. 不燃ごみの排出回数の実態 (%)

不燃ごみを分けて集めているのは泉地区、宮城地区、秋保地区である（ただし、その内容は、地区によって異なっている。また旧仙台地区では、不燃ごみというごみ種は設けられていない。ただ、ガラスの破片や電球等は紙などに包み「危険」と書いたうえで「日常のごみ」と一緒に捨てることになっている）。

〈実態〉

不燃ごみの収集回数は、

泉地区-週2回 宮城地区-週1回（一部地域-月1回）

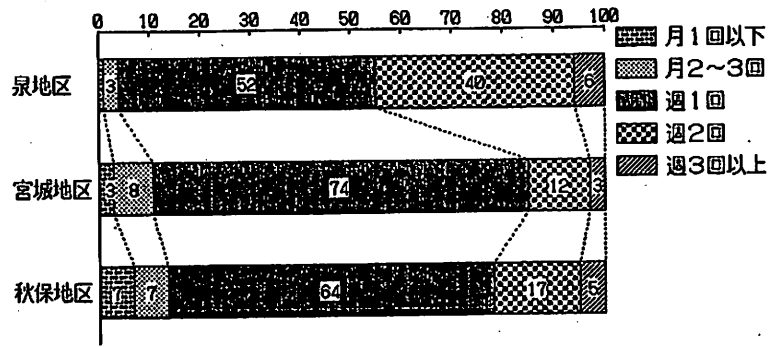
秋保地区-週1回

となっている。

〈実態〉

各世帯が不燃ごみを実際に出している回数は、図2.1.3. のとおりであるが、週に1回というのがいずれの地区でも7~8割と圧倒的に多い。

泉地では、実際に週2回不燃ごみを出している人は6%となっている。



泉：燃やせないごみ、宮城・秋保：燃えないごみ

図2.1.4. 不燃ごみの希望収集回数 (%)

〈意向〉

いずれの地区でも現在実際に出している回数と同じ、週1回と答えた人が5~7割と最も多かったが、泉地区では現状の週2回と答える人が4割と多かった。

(図2.1.4)

(3) 資源物

資源物(ビン類・金属類・古紙類・古布類等)は、

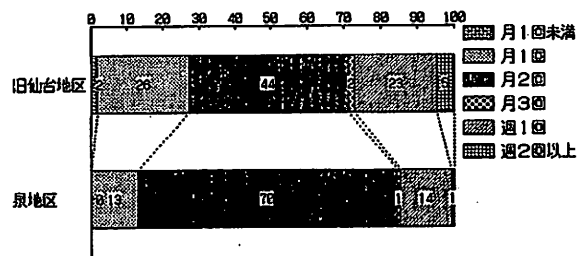
旧仙台地区-「あきかん・あきびん類」(2回/月)

泉地区-「資源物」(2回/月)

として収集している(宮城地区と秋保地区では、これらは分別していない)。

〈実態〉

図2.1.5.のとおり、実際に資源物を出している回数は、収集回数と同じという答えが多かった。しかし、月2回を越える回数、資源物を出している人が旧仙台地区では、3割あり、また泉地区においては約2割あった。この中には、通常の家ごみや不燃物と一緒に排出している人が含まれると推測される。



旧仙台：あきかん・あきびん類、泉：資源物

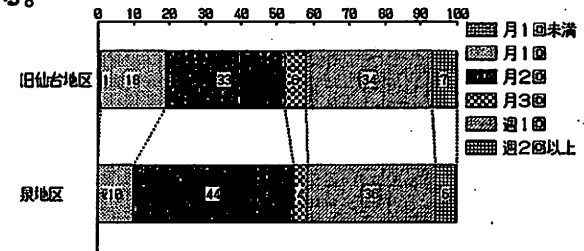
図2.1.5. 資源物の排出回数の実態 (%)

〈意向〉

望ましいという収集回数を見てみると(図2.1.6.)、旧仙台地区では、現状の2回/月を望む人と、1回/週を望む人がそれぞれ約3分の1ずつある。

また泉地区では現状の2回/月を望む人が4割強と最も多く、続いて1回/週を望む人が4割弱となっている。

現状よりも多くの収集回数を望む人は、旧仙台地区及び泉地区で各々約5割を占めている。



旧仙台：あきかん・あきびん類、泉：資源物

図2.1.6. 資源物の希望収集回数 (%)

(4) 有害物(乾電池、鏡、蛍光管、電球など)

これらの有害物を分けて集めている地区は、泉地区と宮城地区で、

泉地区-2回/月

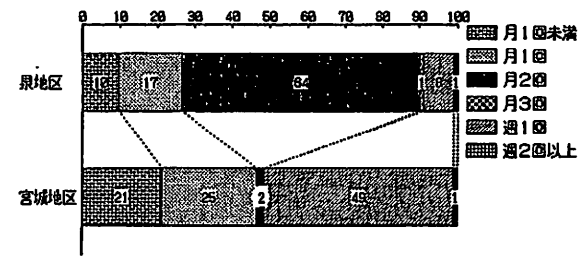
宮城地区-1回/週

収集している。

〈実態〉

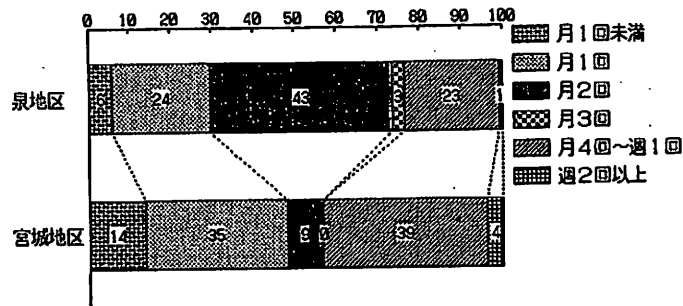
実際に各世帯が有害物のごみを出している回数は図2.1.7.のとおりである。泉地区では、現状の収集回数と同じく月2回と答えた人が6割強と最も多いが、月に1回以下しか出していない人が3割弱いる。

宮城地区では、現状の収集回数である週1回と答える人が約半数であり、残りの半数は現状の収集回数よりも少なく出していると答えている。



泉・宮城：有害物

図2.1.7. 有害物の排出回数の実態 (%)



泉・宮城：有害物

図2.1.8. 有害物の希望収集回数 (%)

〈意向〉

各世帯が実際に望んでいる回数を尋ねたものが、図2.1.8.である。

泉地区では現状の月2回と答えた人が4割強と最も多く、現状以上の回数を望む人が3割弱、現状以下でよいという答えが3割あった。

また宮城地区では、現状の週1回を望む人が約4割と最も多く、約6割が現状以下でよいと答えており、特に月1回でよいという人が35%いる。

粗大ごみ排出の有無 (問21a)

粗大ごみは通常、一般ごみと一緒に出してはいけないことになっている。

〈実態〉

この1年間に粗大ごみを出したかという質問に対しては、図2.1.9.のとおりである。仙台市全体では、粗大ごみを出したと言う人が、出さなかったという人に比べていくぶん少なく5割弱であった。

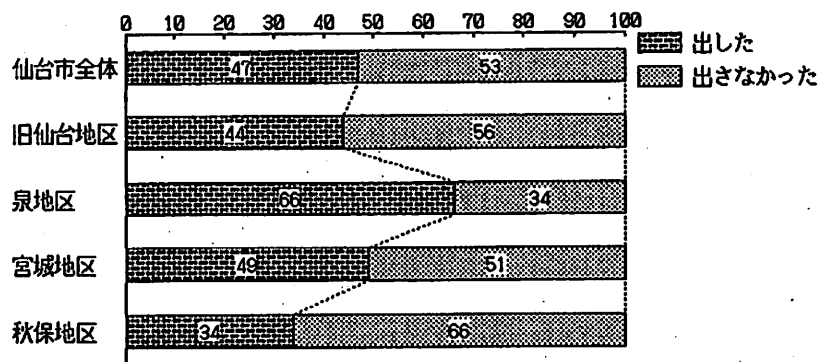


図2.1.9. 粗大ごみ排出の有無 (この1年間) (%)

地区別にみても、出したという人は、泉地区で約7割と最も高かった。それに対して旧仙台地区や秋保地区では出した人の方が少なかった。

粗大ごみの排出回数の実態 (問21a)

粗大ごみの収集回数は地区によって異なっており、

旧仙台地区-2回/年 泉地区-4回/年

宮城地区-3回/年 秋保地区-3回/年

指定された日に出すことになっている。

〈実態〉

粗大ごみを出したという人に対して、去年1年間に何回出したかを聞いてみたものが、図2.1.10.である。仙台市全体では、約6割が1回であり、1回~2回を合わせると97%となっている。地区別にみても、それほど大きな差はない。

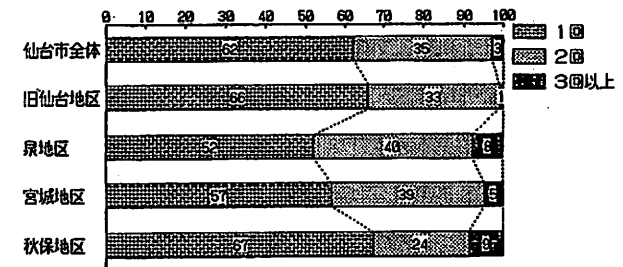


図2.1.10. 粗大ごみの排出回数の実態 (出した人のみ：この1年間) (%)

粗大ごみを排出しなかった理由 (問21b)

さらに、この一年間に粗大ごみを出さなかったという人に対して出さなかった理由を尋ねたものが図2.1.11.である。

仙台市全体では「出すものがなかった」という理由をあげる人が65%と非常に高かった。

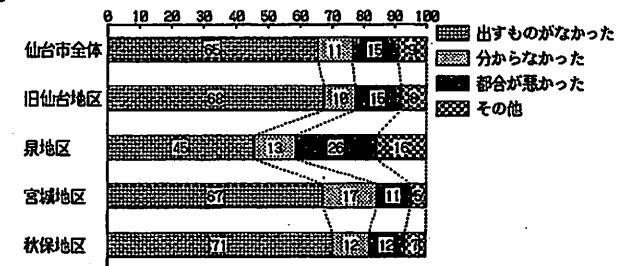


図2.1.11. 粗大ごみを排出しなかった理由 (%)

粗大ごみ収集の希望回数（問22）

仙台市全体では、年2回と答えた人が4割と最も多く、続いて3回、4回の順となっている（図2.1.12.）。地区別に見ると、2回と答える人がどの地区においても最も多いが、中央値は、旧仙台地区では年2回、他の3地区では年3回にあり、現行の収集回数が回答に影響していることがうかがえる。

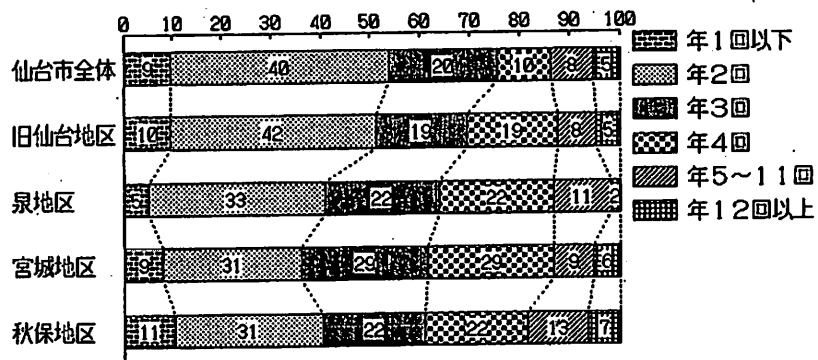


図2.1.12. 粗大ごみ収集の希望回数（%）

臨時多量ごみ排出の有無（問23a）

引越しや大掃除などで出る、一時的な多量のごみが出たことがあるかという質問をしたものが、図2.1.13.である。仙台市全体では、「出たことがある」という人が、5割弱であった。

地区別にみても、秋保地区で「出たことがある」と答えた人が他の地区よりも少なかった。

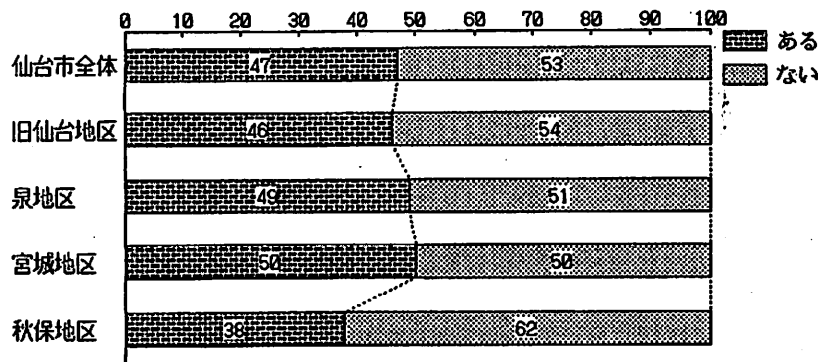


図2.1.13. 臨時多量ごみ排出の有無（%）

臨時多量ごみの処理方法（問23b）

臨時多量ごみが出たことがあるという人に対して、そうした多量ごみをどう処理したかについて尋ねたものが、図2.1.14.である。仙台市全体では、「ごみ処理業者に頼んだ」と答えた人が2割強と一番多かったが、「ごみ集積所に出した」、「粗大ごみ収集の時出した」、「役所に電話するなどして頼んだ」といった理由をあげる人が各々2割弱あり、多様な方法で処理していることがわかった。

地区別にみても、宮城、秋保地区では「自分で燃やすなどして始末した」という、いわゆる「自家処理」が多かった。

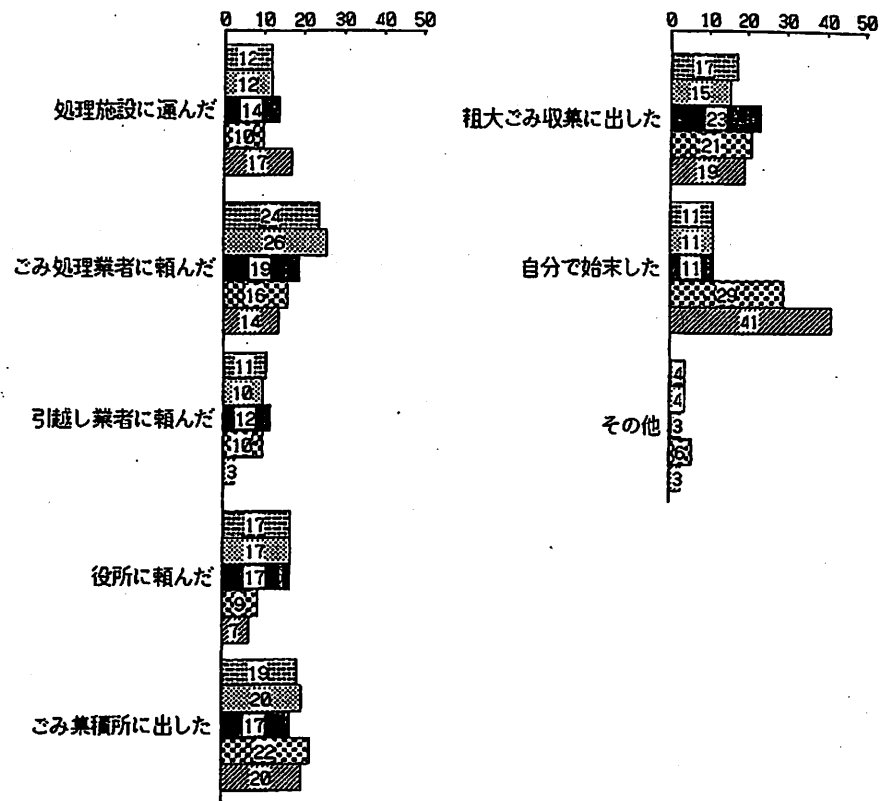


図2.1.14. 臨時多量ごみの処理方法（%）

まとめ

まず、可燃ごみに関しては、現状で週3回の地区では現状通りを望む人が多く、また現状では大部分の地域で週2回の収集を行っている地区でも、週3回の収集を望む人が目立っている。つまりどの地区においても可燃ごみの収集回数は週に3回が望ましいと考えているようである。

不燃ごみに関してみると、宮城、秋保地区では、現状の週1回の収集に対して週1回またはそれ以下の回数出している人が大部分を占めており、希望する回数も現状通りを望む人が多い。泉地区では、実際に不燃ごみを週2回出している人は少なく、希望という面からみても、現状より少なくともよいという人が56%あった。ただし、現状通り週2回の収集を望む人も40%と少なくはない。

次に資源物については、現在の収集回数である月2回出している人が最も多いものの、実際にそれ以上出している人も旧仙台地区で30%、泉地区で16%あった。また、希望する回数を見ると、現状以上の回数を望む人が、旧仙台地区では47%、泉地区では46%と、それぞれ半数近い。

最後に有害物についてみると、泉地区では現在の収集回数どおり隔週に出している人が多いが、それ以下の人もかなりいる。それに対して宮城地区では、現状の週1回出している人が多いものの、それ以下の人が約半数いる。さらに希望する回数を見ると、現状を望む人が多いものの、それ以下を望む人が3割、それ以上を望む人が3割いる。宮城地区では、現状より少なくともよいと答えた人が6割近くいる。

この一年間に粗大ごみを出した世帯の割合は34%（秋保地区）から66%（泉地区）まで、地区による差が大きかった。出さなかった理由の第1位は「出すものがなかったから」であった。また粗大ごみを出した世帯では、回数は2回以下が95%であった。さらに、希望する回数では2回と答える人が多かったが、現状の各地区での収集回数を希望する人も多い。

大掃除や引越しなどで出る臨時の多量のごみは、仙台市全体で約半数の人が出たことがあると答えている。そうして出たごみをどう処理したかについては仙台市全体でみると、「ごみ処理業者に頼んだ」と答えた人が若干多かったものの、多岐にわたっている。地区別にみると、旧仙台地区では「ごみ処理業者に頼んだ」が多く、泉地区では年間の粗大ごみ収集の回数が多いこともあってか、「粗大ごみ収集の時に出した」と答える人が多い。また宮城地区や秋保地区では普段のごみであっても燃やせるごみは自家処理していることから、こうした臨時の多量ごみも「自分で燃やすなどして始末した」と答えた人が多かった。

考察 収集回数よりも多く資源物を出している人

問20から、市の収集回数以上にごみを出している人がいることが分かった。それでは、こうした人々は資源物をどのように捨てているのであろうか。ここでは、回答者の30%が、収集回数よりも多く出している旧仙台地区の「あきかん・あきびん類」をとりあげ、排出の形態（問39）を調べてみた。

表2.1.1. 資源物の排出回数と排出形態（旧仙台地区）（%）

排出方法	「あきかん・あきびん類」の排出回数が	
	収集回数以下	収集回数より多い
市設置の回収容器	73 %	52 %
合計（%の基数）	(782)	(269)

表2.1.1.のように、問39で「あきかん」を「市設置の回収容器に出している」と答えた人の比率は、

「収集回数以下の人」) 「収集回数より多い人」
であった。

「市設置の回収容器に出している」と答えた人以外は、ポリバケツやポリ袋などで捨てているのであるから、必然的に他のごみと混ぜて出していることになる。すなわち、収集回数よりも多く「あきかん・あきびん類」を排出している人は、その分、日常ごみなどと混ぜて、分別しないで出すことが多いと考えられる。このようにして出された「資源物」は、一般ごみと共に処理されるので、資源としては活かされないことになる。

「あきかん・あきびん類」を収集回数よりも多く出す人は、どのような人々なのかについて、記入者の性別（問58）および年齢（問57）と、排出回数との関係を示したものが表2.1.2.および表2.1.3.である。

「あきかん・あきびん類」を収集回数よりも多く出している人は、女性よりも男性に多いこと、また年齢では20歳代に多いことが分かった。

表2.1.2. 資源物を収集回数より多く出している人の比率（旧仙台地区・性別）

ごみ排出回数	性別	
	男	女
収集回数より多く出す	32 %	22 %
合計（%の基数）	(390)	(682)

表2.1.3. 資源物を収集回数より多く出している人の比率（旧仙台地区・年齢別）

ごみ捨て回数	年齢				
	20代	30代	40代	50代	60代以上
収集回数より多く出す	31%	17%	20%	22%	25%
合計（%の基数）	(144)	(204)	(234)	(227)	(160)

2. 2. 排出方法

容器の希望（ポリバケツか袋か）（問38a）

可燃ごみや不燃ごみをはじめとして多くのごみは「ポリバケツ」もしくは「袋」のどちらかで排出することになっている。

仙台市では地区ごとにごみの排出方法が異なっており、燃えるごみに関しては、

旧仙台地区－ポリバケツ 泉地区－市指定の透明ポリ袋

宮城地区と秋保地区－ビニール袋または紙袋

で出すように決められている。また燃えないごみに関しては、

旧仙台地区、宮城地区及び秋保地区－ポリバケツ

泉地区－市指定の透明ポリ袋

で出すように決められている。

排出容器についての意向を尋ねたものが図2.2.1.である。

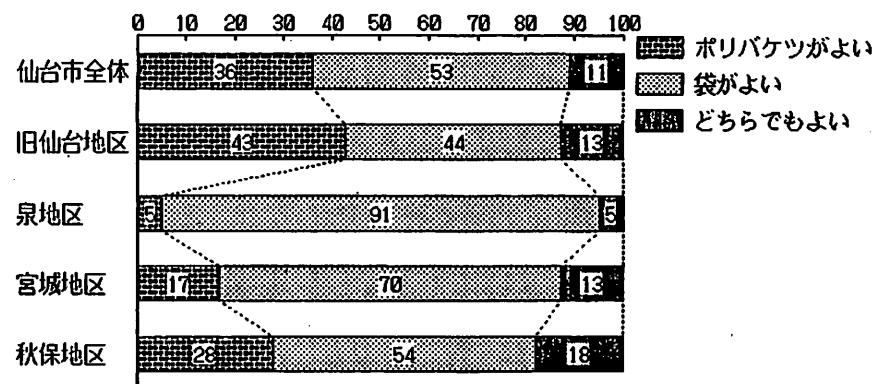


図2.2.1. 容器の希望（ポリバケツか袋か）（%）

（意向）

“ポリバケツ”と決められている旧仙台地区では「ポリバケツ」と「袋」ではほとんど差がなく、各々4割強ずつになっている。

それに対して“透明ポリ袋”と決められている泉地区では、「袋」がよいと考える人が9割を越えている。

また、“ポリバケツとポリ袋を併用”している宮城地区と秋保地区においては、「袋」を好む人の方が「ポリバケツ」を好む人よりも多くなっている（宮城：70%対17%、秋保：54%対28%）。

ポリバケツ希望の理由 (問38b)

ポリバケツがよいと答えた人の選択理由は、図2.2.2.のとおりである。
 仙台市全体では、「こわれにくく、ごみが散乱しないから」が85%と最も多く、「カラス等の被害が防げるから」、「美観をそこなわないから」、「ごみを集める人が安全だから」という順に続いている。

上位2つの理由に注目すると、ポリバケツを望ましいとする最大の理由は、「結果として集積所をきれいに保てるから」ということになると考えられる。

地区別にもても、この順序は変わらない。詳しくみると、旧仙台地区では、「この地域における指導、決まり」と答える人が25%と比較的多く、また「ごみを出す量の規制ができるから」をあげた人も他の3地区に比べて多かった。

袋希望の理由 (問38c)

袋がよいと答えた人の選択理由は、図2.2.3.のとおりである。

仙台市全体では、「後で容器をとりに行く手間がかからない」が9割弱と最も多く、「集積所まで持ち運びやすい」、「容器が残らず、集積所がきれいになる」、「ごみを集める人が収集しやすい」、「余分な集積所のスペースをとらない」という順に続いている。

上位2つの理由に注目してみると、袋を望ましいとする最大の理由は、「排出者の利便性」にあると考えられる。

地区別にもてみると、泉地区では「余分な集積所のスペースをとらない」という理由が6割と他地区よりも多い。また「この地域における指導、決まり」という理由を挙げる人が35%と他地区と比べ極めて多く、指導の徹底の浸透がうかがわれる。

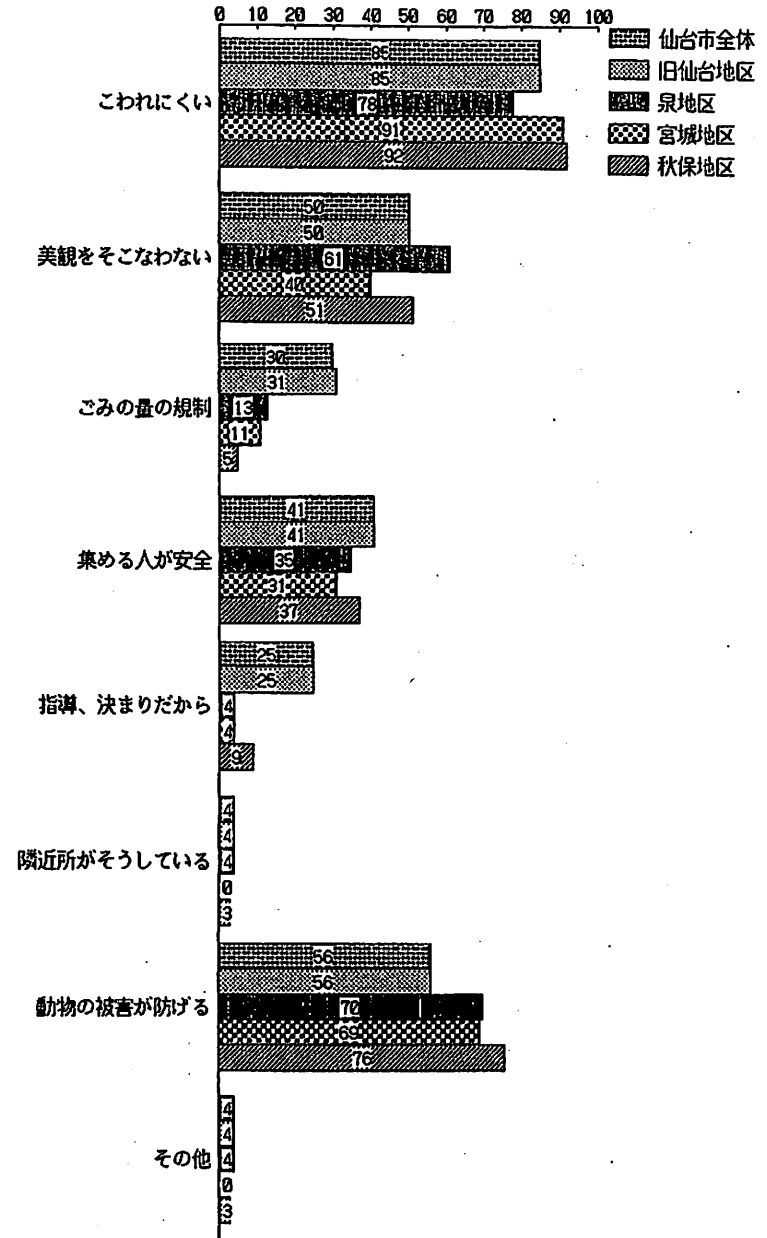


図2.2.2. ポリバケツ希望の理由 (%)

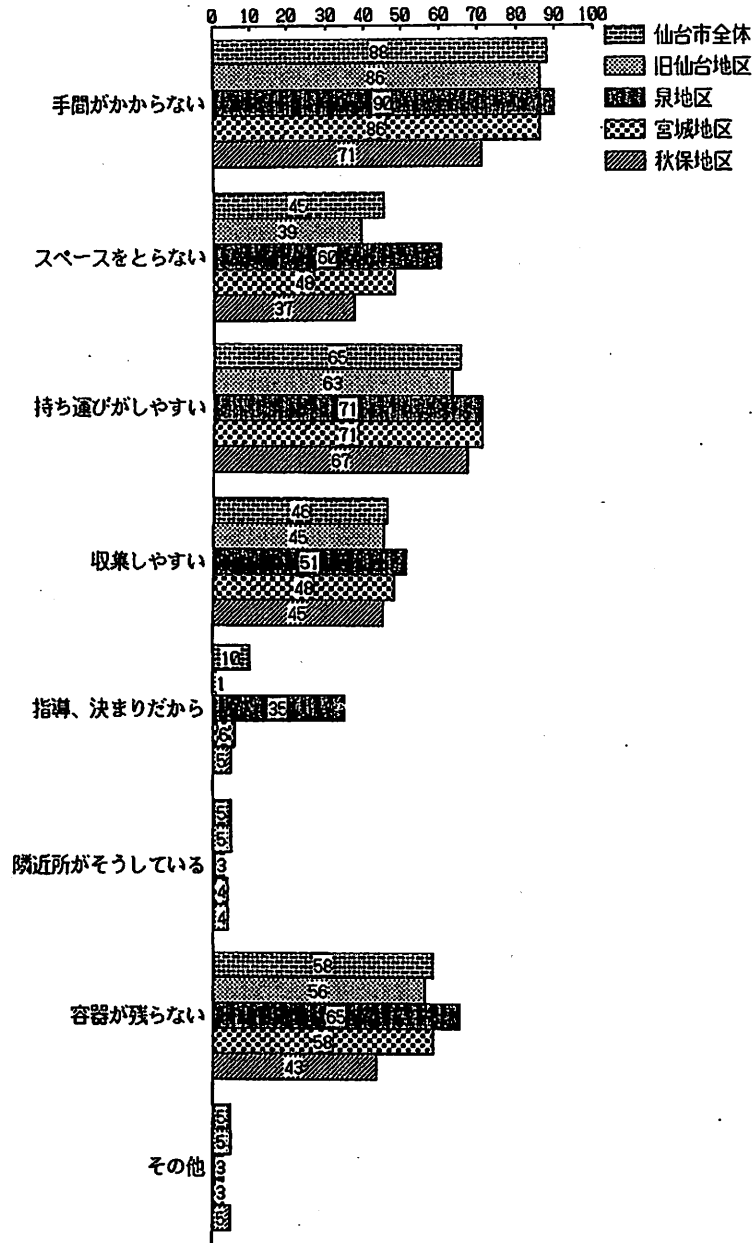


図2.2.3. 袋希望の理由 (%)

ごみを出す形態 (問39)

ごみ組成にも様々あり、その種類によって排出形態も異なっている。そこでごみの種類ごとに、実際にどのようにごみを排出しているのかを尋ねた。

以下では、地区によって規則が異なるので地区別に検討し、その後、個々の項目の分析だけでは不明な点などを項目間の関係の分析によって明かにした。

I. 旧仙台地区

(1) 紙くず、野菜くず、プラスチック

旧仙台地区では、“ポリバケツ”で排出するように決められている。表2.2.1から分かるように、「ポリバケツで捨てる」という人が約4割、「袋で捨てる」（「透明なポリ袋」+「黒いポリ袋やビニール袋」+「紙袋」）人が約5割あった。残りは、「コンテナ」や「自家処理」等であった。

表2.2.1. 排出形態の実態 (旧仙台地区) (%)

	ポリバケツ	透明なポリ袋	黒いポリ袋	紙袋	ひも	回収容器	コンテナ	自家処理	その他	合計 (%の基数)
紙くず	39*	4	40	2	1	1	2	10	1	(1059)
野菜くず	42*	10	41	0	0	1	2	4	0	(1060)
プラスチック	41*	5	33	2	1	10	3	2	3	(1090)
割れたガラス	26*	9	16	9	0	31	3	2	5	(1037)
空き缶	6	6	11	1	0	67*	4	1	4	(1051)
空きびん	6	5	8	1	0	68*	4	1	8	(1054)
古新聞	3	0	5	3	30	2	0	9	48	(1046)
古布	15	2	22	4	13	3	2	10	30	(1026)
蛍光灯等	22*	9	12	6	1	38	4	1	8	(1037)
乾電池	6	10	8	1	0	61*	3	1	10	(1041)
ボタン型乾電池	5	9	7	1	0	48	3	2	24*	(998)

* 印は、市が指定しているごみの排出形態を示す

(2) 割れたガラス

この地区では、紙に包み「危険」と表示した上で“ポリバケツ”で捨てるようになっているにもかかわらず、「市設置の回収容器に捨てる」と答えた人が、約3割と最も多く、“あきびん等”の排出と同一視されていると推測される。ポリバケツは3割弱、袋（透明なポリ袋+黒いポリ袋やビニール袋+紙袋）については合わせて3割強となっている。

(3) あきかん、あきびん

あきかん、あきびんは“市設置の回収容器”に捨てることになっており、リサイクルに回される。決まりどおり排出している人は、あきかん及びあきびんともに約7割と約3分の2を占めている。

(4) 古新聞、古布

古新聞では「その他」と回答した人が約5割と最も多く、「ひも等でたばねる」が約3割であった。古布も「その他」と答えた人が約3割と最も多く、集団資源回収や故紙回収業者等に出していることをうかがわせている。

(5) 蛍光灯等

蛍光灯等は、“ポリバケツ”に捨てることになっている。しかし、「市設置の回収容器」が約4割と最も高く、続いて約2割が「ポリバケツ」となっている。

(6) 乾電池、ボタン型乾電池

乾電池は“透明なポリ袋に入れたものを市設置の回収容器に排出する”ことになっており、収集後分別処理されている。また、ボタン型乾電池は“販売店回収してもらう”ことになっている。しかし両方とも「市設置の回収容器」が乾電池約6割、ボタン型乾電池約5割で最も高く、続いて乾電池では「透明なポリ袋」1割となっている。この“透明なポリ袋1割”については、排出の決まりを考慮に入れると、その後「市設置の回収容器」に排出されている可能性が高いと考えられる。

Ⅱ. 泉地区

(1) 紙くず、野菜くず、プラスチック

この地区では、これらは“透明なポリ袋”で排出する決まりになっている。決まりどおり出していると答えた人は、紙くず、野菜くずでは各々約8割で、プラスチックでは約7割とそれぞれ多かった。しかしプラスチックに関しては「黒いポリ袋やビニール袋」、「市設置の回収容器」等で出すと答えた人が各々約1割あった。

(2) 割れたガラス

割れたガラスも“透明なポリ袋”で排出する決まりになっている。決まりどおり「透明なポリ袋」で出すと答えた人は4割弱であった。また、「市設置の回収容器」に出しているという人が約4割と高かった。これは、“あきびん等”の排出と同一視されているためと推測される。

(3) あきかん、あきびん

あきかん、あきびんは、“市設置の回収容器”に出すことが定められており、「市設置の回収容器」に出すと答えた人が7割と大多数を占めている。一方、「透明なポリ袋」で出すと答えた人も1割強あった。

表2.2.2. 排出形態の実態（泉地区）（%）

	ポリ バケツ	透明な ポリ袋	黒い ポリ袋	紙袋	ひも	回収 容器	コン テナ	自家 処理	その 他	合計 (%の基数)
紙くず	1	79*	5	1	0	2	5	7	0	(475)
野菜くず	1	81*	7	0	0	2	5	4	0	(474)
プラスチック	1	69*	11	2	1	11	5	1	0	(471)
割れたガラス	1	38*	8	4	0	41	6	0	1	(468)
空かん	1	13	4	1	0	71*	9	0	1	(474)
空きびん	1	11	3	1	0	71*	9	0	3	(474)
古新聞	0	7	1	3	30	9	2	8	41	(470)
古布	1	30	4	4	14	12	3	8	25	(460)
蛍光灯等	1	8	3	0	1	78*	7	0	1	(472)
乾電池	2	8	3	0	0	77*	7	1	2	(471)
ボタン型乾電池	2	8	3	0	0	73*	7	1	7	(458)

* 印は、市が指定しているごみの排出形態を示す

(4) 古新聞、古布

古新聞に関しては、約4割の人が「その他」と答えている。また、「ひも等でたばねる」が3割となっている。古布は、「透明なポリ袋」で捨てると答えた人が3割と最も高く、それに次いで「その他」となっている。

(5) 蛍光灯等

蛍光灯等は、“市設置の回収容器”に出すよう決められており、蛍光灯については収集後、専用の処理装置で処理されるが、約8割の人が「市設置の回収容器」に出していると答えている。

(6) 乾電池、ボタン型乾電池

乾電池、ボタン型乾電池は、“市設置の有害物回収容器”に排出するよう決められているが、そうしている人は7～8割であった。

Ⅲ. 宮城地区

(1) 紙くず、野菜くず、プラスチック

この地区では“ビニール袋か紙袋”で排出するよう決められている。そのため、「黒いポリ袋やビニール袋」、「透明なポリ袋」、「紙袋」で出していると答えた人を合計すると、紙くず、野菜くず及びプラスチックが各々約6割となっている。ただ、その中でも「黒いポリ袋やビニール袋」で出している人が約5割で、「透明なポリ袋」で出している人は余り多くなかった。また、「自家処理」をする人が多く、紙くずや野菜くずでは各々約3割を占めている。しかし、プラスチックの自家処理についてはその比率が小さい。

表2.2.3. 排出形態の実態（宮城地区）（％）

	ポリ バケツ	透明な ポリ袋	黒い ポリ袋	紙袋	ひも	回収 容器	コン テナ	自家 処理	その 他	合計 (%の基数)
紙くず	5	4*	50*	4*	2	0	4	30	0	(258)
野菜くず	8	13*	49*	0*	0	1	2	26	2	(256)
プラスチック	12	12*	43*	4*	3	4	4	15	3	(252)
割れたガラス	23*	17	21	10	1	11	6	2	9	(255)
空かん	19*	18	31	8	0	11	5	1	6	(256)
空きびん	19*	16	24	7	0	11	4	2	17	(255)
古新聞	1	1	5	2	33	1	1	19	38	(256)
古布	2	3	31	5	14	1	2	24	18	(245)
蛍光灯等	18	21*	15	6	1	22*	6	0	12	(254)
乾電池	19	23*	12	5	0	23*	6	1	11	(256)
ボタン型乾電池	13	22*	12	5	0	27*	5	1	15	(250)

*印は、市が指定しているごみの排出形態を示す

(2) 割れたガラス

割れたガラスは、「ポリバケツ」で排出するよう決められている。ところで、「ポリバケツ」で出していると答えた人は2割強で相対的には最も多いが、この数字は全体から見ると約4分の1にすぎない。種々の「袋」で出すと答えた人を合計すると約5割になっている。

(3) あきかん、空きびん

あきかん、空きびんは、「ポリバケツ」で排出するよう決められているが、「ポリバケツ」は、約2割と余り多くない。それに対し、「黒いポリ袋やビニール袋」、「透明なポリ袋」、「紙袋」といった袋で出す人を合わせると、あきかんでは約6割、空きびんでは約5割となっている。

(4) 古新聞、古布

古新聞では、「その他」と答えた人が約4割で最も多く、続いて「ひも等でたばねる」が3割となっている。さらに自家処理と答えた人も約2割と比較的多い。古布は「黒いポリ袋やビニール袋」で出していると答えた人が約3割で最も多く、続いて「自家処理」が2割強となっている。

(5) 蛍光灯等

蛍光灯等は、「透明なビニール袋または市設置の回収容器」に出すよう決められている。「市設置の回収容器」に捨てていると答えた人と「透明なポリ袋」で出していると答えた人が約2割強であった。つまり定められたとおり捨てている人は全体の4割強である。

(6) 乾電池、ボタン型乾電池

乾電池、ボタン型乾電池は、「市設置の回収容器または透明なビニール袋」に排出するよう決められている。実際には、「市設置の回収容器」に捨てているという人は乾電池及びボタン型乾電池、各々3割弱であった。また「透明なポリ袋」で捨てているという人は各々約2割であった。つまり、定められたとおり排出している人は全体の約半分ほどである。

IV. 秋保地区

(1) 紙くず、野菜くず、プラスチック

この地区では、「ビニール袋か紙袋」で排出するよう決められている。決められたとおりに何らかの「袋」で出している人は、紙くずで、野菜くず、プラスチックで各々約4割となっている。そのうち、「黒いポリ袋やビニール袋」で出している人が約3割であった。また、「自家処理」をしていると答えた人は、紙くず約5割、野菜くず約4割、プラスチック約3割とかなり多かった。

表2.2.4. 排出形態の実態（秋保地区）（％）

	ポリ バケツ	透明な ポリ袋	黒い ポリ袋	紙袋	ひも	回収 容器	コン テナ	自家 処理	その 他	合計 (%の基数)
紙くず	10	2*	31*	4*	2	0	4	47	1	(203)
野菜くず	13	7*	35*	1*	0	0	5	39	1	(199)
プラスチック	11	6*	27*	5*	3	5	6	31	5	(190)
割れたガラス	13*	14	26	12	1	8	8	7	12	(191)
空かん	11*	13	36	12	0	9	8	6	6	(196)
空きびん	9*	10	32	10	1	8	7	6	18	(197)
古新聞	2	0	5	1	34	2	2	26	29	(195)
古布	4	0	19	2	16	2	3	37	17	(195)
蛍光灯等	12*	16	27	9	1	8	7	9	12	(195)
乾電池	9*	18	28	8	0	9	8	7	13	(194)
ボタン型乾電池	8*	16	26	9	0	8	8	6	19	(179)

*印は、市が指定しているごみの排出形態を示す

(2) 割れたガラス

割れたガラスは「ポリバケツ」で排出するよう決められているものの、実際には「ポリバケツ」で捨てている人は1割強と低く、「黒いポリ袋やビニール袋」、「透明なポリ袋」、「紙袋」といった袋で捨てている人が合わせて5割強を占めている。

(3) あきかん、あきびん

あきかん、あきびんも、「ポリバケツ」で排出するよう決められているが、「ポリバケツ」で捨てている人は1割ほどしかいない。実際には多くの人が、「黒いポリ袋やビニール袋」、「透明なポリ袋」、「紙袋」といった袋で捨てており、あきかんで約5割、あきびんで約5割であった。

(4) 古新聞、古布

古新聞では、「ひも等でたばねる」と答えた人が3割強と最も多く、続いて「その他」が約3割、「自家処理」が3割弱となっている。また古布は、「自家処理」と答えた人が約4割と最も多かった。

(5) 蛍光灯等

蛍光灯等は、「ポリバケツ」で排出するよう決められているが、「ポリバケツ」で捨てているという人は約1割にすぎない。実際には、「黒いポリ袋やビニール袋」、「透明なポリ袋」で捨てていると答えた人が多く、袋全体では約4割にもなっている。

(6) 乾電池、ボタン型乾電池

乾電池、ボタン型乾電池も、「ポリバケツ」で排出するよう決められているが、「ポリバケツ」で捨てている人は1割にも満たない。逆に、袋全体では乾電池、ボタン型乾電池とも各々半数以上の人が袋で捨てている。

特殊ごみの捨て方 (問40)

ここでは特殊なごみ(ガラス、陶器、蛍光灯、電池、家具、電気製品等)に関して、次に示すような方法で捨てているかを尋ねた。結果を図2.2.2.に示す。

(1) 「割れたガラスをそのまま出す」

全体的にどの地区も低いですが、旧仙台地区が6%と最も少なく、宮城地区は19%と最も多い。

(2) 「ガラスや陶器は紙に包んで出す」

旧仙台地区では55%と半数以上の人が行っている。これは、この地区ではガラス、陶器、電球や蛍光灯等は「紙に包んで出す」ように決められているからである。これに対して、そのような決まりのない3地区では、「紙に包んで出す」人は約3割である。

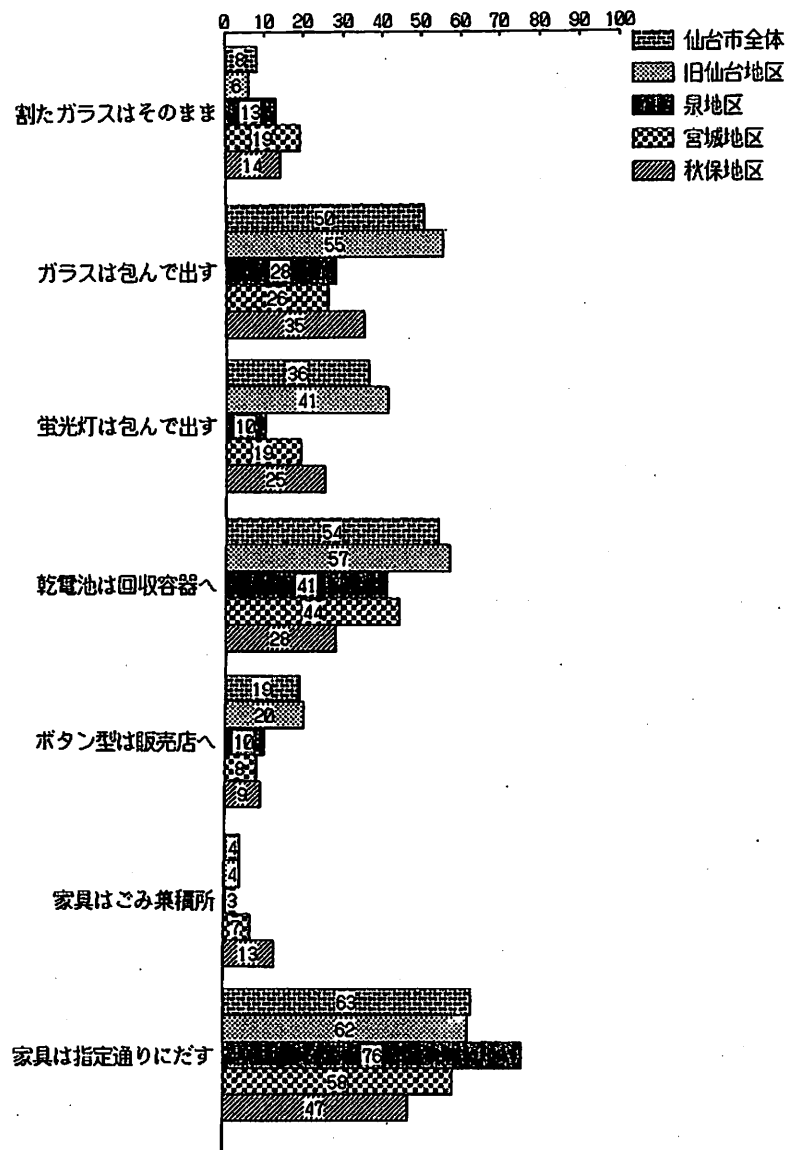


図2.2.4. 特殊なごみの排出方法 (%)

(3)「蛍光灯や電球は紙に包んで出す」

旧仙台地区では4割以上の人が行っている。しかしその他の地区では、10～25%とさほど多くない。

(4)「乾電池は透明なビニール袋に入れてから回収容器に入れる」

旧仙台地区では、“透明なビニール袋に入れて回収容器に入れる”ことになっており、実際にそのような方法で捨てている人が6割弱であった。また宮城地区では、“透明なビニール袋と市設置の回収容器が併用”されているためか、「袋」に入れて捨てる人は旧仙台地区よりは少なく4割強であった。他方“そのまま指定容器（一斗缶）に入れる”ことになっている泉地区でも、「袋」に入れてから捨てている人が4割あった。秋保地区では、乾電池の排出方法が明示されていないが、「袋」に入れて捨てている人が3割弱存在する。

(5)「ボタン型電池は販売店で処分してもらう」

旧仙台地区ではボタン型乾電池は“販売店に持っていく”ように決められており、泉地区ではボタン型電池は“販売店で処分してもらってもよい”ということになっている。また、その他の地区では、別にその点に関して決まりはない。

実際に「販売店で処分してもらっている」人は、どの地区でも1割弱～2割と低い。これは、そもそも出したことがない人が多いためと考えられる。しかし旧仙台地区では決まりになっていることもあり、比較的多くの人が行っている（20%）。

(6)「壊れた家具や電気製品は、使えなくなったときになるべく早く、ふだん使っているごみ集積所に持っていく」

指定した日以前に持って行くとした人は、地区別にみると、旧仙台地区、泉地区、宮城地区、は1割以下と低い。しかし秋保地区では、13%と他地区に比べて高くなっている。。

(7)「壊れた家具や電気製品は、家の中においておき、市や町内会で指定した場所に、指定された日に持っていく」

地区別にみると、泉地区では約8割と最も多く、旧仙台地区や宮城地区でもそれぞれ6割を越えている。しかし秋保地区では、5割弱となっており、他地区に比べて少ない。

まとめ

“紙くず、野菜くず、プラスチック”については、泉、宮城、秋保地区では市で決められたとおりの排出方法で捨てている人がほとんどである。しかし、旧仙台地区では、「袋」で捨てている人が約5割と「ポリバケツ」で捨てている人の約4割を上回っていた。

“割れたガラス”については、どの地区でも、指定されているとおりに出している人はあまりいない。これは、旧仙台地区や泉地区で、ビン類と一緒に「市設置の回収容器」に捨てている人が多いためである。また宮城地区、秋保地区では、「袋」に捨てている人が多い。

“あきかんやあきびん”は、旧仙台地区と泉地区ではよく守られているように思われる。しかし、宮城地区、秋保地区では、“ポリバケツで捨てる”ことになっているのに「袋」で捨てている人が多いようである。

“古新聞”の捨て方については、「その他」と答える人がどの地区でもかなり多かった。そこでこのように答えた人について、「古新聞やあきびんなどを子供の資源回収やちり紙交換などに出す」（問45）か否かを調べると、肯定的に答えている人は、旧仙台地区で92%、泉地区で95%、宮城地区で88%、秋保地区で80%となっており、大部分の人が処理の形態として「廃品回収」をあげている。

また、「ひも等でたばねる」と答えた人についても同じ集計をすると、「廃品回収」に出していると答えた割合は、旧仙台地区では88%、泉地区95%、宮城地区80%、秋保地区72%とかなり高かった。

また“古布”についても「その他」と答えた人について廃品回収に出しているか否かをみると、旧仙台地区では90%、泉地区では96%、宮城地区では84%、秋保地区では88%とかなり多い。「ひも等でたばねる」と答えた人の中でも、廃品回収に出している人は、旧仙台地区89%、泉地区94%、宮城地区77%、秋保地区71%とやはり多かった。

以上から、「その他」や「ひも等でたばねる」と回答した人の大部分は廃品回収によって処理していることが分かった。

次に“蛍光灯”などは、旧仙台地区では「ポリバケツ」で捨てるようになっているものの、“かん、びん類”などと一緒に「市設置の回収容器」に捨てる人が3割あった。泉地区では指定されたとおりによく守られており、宮城、秋保地区では、他のごみと同様に「袋」で出している人が多かった。

“乾電池、ボタン型乾電池”は、旧仙台地区では乾電池は“市設置の回収容器”に、ボタン型乾電池は“販売店に持って行く”ようになっているものの、両方とも「市設置の回収容器」に捨てる人が多かった。泉地区では指定どおりの捨て方がよく守られているが、宮城地区は市設置の回収容器に、秋保地区では“ポリバケツに捨てる”ようになっているにもかかわらず、「袋」で捨てている人が両地区とも多かった。また、ボタン型乾電池についてはその他と答える人がかなりいたが、そうした人の内、旧仙台地区では64%が、泉地区では43%、宮城地区では50%、秋保地区では33%が、ボタン型乾電池を「販売店で処理」してもらっている。

地区ごとの特徴を全体的にみると、泉地区では指定の排出方法がよく守られている。また、旧仙台地区では、“ポリバケツでなければならない”ごみを「袋」で出す人が多いものの、特に大きな問題は生じていないようである。ただし、この両地区では、ガラスや蛍光灯、電池等でごみの出し方を間違えているケースが若干あった。宮城地区、秋保地区については、どのごみも「袋」で出している人が多いようである。

2. 3. 分別収集

仙台市では、ごみ処理の効率化、適正処理及び環境保護等のために、ごみをいくつかの種類に分けて集める分別収集を行っている。現在、各地区では表2.3.1.のようにごみを分別して出す決まりになっている。

表2.3.1. 各地区の分別方法

地区名	分別することになっているごみの種類
旧仙台	普通の家庭ごみ（紙くず、生ごみ、プラスチック、ゴム、ガラス、せともの、蛍光灯、電球など） あきかん・あきびん類・筒型乾電池（ボタン型乾電池は販売店へ） 粗大ごみ
泉	燃やせるごみ（紙くず、生ごみ、ゴムなど） 燃やせないごみ（プラスチック、ビニール、アルミホイル、ガラス、せともの、灰、農業・劇薬・化粧びんなど） 資源物（びん類、金属類、古紙類、古布類。このうち、びん類と金属類は、それぞれの専用の回収容器に分けて入れる。） 有害物（電球、蛍光灯、乾電池、鏡、体温計、温度計など） 粗大ごみ
宮城	燃えるごみ（紙くず、生ごみ、プラスチック、ゴムなど） 燃えないごみ（空きびん、空かん、ガラス、せとものなど） 有害ごみ（電球、蛍光灯、乾電池、鏡、体温計、温度計など） 粗大ごみ
秋保	燃えるごみ（紙くず、生ごみ、プラスチック、ゴムなど） 燃えないごみ（空きびん、空かん、ガラス、せとものなど） 粗大ごみ

分別の実態（問41）

ごみが実際にどのように分別されて出されているのかを知るために、いくつかのごみの組合せを提示し、それぞれについて、分別しているかどうかを尋ねた。

各地区の分別の決まりは表2.3.2.の組合せ表のとおりとなる。

表2.3.2. ごみの組合せに対する各地区の分別方法

	旧仙台	泉	宮城	秋保
紙くずと野菜くず	しない	しない	しない	しない
紙くずとプラスチック	しない	する	しない	しない
紙くずと割れたガラスや陶器	しない	する	する	する
紙くずと空かん	する	する	する	する
紙くずと空きびん	する	する	する	する
紙くずと古新聞	しない	する	しない	しない
紙くずと古布	しない	する	しない	しない
紙くずと蛍光灯や電球	しない	する	する	する
紙くずと普通の乾電池	する	する	する	する
紙くずとボタン型電池	する	する	する	する
紙くずと壊れた家具	する	する	する	する
プラスチックと割れたガラスや陶器	しない	しない	する	する
プラスチックと空きびん	する	する	する	する
割れたガラスや陶器と空きびん	する	する	しない	しない
空かんと空きびん	しない	する	しない	しない
空きびんと蛍光灯や電球	する	する	する	しない
蛍光灯や電球と普通の乾電池	する	しない	しない	しない
普通の乾電池とボタン型電池	する	しない	しない	しない

「する」は分別を行うことになっている組合せ

「しない」は分別を行うことにはなっていない組合せ

（旧仙台地区）

表2.3.3.では、旧仙台地区において分けることになっている組合せと、分けることになっていない組合せ各々について、分別していると答えた人の割合が高い順に並んでいる。旧仙台地区で分別することになっている組合せは、18組中10組あるが、そのうちの8組で、分別している人が7割を越えている。分別していない人が比較的多いのは、「普通の乾電池とボタン型乾電池」、「割れたガラスや陶器と空きびん」の2組である。

表2.3.3. 分別の実態（旧仙台地区）（%）

	たいてい 分別して	時による	たいてい 分別しない
【分けることになっている】			
紙くずと空きびん	92.4	4.2	3.4
紙くずと空かん	88.2	5.5	6.3
紙くずと普通の乾電池	87.9	5.5	6.6
紙くずと壊れた家具	87.3	6.9	5.8
紙くずとボタン型電池	87.2	6.4	6.5
プラスチックと空きびん	78.3	9.4	12.4
蛍光灯や電球と普通の乾電池	74.4	7.8	17.8
空きびんと蛍光灯や電球	73.6	8.4	18.0
割れたガラスや陶器と空きびん	67.6	10.8	21.6
普通の乾電池とボタン型電池	54.6	12.0	33.4
【分けることになっていない】			
紙くずと蛍光灯や電球	85.7	6.0	8.3
紙くずと割れたガラスや陶器	82.4	7.1	10.5
紙くずと古新聞	70.8	10.4	18.8
プラスチックと割れたガラスや陶器	64.8	15.5	19.7
空かんと空きびん	62.8	8.3	28.9
紙くずと古布	53.2	15.1	31.7
紙くずとプラスチック	40.1	18.8	41.4
紙くずと野菜くず	40.1	15.2	44.7

分けることになっていない組合せは8組あるが、そのうちで分別していると答えた人が5割を越えているのが6組もある。このなかで「紙くずと古新聞」及び

「紙くずと古布」については、集団資源回収や、業者によるちり紙交換に出すために分別していると思われる。

〈泉地区〉

泉地区では、分別することになっている13組全ての組合せについて、分別していると答えている人の割合が7割を越えており、その中でも、9割を越える組が過半数を占めている。分けることになっていない組合せについてみると「蛍光灯や電球と普通の乾電池」、「プラスチックと割れたガラスや陶器」を分別していると答えている人が多い。

表2.3.4. 分別の実態（泉地区）（％）

	たいてい 分別して	時による	たいてい 分別しない
【分けることになっている】			
紙くずと 蛍光灯や電球	97.7	1.3	1.1
紙くずと 空きびん	97.5	1.7	0.9
紙くずと 空かん	96.8	1.7	1.5
紙くずと 割れたガラスや陶器	96.0	2.8	1.3
紙くずと 普通の乾電池	95.8	1.9	2.3
紙くずと ボタン型電池	95.7	2.1	2.1
紙くずと 壊れた家具	94.3	2.3	3.4
紙くずと プラスチック	90.5	4.9	4.7
空きびんと 蛍光灯や電球	86.9	5.3	7.8
プラスチックと 空きびん	82.3	8.1	9.6
割れたガラスや陶器と 空きびん	76.3	9.8	13.9
紙くずと 古新聞	75.4	8.6	16.0
空かんと 空きびん	75.1	7.2	17.8
紙くずと 古布	70.2	10.2	19.6
【分けることになっていない】			
蛍光灯や電球と 普通の乾電池	67.2	6.2	26.7
プラスチックと 割れたガラスや陶器	61.9	12.5	25.6
普通の乾電池と ボタン型電池	49.5	7.7	42.8
紙くずと 野菜くず	36.1	9.7	54.2

〈宮城地区〉

宮城地区では、分けることになっている組合せのうち、「空きびんと蛍光灯や電球」を分別していないと答えている人が多い。蛍光灯や電球は乾電池などと比べて、有害物だとは認識されていないためと考えられる。

表2.3.5. 分別の実態（宮城地区）（％）

	たいてい 分別して	時による	たいてい 分別しない
【分けることになっている】			
紙くずと 蛍光灯や電球	98.0	1.2	0.8
紙くずと 普通の乾電池	95.6	2.0	2.4
紙くずと 割れたガラスや陶器	95.3	2.0	2.8
紙くずと 空かん	95.3	2.0	2.8
紙くずと 空きびん	95.2	2.4	2.4
紙くずと ボタン型電池	93.6	4.0	2.4
紙くずと 壊れた家具	89.0	5.7	5.3
プラスチックと 空きびん	79.9	8.7	11.4
プラスチックと 割れたガラスや陶器	79.5	7.5	13.4
空きびんと 蛍光灯や電球	58.3	9.5	32.3
【分けることになっていない】			
紙くずと 野菜くず	58.9	7.9	34.0
蛍光灯や電球と 普通の乾電池	57.7	9.1	33.2
紙くずと 古新聞	54.0	15.1	31.0
紙くずと プラスチック	49.4	13.9	36.7
紙くずと 古布	47.0	17.8	35.2
割れたガラスや陶器と 空きびん	38.7	11.3	50.0
普通の乾電池と ボタン型電池	34.8	10.4	54.8
空かんと 空きびん	32.0	10.3	57.7

分けることになっていないもののうち、分別しているという答えが5割を越えているのは、「蛍光灯や電球と普通の乾電池」、「紙くずと野菜くず」、「紙くずと古新聞」である。「蛍光灯や電球と普通の乾電池」では、蛍光灯や電球を燃えないごみとし、普通の乾電池を有害ごみとするためにこのような結果になったものと考えられる。また、「紙くずと野菜くず」や「紙くずと古新聞」は、紙くずや野菜くずを自家処理している家庭が多いため、分別しているという答えにな

ったものと考えられる。

〈秋保地区〉

秋保地区では、分けることになっている組合せのなかで、分別していると答えた人が少ないのは、「プラスチックと割れたガラスや陶器」と「プラスチックと空きびん」である。

分けることになっていない組合せのうち、分別しているという答えが50%を越えているのは、「紙くずと野菜くず」、「紙くずと古新聞」、「紙くずとプラスチック」、「紙くずと古布」である。宮城地区と同様に、紙くずや野菜くずを自家処理する家庭が多いため、このような結果になったものと思われる。

表2.3.6. 分別の実態（秋保地区）（%）

	たいてい分別して	時による	たいてい分別しない
【分けることになっている】			
紙くずと 蛍光灯や電球	95.6	3.3	1.1
紙くずと ボタン型電池	95.5	2.8	1.7
紙くずと 空きびん	95.5	2.8	1.7
紙くずと 普通の乾電池	95.1	2.8	2.2
紙くずと 空かん	94.5	3.3	2.2
紙くずと 割れたガラスや陶器	91.4	7.0	1.6
紙くずと 壊れた家具	85.1	9.7	5.1
プラスチックと 空きびん	64.9	16.2	18.9
プラスチックと 割れたガラスや陶器	62.7	16.8	20.5
【分けることになっていない】			
紙くずと 野菜くず	70.0	7.7	22.4
紙くずと 古新聞	59.4	14.4	26.3
紙くずと プラスチック	58.0	16.6	25.4
紙くずと 古布	56.7	15.3	28.0
空きびんと 蛍光灯や電球	43.9	14.3	41.8
蛍光灯や電球と 普通の乾電池	41.5	14.4	44.2
割れたガラスや陶器と 空きびん	39.4	12.2	48.4
普通の乾電池と ボタン型電池	35.9	10.9	53.3
空かんと 空きびん	33.9	15.6	50.5

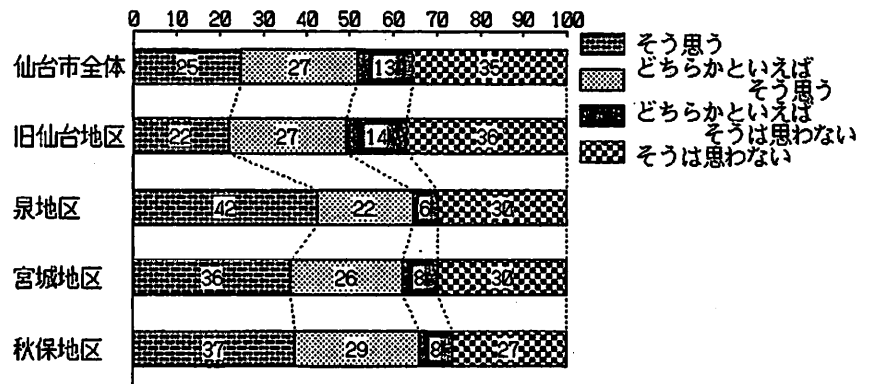
分別収集に関する意見（問42）

人々の行為を支える判断基準には、他者からの直接的な賞罰、法や規範など外的基準、生育の過程で内面化された内的基準があげられる。内的基準はまた、判断の際の社会的・時間的広がりなどにより細分化される。ここで取り上げた「分別収集に関する意見」は、それぞれいずれかの基準の下になされる判断である。

はじめの3項目では、ごみの分別を行う際に他の人との関わりをどれだけ重視しているのかをみるものである。（注：『』でかこまれている場合は「どちらかといえば」を含む。以下、同じ。）

① 【ごみを分けて出さないと、近所から何か言われるだろう】

仙台市全体では、『そう思う』と『そう思わない』がほぼ半々である。地区別で見ると、泉、宮城及び秋保の3地区で、約3分の2の人が『そう思う』と答えている。

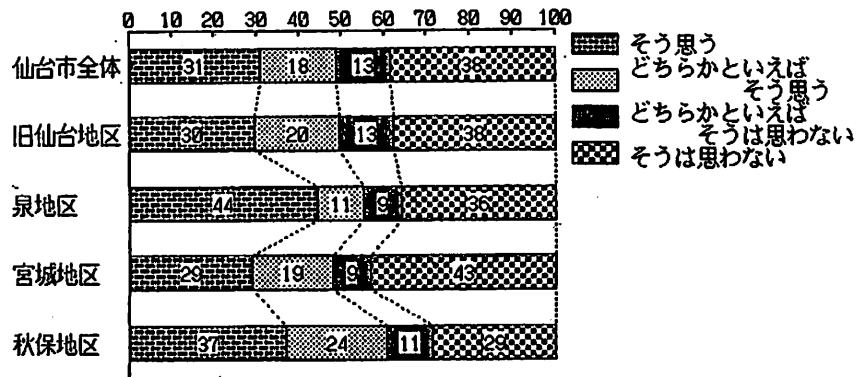


② 【ごみを分けて出さないと、近所から何か言われるだろう】

図2.3.1. 分別収集に関する意見1（%）

② 【ごみを分けて出しているのは、他の人もそうしているからだ】

全体では『そう思う』と『そう思わない』が半々である。地区別では、泉地区と秋保地区で、『そう思う』と答えた人が多い。

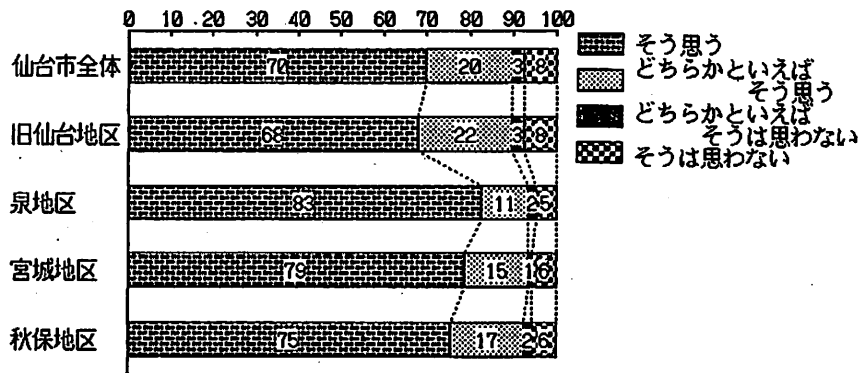


【ごみを分けて出しているのは、他の人もそうしているからだ】

図2.3.2. 分別収集に関する意見2 (%)

③ 【私のごみを分けて出さないと、他の人に迷惑がかかるだろう】

各地区とも、9割の人が『そう思う』と答えている。中でも泉地区では「そう思う」という積極的肯定だけでも83%に達している。逆に旧仙台地区では、「どちらかといえばそう思う」という消極的肯定の占める割合が他地区よりも大きい。以上の結果から、泉地区と秋保地区では特に他の人（近所）との関わりを重視する人が多く、旧仙台地区ではあまり重視していない人が他の地区と比べて多い、ということが言えそうである。



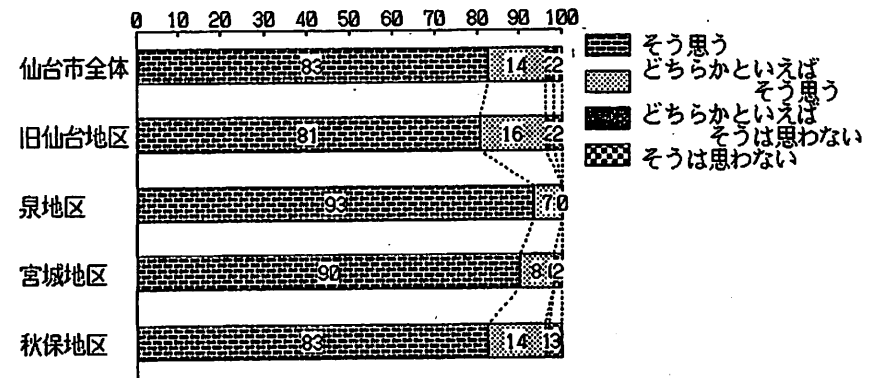
【私のごみを分けて出さないと、他の人に迷惑がかかるだろう】

図2.3.3. 分別収集に関する意見3 (%)

先に記述したように、人々は行為に際して、規則や慣習を、それが「決まり」であるがゆえに正しいと考え、それに従うことがある。次の質問は、ごみの分別がこのような判断のもとになされているか尋ねている。

④ 【決まりになっていることなのでごみを分けて出すのは当然だ】

どの地区でも、ほとんどの人が肯定的な答をしている。その中でも泉、宮城地区では、積極的に肯定する人だけで9割を越えている。



【決まりになっていることなのでごみを分けて出すのは当然だ】

図2.3.4. 分別収集に関する意見4 (%)

この結果から、大部分の人が「ごみを分別するのは決まりだから当然」という考えを持っているように思われる。

しかし、因子分析の結果を参照すると、この意見に対する賛成は、単に規則に対する盲従から生じたのではなく、

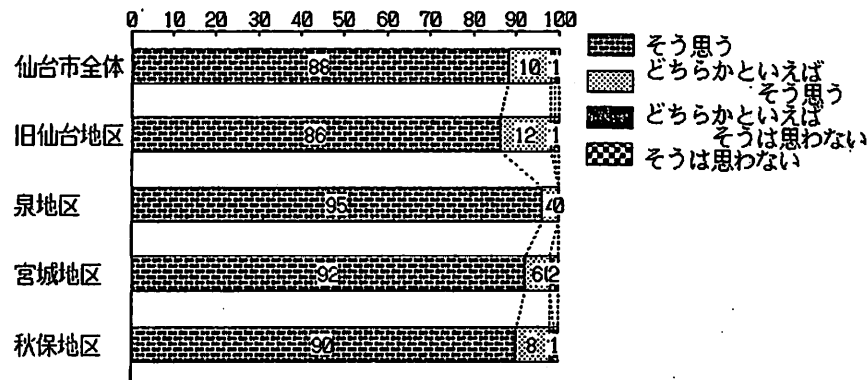
- 1) 分別に意義を認め、2) 分別のコストもやむをえないことと理解し、
- 3) 他者の目を気にしつつ行為する

ために生じたのものと推定される。

次の4項目は、分別収集を行うことの意義がどれだけ認知されているかをみるためのものである。

⑤ 【ごみを分けて出せば、ごみ処理の効率がよくなる】

どの地区でも、ほとんどの人が『そう思う』と答えているが、旧仙台地区では「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合が比較的多い。

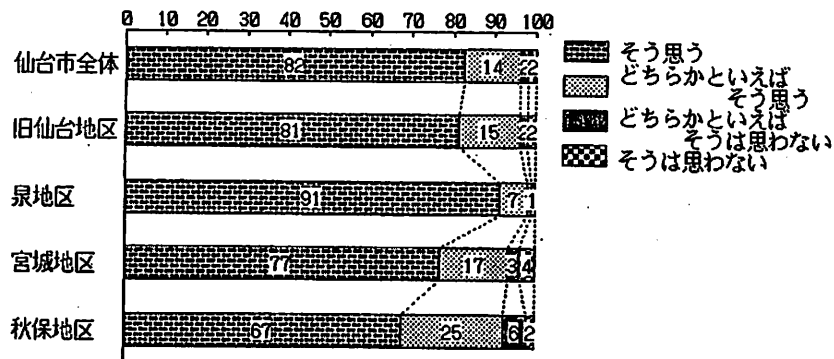


【ごみを分けて出せば、ごみ処理の効率がよくなる】

図2.3.5. 分別収集に関する意見5 (%)

⑥ 【ごみを分けて出せば、資源の再利用に役立つ】

全体では、96%の人が『そう思う』と答えている。この比率は地区ごとにより変わらないが、肯定の強さでみると違いがある。宮城地区と秋保地区では積極的肯定の答が泉地区及び旧仙台地区と比べ少々低い。宮城・秋保地区では資源ごみの回収をしていないことが関係しているのではないと思われる。

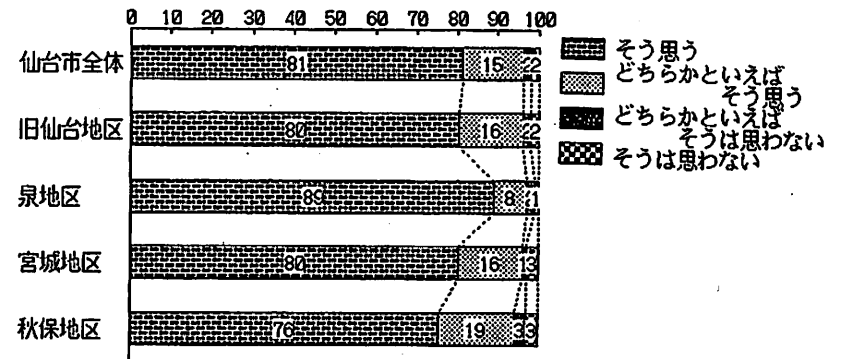


【ごみを分けて出せば、資源の再利用に役立つ】

図2.3.6. 分別収集に関する意見6 (%)

⑦ 【ごみを分けて出せば、環境汚染の防止につながる】

どの地区でも、ほとんどの人が『そう思う』と答えている。特に泉地区では、積極的に肯定する人の比率が89%に達している。

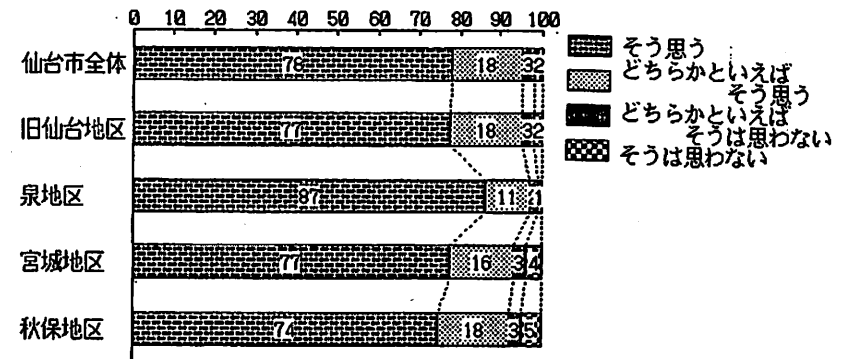


【ごみを分けて出せば、環境汚染の防止につながる】

図2.3.7. 分別収集に関する意見7 (%)

⑧ 【ごみを分けて出せば、焼却炉などの処理施設が長持ちする】

全体では96%の人が『そう思う』と答えている。地区別でみると、各地区とも『そう思う』という人が9割を超えているが、なかでも泉地区では積極的肯定が87%と多い。

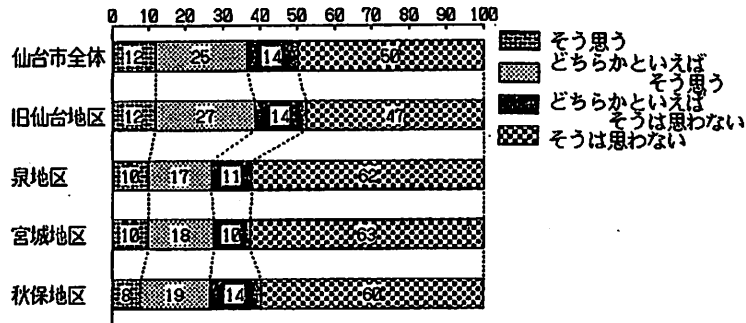


【ごみを分けて出せば、焼却炉などの処理施設が長持ちする】

図2.3.8. 分別収集に関する意見8 (%)

これらの結果からみると、大部分の人たちは、ごみの分別が、ごみ処理の効率化や資源の再利用・環境汚染の防止などに役立っていると考えており、分別の意義が広く認められていることがうかがわれる。

実際にごみの分別を行うには各人にそれなりのコストが要求される。そのコストを苦痛と感じているかを問うたのが次の2項目である。



【ごみを分けて出すのは、とても面倒だ】

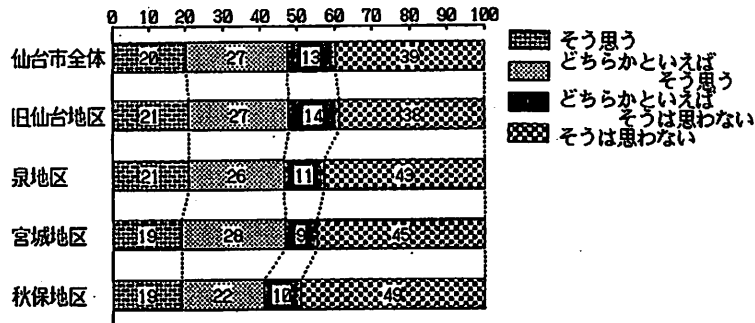
図2.3.9. 分別収集に関する意見9 (%)

⑨ 【ごみを分けて出すのは、とても面倒だ】

全体では6割強の人が『そう思わない』と答えている。地区別では、旧仙台で『そう思う』という人が約4割と比較的多い。

⑩ 【ごみを出してよい日まで、家においておくと邪魔になる】

全体では『そう思わない』という人が5割強と若干多かった。



【ごみを出してよい日まで、家においておくと邪魔になる】

図2.3.10. 分別収集に関する意見10 (%)

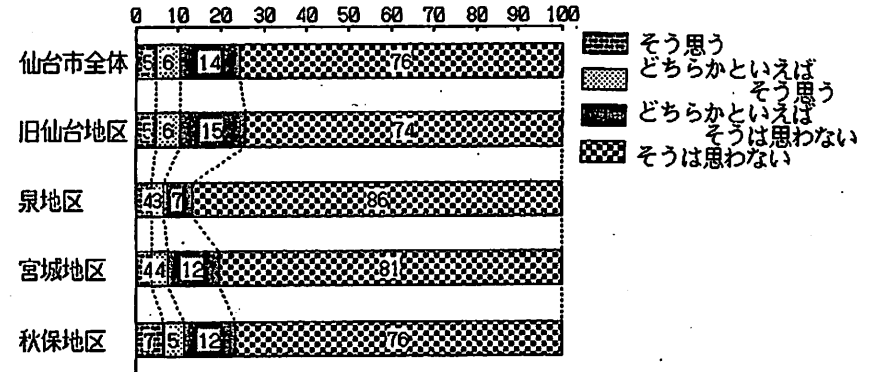
⑨及び⑩の結果をみると、「面倒だ」という人が4割、「ごみがじゃまだ」という人が半数となっている。分別の必要な意義を認めている一方で、分別に伴うコストを苦痛と感じている人が少なくないといえる。特に、旧仙台地区でその傾向が比較的大きいようである。

次の項目は、ごみの分別に関しての自己の行動が社会に対してどれだけの影響を持つかの認知を問うている。

⑪ 【自分一人がごみを分けて出さなくても、大した影響はない】

どの地区でも9割前後の人が『そう思わない』と答えている。

大部分の人が、多かれ少なかれ、ごみの分別に関する自分の行動の社会的影響力を認知しているようである。



【自分一人がごみを分けて出さなくても、大した影響はない】

図2.3.11. 分別収集に関する意見11 (%)

分別の希望 (問43)

どのようなごみの分別方法がよいと考えるかを尋ねたものが図2.3.12.である。仙台市全体を見ると、「水銀を含んだもの」、「ガラス類」をはじめとして、ほとんどのごみ種について分別を希望する人の割合が6割以上の値を示しており、5割以下は「プラスチック類」、「古紙」、「古布」の3つである。このうち、「古紙」及び「古布」については、焼却すべきごみあるいは集団資源回収や業者による廃品回収を利用するものとして、わざわざ市が分別収集する必要はないと考えていると推測される。

地区別の比較をしてみると、わずかの例外を除き、ほとんどのごみ種に対する分別希望の割合で、泉が最も高く、旧仙台、宮城、秋保の順に低くなっている。特に秋保地区は、全てのごみ種について、分別を希望する人の割合が仙台市全体より1割以上少なかった。宮城地区においては、「プラスチック類」、「空きびん」、「古紙」、「古布」に対する分別希望の割合が少ない。宮城地区では、空きびんや古紙などの資源ごみは回収されていない。さらに、分別方法が最も簡便なのが秋保地区であったことも考慮すると、その地区で実際に分別することになっているかどうかということが分別の希望と関係を持っていると考えられる。

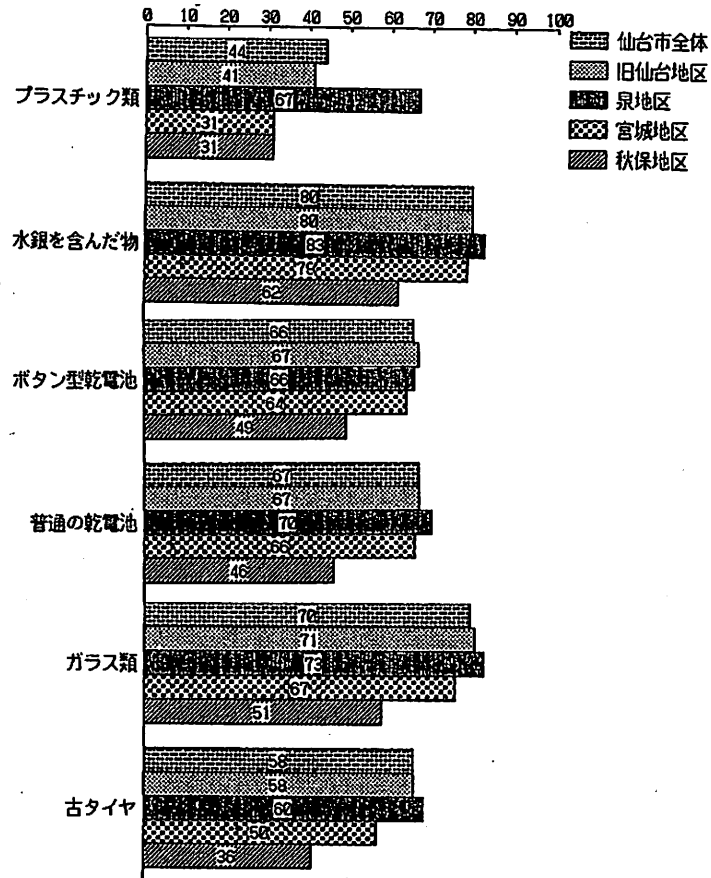


図2.3.12. 分別の希望（その1）（%）

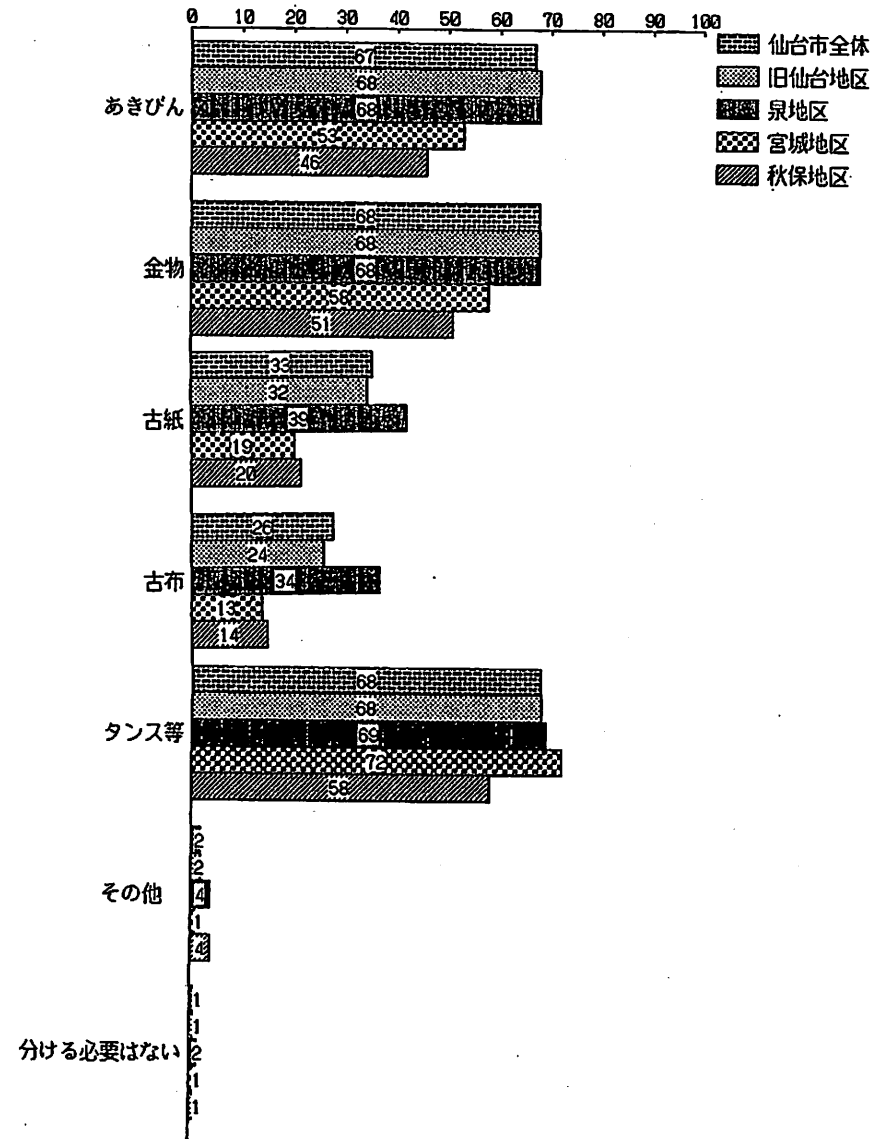


図2.3.12. 分別の希望（その2）（%）

実行しているごみの減量法（問44）

ごみの量を減らすために実行していることについて尋ねたものが図2.3.13.である。仙台市全体でみると、「廃品回収」、「生ごみ水を切って出す」、「使えらるうちは新しいもの買い換え」などが主なものとなっている。

地区別でみると、「廃品回収」では、旧仙台、泉に対して、宮城、秋保は少ない。逆に「自家焼却」では、旧仙台、泉で少ないのに対し、宮城、秋保が多くなっている。生ごみについてみると、「生ごみを自家処理」する人が旧仙台、泉ではともに1割強に対して、宮城、秋保で3～4割と多いが、これとは逆に、「生ごみ水を切って出す」という人は旧仙台、泉の7～8割弱に比べて、宮城、秋保は、4～6割と少なくなっている。

実行しているごみの再利用法（問45）

ごみの再利用に役立つことで、各家庭で実行されていることを尋ねたものが図2.3.14.である。

仙台市全体を見ると「資源回収やちり紙交換などに出す」が最も多く、「再利用可能なごみの分別」、「空きびんを酒屋に持って行く」、「衣服などを親戚や知人に譲る」の順で続いている。「バザーの利用」、「リサイクルショップの利用」等は少ない。

地区別でみた場合、「資源回収やちり紙交換などに出す」については、泉地区が9割強と高く、秋保地区は7割強とやや低い。また、「バザーを利用」でも秋保地区は1割強と低い。秋保地区では、資源回収やちり紙交換、バザーが行われる回数が少ないことや、ごみを自家処理する家庭が多いことからこのような結果になったとも考えられよう。次の「空きびんを酒屋に持って行く」は、旧仙台、泉地区に比べて、宮城、秋保地区が5割強とやや高い。また「再利用可能なごみの分別」では、旧仙台、泉地区の約7割に比べて、宮城、秋保が5割弱と低くなっている。この2つの項目の結果には、旧仙台及び泉地区で空きびんを資源ごみとして回収している一方、宮城・秋保地区では資源ごみの回収が行われていないという違いが影響していると考えられる。

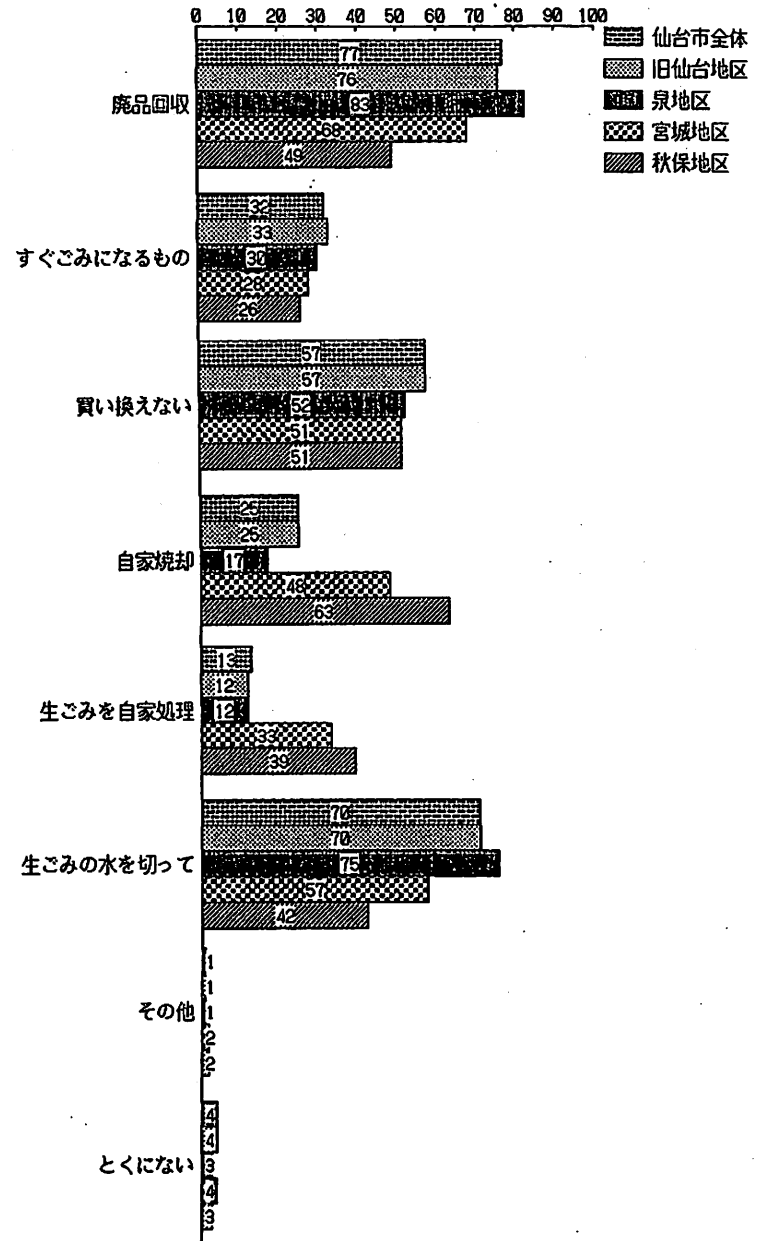


図2.3.13. 実行しているごみの減量法（%）

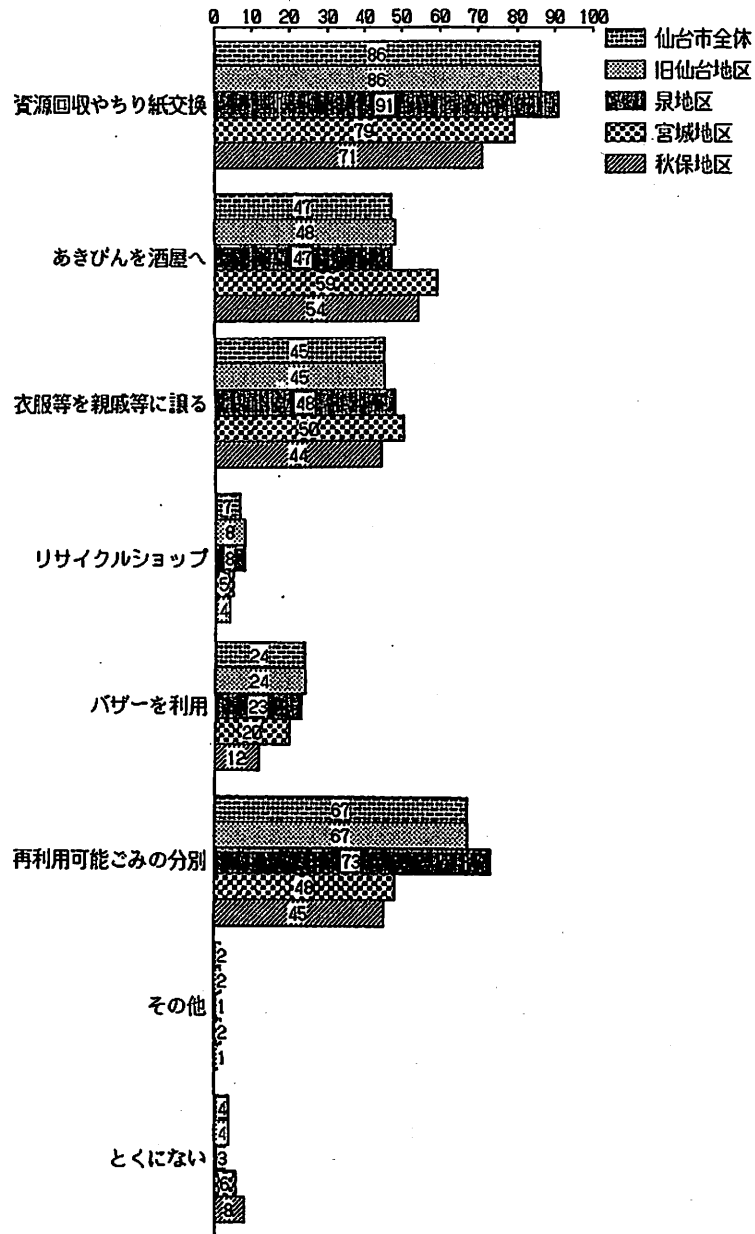


図2.3.14. 実行しているごみの再利用法

まとめ

分別の実態では、分別することになっているものについてはほとんど分別が行われていた。分別することになっていないものに対しても、分別していると答えた人が意外に多かった。分別収集に関する意見では、ごみの分別に際して他者との関係を重視している人が半数近くあった。分別収集の意義を認めている人は9割を越えていたが、それと同時に半数近くの人が、分別に伴うコストを苦痛と認知していた。分別の希望では、挙げられたごみ種のほとんどに対して分別を希望する人が半数を越えていた。希望する人が少なかったのは、古紙や古布といった、集団資源回収や業者によるちり紙交換に出すと思われるものと、プラスチックであった。実行しているごみの減量の主なものは、「廃品回収に出す」、「生ごみの水を切って出す」、「使えるうちは新しいものに買い換ええない」などであった。実行している再利用の主なものは、「資源回収やちり紙交換に出す」、「再利用可能なごみの分別」などであった。

考察(1) 分別を行わないのはどんな人か

先にみたように、分別することになっているものは、大部分の人が分別を行っていた。それでは、分別を行わない人とはどのような人なのか。旧仙台地区を例にとって調べてみた。

問41で示したごみの組合せ全てについてみるのは、複雑になるので、ここでは、分けることになっている組合せの中で、分別を行っている人の割合が比較的低く、普段から分別していないと、分別することになっているかどうかの判断を難しい組合せを選び、それについてみていくのが最も効率的と考えた。ここでは「割れたガラスや陶器と空きびん」を選んだ。

表2.3.6. 分別の実態 (割れたガラスや陶器と空きびん)
(年齢別) (%)

分別の実態	年 齢					
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
分別している	37.3	62.1	74.4	74.3	78.2	77.0
時による	16.9	13.3	8.3	8.6	8.9	6.5
分別していない	45.8	24.6	17.4	17.1	12.9	13.5
合計(%の基数)	(142)	(203)	(230)	(222)	(179)	(74)

まず、年齢との関係のみてみたものが、表2.3.8.である。年代が下がるにつれて分別している人が少なくなっているが、特に、30歳未満では半数近い人が「分別していない」と答えており、30代以上とははっきりした差が現われている。

男女別でみると、いくぶん、男性が分別しない傾向にある。

表2.3.8. 分別の実態（割れたガラスや陶器と空きびん）
（性別）（%）

分別の実態	性別	
	男	女
分別している	62.3	70.6
時による	12.0	10.0
分別していない	25.7	19.5
合計（%の基数）	(382)	(673)

職業をみると、ほとんどの職業で「分別している」と答えた人が6割以上いる中で、学生では、「分別していない」と答えた人が5割を越えている。

表2.3.9. 分別の実態（割れたガラスや陶器と空きびん）（職業別）

分別の実態	職業						
	専業主婦	学生	臨時雇用	常時雇用	自営業	経営者	その他
分別している	72.9	31.9	70.5	59.2	60.8	85.7	80.0
時による	9.9	12.8	9.0	12.9	17.8	2.9	8.0
分別していない	17.2	55.3	20.5	27.9	21.5	11.4	12.0
合計（%の基数）	(303)	(47)	(122)	(287)	(107)	(35)	(75)

次に住居別でみると、持ち家が借家かということよりも、一戸建てかアパート・マンションであるかが分別に関わっているようである。一戸建てでは、「分別していない」という人が持ち家及び借家が2割弱と少ないのに対し、中高層集合住宅、民間木造アパート、民間鉄筋アパート・マンションのどれも3割を越えている。

表2.3.10. 分別実態（割れたガラスや陶器と空きびん）（住居別）

住居	分別の実態			（%の基数）
	分別する	時による	分別しない	
持ち家（一戸建て）	75.2	8.7	16.1	(604)
持ち家（中高層集合住宅）	57.1	11.4	31.4	(35)
借家（一戸建て）	68.2	12.9	18.8	(85)
借家（民間木造アパート）	43.8	16.9	39.3	(89)
借家（民間鉄筋アパート・マンション）	50.9	15.7	33.3	(108)
借家（公社・公団・公営住宅）	70.8	7.7	21.5	(65)
社宅・官舎・独身寮	59.6	11.5	28.9	(52)

以上から、分別を行わない傾向が比較的強いのは、① 30歳未満の人、② 学生、③ アパート・マンションに住んでいる人、であることがわかった。自由回答に寄せられた意見をみても、アパートの住人や学生のごみの出し方についての苦情は多かった。ところで、この3つは必ずしも独立とはいえない。学生は、たいてい30歳未満であるし、この調査に回答している学生は、ほとんどが一人暮らしであると考えられるから、アパート住まいと考えられる。また、30歳未満であれば、一戸建てよりも、アパート・マンション住まいの人が多と思われる。

この人たちは、なぜ分別を行わないのか。その理由について次で考察した。

考察(2) 分別に伴うコストと分別の実態

分別をしない理由を考察(1)と同様に、旧仙台地区の「割れたガラスや陶器と空きびん」の分別実態をとりあげて分析してみた。

「分別収集に関する意見」（問42）の所では、9割以上の方が「分別の意義を理解」しているが、同時に、「分別を面倒」と感じている人が約4割、「分別のために家においておかなくてはならないごみが邪魔だ」と感じる人が約5割いることがわかった。

「ごみを分けて出すのは、とても面倒だ」という意見に対する反応をみても、「そうは思わない」と答えた人では、分別している人が8割弱、分別していない人が2割弱であった。それに対して、「そう思う」と答えた人では、分別している人が6割弱、分別していない人が3割である。ここから分別を「面倒だと感じている人」のほうが、「面倒だと感じていない人」よりも、分別を行っていないことがわかる。

表2.3.11. 分別の実態（割れたガラスや陶器と空きびん）
（分別を面倒だと思う程度別）（％）

分別の実態	面倒だと思う程度			
	そう思う	どちらか どと そう思う	どちらか どと そう思わない	そうは 思わない
分別している	55.7	58.1	59.7	77.3
時による	14.5	16.6	14.6	5.9
分別していない	29.8	25.3	25.7	16.8
合計（％の基数）	(124)	(277)	(144)	(488)

「ごみを置いておくのは邪魔になる」という意見に対する反応をみると、「そうは思わない」と答えた人では、分別している人が77%、分別していない人が15%であった。それに対して、「そう思う」と答えた人では、それぞれ62%、25%であった。ごみを置いておくのが「邪魔だ」と思っている人のほうが、分別しない傾向にあるようである。

また、分別の意義を認めている人は多かったが、やはり、分別は面倒とかごみが邪魔というように、分別に伴うコストを少しでも苦痛とする人では、分別しない傾向があるようである。

表2.3.12. 分別の実態（割れたガラスや陶器と空きびん）
（ごみを邪魔だと思う程度別）（％）

分別の実態	邪魔だと思う程度			
	そう思う	どちらか どと そう思う	どちらか どと そう思わない	そうは 思わない
分別している	62.0	63.0	54.5	77.4
時による	12.7	11.4	17.2	7.7
分別していない	25.4	25.6	28.3	14.9
合計（％の基数）	(219)	(281)	(145)	(390)

考察(3) 市政への関心・環境への関心と分別の実態

ごみを分別して出すというのは、市の行政に対して協力するということでもある。市政への関心の度合いが、ごみの分別に影響を与えていることも考えられる。市政への関心の度合いがごみの分別に与える影響を推定するために、市の広報を読んでいる程度と分別の実態との関係をもてみたものが表2.3.13.である。

表2.3.13. 分別の実態（割れたガラスや陶器と空きびん）
（市の広報を読んでいる程度別）（％）

分別の実態	市の広報を読んでいる程度			
	よく読む	ある程度は 読む	あまり 読んでいない	まったく 読んでいない
分別している	76.4	67.9	53.4	36.7
時による	8.0	11.8	12.8	10.0
分別していない	15.6	20.3	33.8	53.3
合計（％の基数）	(301)	(592)	(133)	(30)

表2.3.13.をみると、仙台市広報をよく読んでいる人ほど分別を行っており、読んでいない人ほど分別を行っていない。この結果は、市政への関心が高いほど、分別を行う傾向があることを示しているといえる。

表2.3.14. 分別の実態（割れたガラスや陶器と空きびん）
（環境問題への関心度別）（％）

分別の実態	環境問題への関心度		
	非常に 関心ある	まあ 関心ある	あまり 関心がない
分別している	75.6	66.3	53.1
時による	7.6	10.8	18.6
分別していない	16.8	23.0	28.3
合計（％の基数）	(303)	(638)	(113)

先の「分別収集に関する意見」（問42）の所では、大部分の人が「ごみを分けて出せば、環境汚染の防止につながる」と考えていることがわかった。それでは環境問題への関心は、どれだけ実際の分別に影響を与えているのだろうか。

表2.3.14.を見れば分かるように、関心が低いほど分別しない傾向があり、特に、「あまり関心がない」と答えた人で、分別していない人が多い。環境問題への関心も、ごみの分別に影響を与えているようである。

考察(4) 近所付き合いの程度と分別の実態

先の分析で、分別を行わない傾向が強いのは、①30歳未満の人、②学生、③アパート・マンションに住んでいる人であることがわかった。

この人たちに共通する性質の一つとして、近所付き合いの少なさということが考えられる。近所付き合いの程度がごみの分別とどのような関係にあるかを表2.3.15. に示した。

表2.3.15. 分別の実態(割れたガラスや陶器と空きびん)
(近所付き合いの程度別) (%)

分別の実態	近所付き合いの程度			
	挨拶なし	挨拶だけ	話す人ある	話す人多い
分別している	44.1	64.7	69.6	76.0
時による	13.1	11.8	11.1	8.9
分別していない	42.9	23.5	19.3	15.1
合計(%の基数)	(84)	(340)	(316)	(304)

近所付き合いの程度が疎遠になるほど、分別を行っていない人が多くなる傾向が顕著である。近所付き合いの程度が、ごみの分別に影響を与えているようである。原因として、近所との付き合いが親密なほど、近所の人の目や関係を気にし、分別を行うということが考えられる。

しかし、「ごみを分けて出さないと近所から何かいわれるだろう」という意見に対する反応をみると(表2.3.16.)、近所付き合いが親密なほど、他の人から何かいわれるという意識がない。つまり近所の目を気にしていないことがわかる。

表2.3.16. 「ごみを分けて出さないと近所から何かいわれると思うか」
(近所付き合いの程度別) (%)

そうは思わない 合計(%の基数)	近所付き合いの程度			
	挨拶なし	挨拶だけ	話す人ある	話す人多い
25.0 (84)	31.6 (326)	39.9 (303)	41.0 (288)	

近所の目を気にすることが、ごみの分別に影響を与えているとはいえないのか。ここで、近所付き合いが疎遠な人(「挨拶なし」と近所付き合いが親密な人(

「話す人が多い」)、それぞれについて、「近所に何かいわれるかどうか」と分別の実態との関係をみてみた。

表2.3.17. 近所付き合いが疎遠な人(挨拶なし)の分別の実態
(近所の目を気にする程度別) (%)

分別の実態	近所から何かいわれると思うか			
	そう思う	どちらか ど と そう 思う	どちらか ど と そう 思わない	そうは 思 わ ない
分別している	60.0	46.9	31.3	38.1
時による	13.3	6.3	31.3	9.5
分別していない	26.7	46.9	37.5	52.4
合計(%の基数)	(15)	(32)	(16)	(21)

表2.3.18. 近所付き合いが親密な人(話す人が多い)の分別の実態
(近所の目を気にする程度別) (%)

分別の実態	近所から何かいわれると思うか			
	そう思う	どちらか ど と そう 思う	どちらか ど と そう 思わない	そうは 思 わ ない
分別している	77.3	72.2	68.8	76.3
時による	9.1	11.1	9.4	8.5
分別していない	13.6	16.7	21.9	15.3
合計(%の基数)	(66)	(72)	(32)	(118)

付き合いが疎遠な人では、他人の目を気にする人ほど、分別を行っている。しかし付き合いが親密な人では、他人の目を気にするしないにかかわらず、分別している率が一貫して高い。

これらの結果をこれ以上分析するのは難しいが、近所付き合いが親密であると、近所の目を分別行動をする際の基準とするのではなく、近所の共同意識のようなものの動きが、分別の実施を支えていると考えられる。一方、近所付き合いが疎遠な人では、そのような共同意識が存在しないため、他人の目を気にし、分別しないと何かいわれるのではないかという恐れが、ごみの分別をする上での潜在的な動機の一つとなっていると推測される。

2. 4. ごみ集積所

ごみ集積所は、各家庭がごみを出し、ごみが収集されるまで一時的に保管しておく場所である。宅地の造成等を行う事業者に対しては、仙台市の要綱で集積施設の設置が指導されているが、要綱適用前の旧市街地やミニ開発地域、農村地域などの場合、空き地や道路の一部を使用しているところもある。

ごみ集積所に主にごみを運ぶ人(問11)

各世帯でごみを集積所まで運んでいる人について尋ねたものが図2.4.1.である。仙台市全体では、19-64歳の人が85%と圧倒的に多く、65歳以上の人がこれに次いでいる(12%)。家族以外の人(アパートの管理人、施設の職員など)、子供(18歳以下)は少ない(1%強)。性別では、女性が4分の3を占めている。

地区ごとの差はそれほど大きいとはいえない。秋保地区では19-64歳の人が他地区と比べ少ない代わりに65歳以上の人が多くっており、また、家族以外の人比率も比較的高くなっている。さらに、性別と年齢を同時に検討すると、泉地区では19-64歳の女性が多いこと、秋保地区や旧仙台地区では19-64歳の男性が多いこと、などが分かる。これは、地区ごとの人口構成や家族構成、ライフステージなどの相違を反映したものとといえよう。

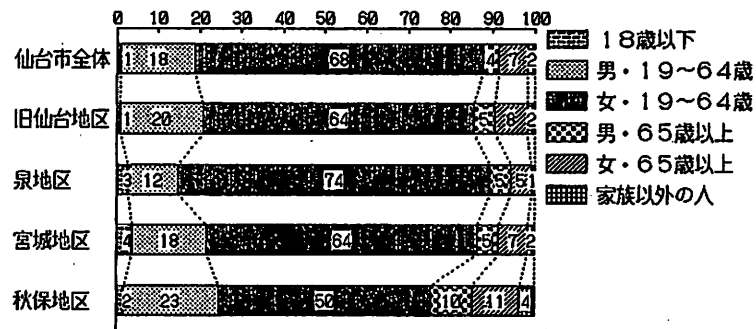


図2.4.1. ごみ集積所に主にごみを運ぶ人 (%)

ごみ集積所までの道のり(問12)

各家庭からごみ集積所までの距離を尋ねたものが図2.4.2.である。仙台市全体でみると、至近距離(10m未満)の世帯及び近距離(10-29m)の世帯が各々3割強あるので、全体としては、30m未満の世帯が6割強になる。一方、100m以上の世帯は6%である。また、中央値は10-29mである。地区別にみると、30m未満の世

帯の比率が、それぞれ、63%、51%、48%、46%となっていることから、旧仙台地区、泉地区、宮城地区、秋保地区、の順に距離が遠くなる傾向があることが分かる。ただし、秋保地区では、10m未満及び100m以上の世帯が比較的多い。

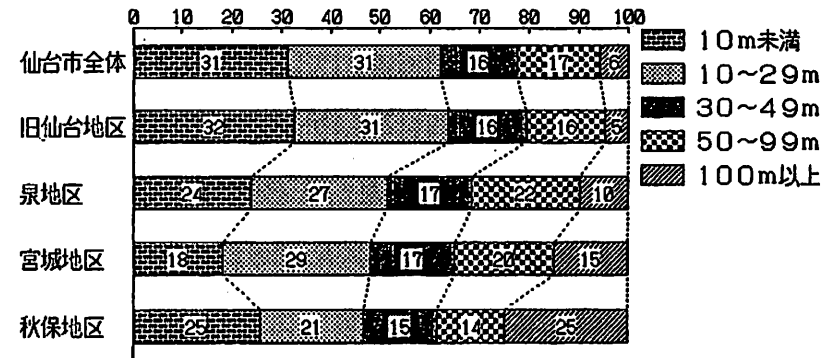


図2.4.2. ごみ集積所までの道のり (%)

ごみ集積所までの距離感(問13)

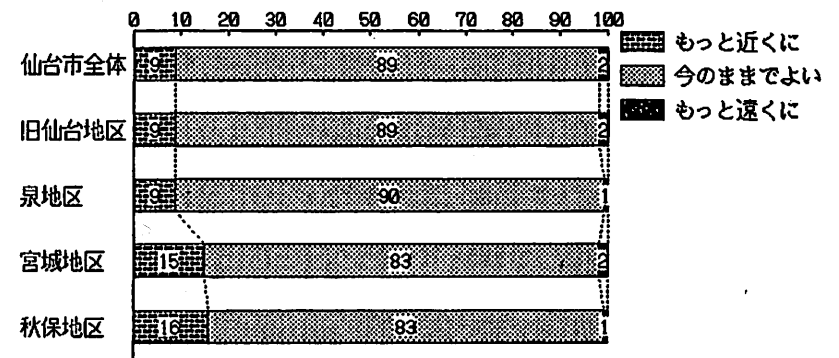


図2.4.3. ごみ集積所までの距離感 (%)

ごみ集積所が、各世帯にとって適当な距離に配置されているかについて尋ねたものが図2.4.3.である。人々の距離感によって調べてみると、仙台市全体では、9割近い世帯が「今のままでよい」と答えている。また、「もっと近くに」が9%ある。

地区別にみると、宮城地区や秋保地区で「もっと近い」集積所に対する希望が各々15%、16%と多いことが分かる。

ごみ集積所の清潔度(問14)

ごみ集積所の清潔度について尋ねたものが図2.4.4.である。

集積所の状態は、仙台市全体では

「きれいになっている」-70%、「やや汚い」-24%、「汚い」-6%となっている。地区別に見ると、「きれい」の比率が最も高いのは泉地区で、旧仙台地区、宮城地区、秋保地区と続いている。宮城及び秋保地区では、「汚い」の比率が各々約1割と比較的高くなっている。

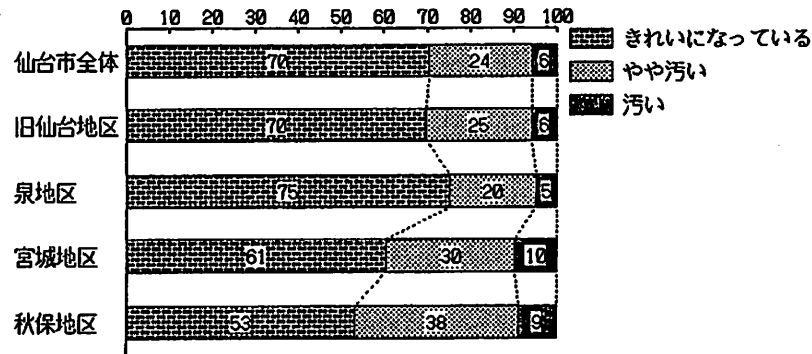


図2.4.4. ごみ集積所の清潔度 (%)

動物による集積所の被害(問15)

ゴミ集積所が汚れる理由の一つが動物による被害である。表2.4.0.にみられるように、仙台市全体では、猫やカラスの被害が各々約4割と多く、犬による被害も約1割報告されている。それ以外の動物による被害はほとんどない。

また、動物による被害がないと回答している世帯は35%であった。

	(複数回答)				
	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 犬の被害がある	11.5	10.8	11.3	21.8	27.0
2 猫の被害がある	40.7	39.6	42.6	46.4	42.3
3 カラスの被害がある	40.9	38.1	50.7	52.1	42.8
4 その他の動物の被害がある	1.7	1.9	0.4	2.3	3.7
5 動物による被害はない	35.0	35.9	31.9	26.4	32.1
	1316	1081	477	261	215

表2.4.0. 動物による集積所の被害 (%) (図2.4.5.は略)

地区別にみると、犬の被害は宮城地区と秋保地区で比較的多く、カラスの被害は泉地区と宮城地区で5割強と多かった。猫の被害は地区による差があまり存在しない。その他の動物の被害は宮城地区や秋保地区で多い傾向が見られた。「動物による被害がない」と答えた世帯の比率は旧仙台地区ではやや多く、宮城地区では少ない傾向が見られる。

ごみ集積所(またはボックス)を掃除している人(問16)

ごみ集積所の掃除をしている人は、仙台市全体でみたときには、「そこを利用している人たち」が55%と最も多く、次いで、「集積所の近くの人だけ」が18%、「管理人・不動産業者・清掃業者等」、その他の順となっている。また、「知らない」が1割強、「ほとんど掃除されていない」が3%あった。

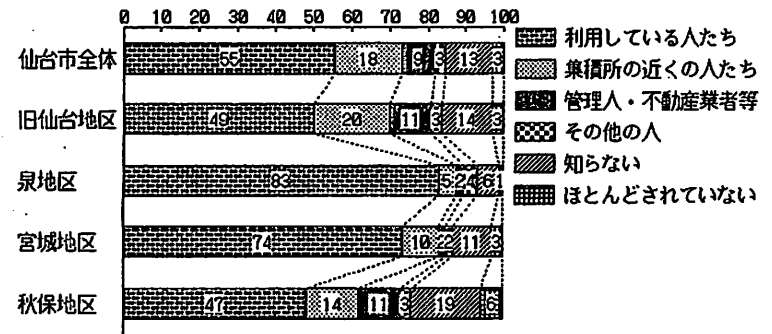


図2.4.6. ごみ集積所を掃除している人 (%)

ところで、この問に対する答えは、地区による差が著しい。まず、旧仙台地区と秋保地区では、「管理人・不動産業者・清掃業者等」による比率がともに11%と高く、泉地区と宮城地区ではその比率が小さい。また、「そこを利用している人達」による比率は泉地区及び宮城地区では約7~8割と高いが、旧仙台地区及び秋保地区では5割弱低い。逆に、「集積所の近くの人だけ」の比率は、泉地区では低く(5%)、宮城地区ではやや低い(10%)、秋保地区(14%)や旧仙台地区(20%)では高い。この2つの清掃方法はともに、集積所の利用者による清掃だが、前者が組織化された協同作業であるのに対して、後者では多くの利用者が「集積所の近くの人だけ」に仕事を押し付けていることになる。したがって、この2つの内の前者「利用者による清掃」の構成比率の高い泉地区や宮城地区は、旧仙台地区や秋保地区に比べて「地域住民の協同が進んでいる」と考えられる。新興団地は人々のつながりが希薄であるとのステレオタイプが存在するが、ごみ集積所

の清掃を通しての限り、むしろ新興団地の多い地区ほど地域の協同が進んでいることが分かる。

この原因の一つは、単身世帯の影響である。後述の「自由記述」の結果にも見られるように、「ごみ集積所の管理について学生やアパートの住民などが決まりを守らない」という不満が多数見られた。このような世帯は、旧仙台地区には多く泉地区には少ない（単身世帯の比率は、旧仙台地区34%、泉地区12%、宮城地区14%、秋保地区25%）。このことが上記の差を生み出していると考えられる。また、秋保地区も単身世帯の比率が多いことが、主要原因の一つであろう。

地区ごとの比較を、別の側面から見てみると、ごみ集積所の清掃を誰がしているのか「知らない」という回答は、秋保地区で約2割と最も多く、以下、旧仙台地区、宮城地区が各々1割強と続き、泉地区がもっとも少ない。また、「ほとんど清掃されていない」という回答の比率も秋保地区、宮城地区、旧仙台地区と続き、泉地区がもっとも少ない。

このようなごみ集積所の清掃状況によって、問14で見た「ごみ集積所の清潔度」の違いが出てくることは容易に想像できる。この点については、後述の考察(3)で検討した。

近所の家がごみを出す時間(問17)

仙台市では、ごみを集積所に出す時間を、「収集当日の朝」と定めている。しかし、実際には、前日から出す人などが後を立たず、それによって美観が損なわれるだけでなく、動物などによる喰い荒しの原因にもなっている。したがって、ごみを出す時間というのは、集積所の管理にとって重要な要件である。これはまた、前問と共に、地域住民の協同性の指標でもある。今回の調査では、「ごみを出す時間」について、近所の行動に対する認知と回答世帯の行動を尋ねている。

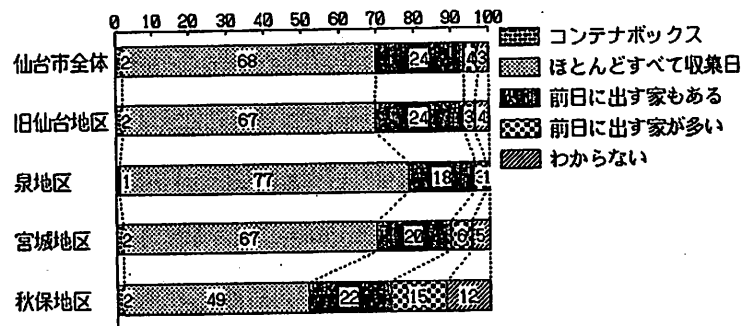


図2.4.7. 近所の家がごみを出す時間 (％)

まず、仙台市全体では、約7割の世帯の人が、近所の「ほとんど全ての家が収集日に出している」と答えている。一方、「前日に集積所に出している家もある」との答えが24%、「前日に集積所に出している家の方が多い」という答えが4%あった。地区別にみると、ここでもまた、「ほとんどすべての家が収集日」に出すとの回答が、泉地区では8割弱と多いが、秋保地区では約5割と少なかった。

自分の家でごみを出す時間(問18)

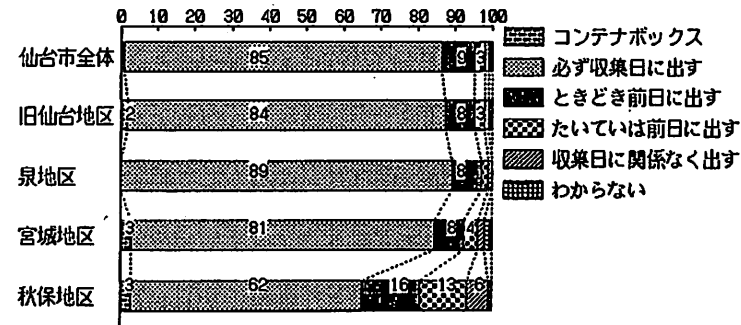


図2.4.8. 自分の家でごみを出す時間 (％)

調査対象となった世帯自体が、どのような時間にごみを集積所に運んでいるのか尋ねたものが図2.4.8.である。仙台市全体では、85%の世帯が「必ず収集日」に出すと答えている。しかし、「ときどき前日」という回答が9%、「たいていは前日」という答えが3%あり、「収集日に関係なく」捨てる人も1%強は存在する。

なお、いつでも捨てられる大きな容器として「コンテナボックス」があり、仙台市はその設置を奨励しているが、普及率は低いようである。(注：上記の「収集日に関係なく」捨てる人は、コンテナボックスに捨てる人は含んでいない。)

地区別にみると、コンテナボックスは、宮城地区が最も普及しており、3%であった。「必ず収集日」に出すと答えた世帯は、泉地区、旧仙台地区及び宮城地区の順でいずれも8割をこえている。秋保地区では約6割と低い。秋保地区では逆に、「たいていは前日」や「収集日に関係なく」という答が比較的多かった。

これまでの分析の中から、ごみ集積所の管理が、秋保地区では他と比べてうまく管理されていないことが分かった。すなわち、他地区では決められた収集日当日にごみを出し、集積所を利用している人達が協同で掃除しており、その結果、動物による被害は少なくないものの、ごみ集積所はきれいに保たれている傾向が

あった。これに対して秋保地区では、利用者自身が協同で掃除をする比率が小さく、誰が掃除をしているかを知らない人も多かった。また、前日からごみを出す人の比率が、自己申告によっても、他者の認知によっても多く、その結果、ごみ集積所は汚れている傾向にあった。

近所付き合いの程度(問19)

協同性の基礎ともいうべき(同じ「ごみ集積所」利用者との)近所づきあいについて調べてみたものが図2.4.9.である。仙台市全体では、「親しく話をする人が多い」、「親しく話をする人も少しはいる」「親しく話してはいない」が各々約3割であった。さらに、「あいさつはしない」という回答も7%ほどあった。

地区別にみると、最も親密な関係「親しく話をする人が多い」の比率は、秋保地区が65%と最も多く、宮城地区(42%)、旧仙台地区(29%)、泉地区(24%)となっている。しかし、逆にもっとも疎遠な「あいさつはしない」の比率を見ると、多い順に、旧仙台地区(8%)、秋保地区(4%)、宮城地区(2%)、泉地区(2%)となっている。

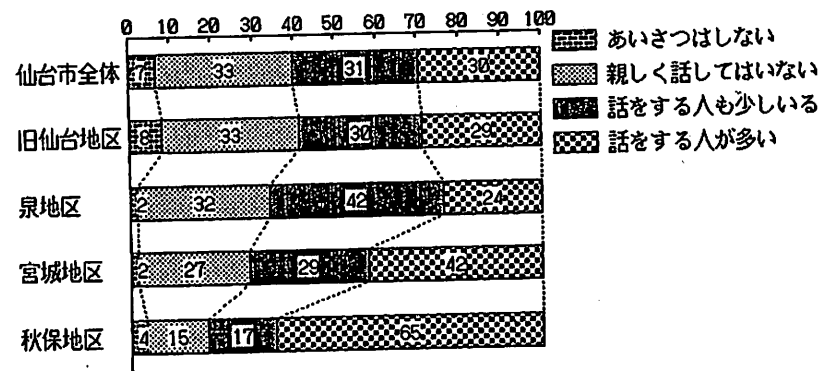


図2.4.9. 近所付き合いの程度 (%)

まとめ

以上の各項目の結果についてまとめると次のようになる。

まず、各世帯で「ごみを集積所に主に運んでいる人」は、仙台市全体で、約7割が19-64歳の女性であった。

「ごみ集積所が30m未満の距離にある」と答えた世帯が全体の約6割あり、約9割の世帯が集積所までの距離が今のままでよいと答えている。しかし、「もっと近くにあった方がよい」という回答も1割弱あった。

ごみ集積所の状態を「きれいになっている」と評価した人は全体の7割であった。また、4割の人が、猫やカラスによって集積所が荒れていると答えている。

集積所を掃除している人についての回答は地区による差が著しく、「そこを利用している人たちが交替で掃除している」と答えた人が、泉地区や宮城地区では3/4以上いるが、旧仙台地区や秋保地区では1/2以下であった。

集積所にごみを出す時間については、自分の家では「必ず収集日に出している」と答えている人は全体の85%にものぼり、また、近所で収集日の前日に出していることを報告した人は3割近くいた。

近所付き合いの程度は地区により異なり、もっとも疎遠な「あいさつはしない」は旧仙台地区で多く、またもっとも親密な「親しく話をする人が多い」は秋保地区で多かった。

次に、以上に述べた各問ごとの結果の分析を踏まえて、重要ないくつかの問題について行った総合的な考察について述べる。

考察(1) ごみ集積所までの距離感の形成

表2.4.1. ごみ集積所までの道のりによる距離感の変化 (%)

ごみ集積所までの距離感	ごみ集積所までの道のり				
	10m未満	10-29m	30-49m	50-99m	100m以上
もっと近くに	1.5	4.0	12.9	16.6	41.0
今のままでよい	92.7	95.8	86.7	83.4	57.7
もっと遠くに	5.8	0.2	0.5	0.0	1.3
合計(%の基数)	(399)	(402)	(210)	(217)	(78)

図2.4.3.で先に記したように、集積所までの距離感には地区別の相違がみられた。では、この距離感は、何によって形成されるのか。まず第1に考えられるのは、集積所までの実際の道のりに影響されたものではないか、ということである。表2.4.1. から分かるように、「近い方がよい」と答えた人の比率は、距離が遠くなるにしたがって、2%(10m未満)、4%(10-29m)、13%(30-49m)、17%(50-99m)、41%(100m以上)と増える。これをみると、30m未満ではほとんど不満がないが、それを越すと1割強の人が不満を抱くようになり、100mを越すと4割強の人が不満を持つようになっている。

表2.4.2. ごみ集積所の清潔度による距離感の変化 (%)

ごみ集積所までの 距離感	ごみ集積所の清潔度		
	きれい	やや汚い	汚い
もっと近くに	9.2	7.9	8.3
今のままでよい	90.0	88.3	81.9
もっと遠くに	0.8	3.8	9.7
合計(％の基数)	(920)	(315)	(72)

これに対して、「もっと遠い方がよい」と答える人の比率は、10m以上の世帯ではほとんど見られなかったが、10m未満の世帯では6%の人がそれを希望している。ごみ集積所が必ずしもきれいでないためと思われる。

ごみ集積所の状態と「距離感」との関係を見ると、「もっと近くにあって方がよい」と答えた世帯の比率はごみ集積所の状態によってほとんど変わらないが、「もっと遠くにあって方がよい」と答える世帯の比率は、ごみ集積所の状態が「きれい」「やや汚い」「汚い」と変わるにつれて、1%、4%、10%と急に増加することが見いだされた。

ところで、このような実際の道のりと距離感との関係は、ごみを運ぶ人の状態(体力など)によっても影響を受けると予想されるが、調査結果からは、19-64歳の人と64歳以上の人の間には差異が認められなかった。また、子供がごみを運んでいる場合には「もっと近く」を希望する傾向が見られたが、子供が運んでいる世帯の数が少ないので、断定はできない。また、性別による差異も認められなかった。

考察(2) 自分の家でごみを出す時間

まず「近所のごみを出す時間(問17)」との関係を見てみると、この2つの質問の間に、かなり関係があることが分かる。すなわち、近所の人ほとんど「収集日」に出していると答えた人は、ほとんどが「自分も収集日に出した」と答えているのに対して、近所の人「前日に出すことが多い」と答えている人の間では、「収集日に出す人」は37%と少なく、半数以上の人「ときどき」または「たいてい」前日に出しており、収集日を考えずにいつでも出す人も1割弱あった。しかし、それ以上に問題なのは、近所の人行動が「分からない」といっている人であろう。これらの人のごみ捨ては、他人まかせであったり、決められた時間以外に捨てる人が多い。

表2.4.3. ごみを集積所に出す時間(近所の家と自分の家) (%)

自分の家の ごみ捨て時間	近所の家のごみ捨て時間				
	収集日	前日有り	前日多し	分らない	コンテナ
収集日	96.5	70.9	37.0	20.0	12.5
ときどき前日	2.2	22.3	34.8	17.5	12.5
たいてい前日	0.5	5.5	19.6	15.0	0.0
いつでも	0.3	1.0	6.5	15.0	16.7
分らない	0.3	0.0	0.0	30.0	4.2
コンテナ	0.1	0.3	2.2	2.5	54.2
合計(％の基数)	(892)	(309)	(46)	(40)	(24)

この関係の解釈には注意が必要である。表2.4.3.は「近所の人のごみ捨て時間が自分の家のごみ捨て時間に影響を及ぼす」という解釈に基づいて作られている。これは、調査を行なう者がそのような因果関係の存在を推測しているからにはかならない。しかし、この「近所の人のごみ捨て時間」及び「自分の家のごみ捨て時間」という2つの変数の間には、逆方向の因果関係も存在する。たとえば、規則に違反して前日からごみを出している人は、その行為を正当化するために近所の人にも違反していると認知し、そのように回答するかもしれない。あるいは、たとえば集積所利用世帯の間に規範が存在し、それが両変数に影響を与えているのかもしれない。それを確定するためには、さらに分析を進める必要がある。

しかし種々の制約から、ここで因果関係を確定するのは困難である。ただ、可能な限りで、若干の考察を進めた。

先に示唆した規範の存在と関わりのあるのは「近所付き合いの程度(問19)」であろう。いま、その程度別に「収集日にごみを出す」世帯の比率を記すと、表2.4.4.のようになる。このように、全体としてみると、近所付き合いが濃くなるほど規則通りに収集日に出す人の比率が高いことが分かる。

表2.4.4. ごみを収集日に集積所に出す世帯の比率(近所付き合いの程度別)

自分の家の ごみ捨て時間	近所付き合いの程度 (%)			
	挨拶なし	挨拶だけ	話す人ある	話す人多い
収集日に出す	38.4	80.8	90.8	93.4
合計(％の基数)	(86)	(428)	(402)	(379)

また、「ごみ集積所を掃除している人(問16)」も、地域のつながりを考える際に重要である。「利用者が掃除している」ことは、「集積所の近くの人だけ」が掃除していたり、「知らない」場合などに比べて、ごみ捨て時間の規則を守ることにつながると考えられる。そこで、この項目について調べると、表2.4.5.に示したように予想どおりの関連が見られた。

表2.4.5. ごみを収集日に集積所に出す世帯の比率
(ごみ集積所を掃除している人別) (%)

自分の家の ごみ捨て時間	ごみ集積所を掃除している人			
	利用者	近くの人	管理人など	知らない
収集日に出す 合計(%の基数)	93.6 (718)	88.6 (229)	46.7 (120)	32.0 (163)

ごみ捨て行動は、また、上記のような社会関係や規範だけではなく、社会的態度(価値観)にも影響されると考えられるので、実際に検討してみると、

公平感、環境重視か経済重視か(注:90%が環境重視なので、識別力が小さくなっていると思われる)

については、顕著な関係が認められなかったが、次の()内に示した態度が、ごみを規則どおり収集日に出す方向に向かわせるようである。

定住志向(ずっと仙台に住んでいたい)、環境にたいする関心(関心高い)、社会満足度(満足している)、公共性(利用者が我慢することによって、新生活満足度(満足している) 幹線の騒音を減らす)

生活環境研究会では、このような傾向のうち、あるものは容易に理解できるが、いくつかの課題も残るとして、次の2点を挙げている。

第1に、なぜ(社会満足感にせよ生活満足感にせよ)満足な人ほど規則を守るのか。さらに、公平感は影響しないという事実は、生活満足感→社会満足感→公平感という因果関係(注1)とどのように関係するのか。

第2に、公共性との間の関係について言及しよう。仙台圏の高校生を対象とした調査によれば(注2)、行楽地でごみを捨てずに持ち帰る行動は、新幹線沿線の(騒音や振動の)被害を少なくするためには利用者の方が余分な時間のかかることを我慢すべきだ、という意見と結び付いていた。この結果は上に記した今回の調査結果を補強するものである。

しかし、さらに詳しくみると、「住民が我慢すべき」と強く考える比較的少数の人においては、収集日にごみを出す比率が高い。このことは、規則を守る人の中に2つのタイプがあることを示唆している。

一つは「お上」は正しいとする伝統的態度である。このような人は、一方では市が決めた規則に「市の規則」であるがゆえに従い、他方で新幹線は「公共的」なものであるがゆえに、その「公共性」を大事にしようとするのである。

第2のタイプは、自覚的に規則を守る人々である。彼(女)らは、ごみ捨て行動の意味を自分なりに考えて理解した上で、ある行動をとっていると思われる。それゆえに、新幹線問題とごみ捨て行動において「公」に対して「矛盾」した行動をとっているにもかかわらず、彼(女)らにとってはそれは矛盾してはいないのである。このような類型化は、廃棄物処理について住民を啓蒙する際に、重要な情報となる。この推察を裏付け、精緻化することが必要と考えられる。

注1. 海野道郎・斎藤友里子「公平感と満足感 -社会評価の構造と社会的地位-」原 純輔(編)『階層意識の動態』(東京大学出版会、1990年)

注2. 海野道郎・鈴木淳也「社会的ジレンマをめぐる意識と行動」『教育と社会に対する高校生の意識 -第1次調査報告書-』(東北大学文学部教育文化研究会、1988年)

考察(3) ごみ集積所の清潔度

表2.4.6. 動物による被害の認知とごみ集積所の状態 (%)

ごみ集積所の 清潔度	動物による被害	
	ある	ない
きれい	63.7	82.8
やや汚い	28.6	15.7
汚い	7.7	1.5
合計(%の基数)	(849)	(460)

ごみ集積所は、人々が排出ルールを守り規則どおり収集日当日にごみを出すか、きちんと清掃するとか、あるいは動物による被害を防止できれば清潔に保たれるはずである。

仙台市全体でみた場合、約7割の人がごみ集積所は「きれいになっている」と答えている一方で、「動物による被害はない」との答えが3割しかなかったことである。この2つの関係を見ると、表2.4.6.のとおりで、「動物による被害はあ

る」と答えている人の中でさえ、「集積所はきれいだ」と答えている人が6割以上いる。この一見した矛盾は、個々のごみ集積所の管理を考慮すると説明できると考えられる。

そこで、ごみ集積所の管理についての項目を一つ一つ検討してみたものが、表2.4.7.である。

管理者が清掃しているところでは当然のことながら「きれいだ」と述べた比率が8割と高く、「利用者」が清掃している場合もきれいな比率が8割弱であり、集積所の「近くの人」が清掃している場合が6割強と続き、「誰が清掃しているか知らない」世帯の最寄り集積所の中で清潔なのは5割強であった。このことから、清掃体制が集積所の清潔度に影響していることが分かる。

表2.4.7. ごみ集積所がきれいになっていると述べた世帯の比率
(ごみ集積所を清掃している人別) (%)

ゴミ集積所の 清潔度	ごみ集積所を清掃している人			
	利用者	近くの人	管理人など	知らない
きれい	76.9	64.2	80.0	54.9
合計(%の基数)	(718)	(229)	(120)	(162)

次に、近所の家のごみ捨て時間(に対する認知)と集積所の清潔度の関係を示したものが表2.4.8.である。表から明らかなように、近所の家が規則どおり収集日にごみを出している場合にはごみ集積所はきれいになっている傾向が見られる。

表2.4.8. ごみ集積所の清潔度(近所の家のごみ捨て時間別) (%)

ゴミ集積所の 清潔度	近所の家のごみ捨て時間				
	収集日	前日有り	前日多し	分らない	コンテナ
きれい	78.3	51.1	58.7	53.9	75.0
合計(%の基数)	(892)	(309)	(46)	(40)	(24)

以上の検討から、ごみ集積所を利用者が協同で掃除したり、近所の人(そして前述のように多くの場合自分の家でも)収集日当日にごみを出すことによって、収集所はきれいに保たれる傾向のあることが分かった。

さらに「ごみ集積所の清潔度」と「近所関係の程度」との関係を地区別にみると、表2.4.9.のようになる。

この表から、先にみた地区別の清潔度に対して、若干の示唆が得られる。すなわち、近所付き合いは清潔度に対して必ずしもプラスの影響をもたらすものとはいえない。第1に、データ数が少ないために判断できない「挨拶なし」を除いて考えると、地区に関わらず同じ傾向が見られるわけではない。むしろ、地区ごとの変動の方が大きい。また、先に観察した泉地区の清潔さは、「親しく話をする人も少しはいる」という中程度の付き合いをしている人たちの中に、ごみ集積所が「きれいだ」と答えた人が多かった。

表2.4.9. ごみ集積所がきれいだと答えた世帯の比率
(近所付き合いの程度・地区別) % (基数)

地 区	近所付き合いの程度			
	挨拶なし	挨拶だけ	話す人ある	話す人多い
旧仙台地区 (%の基数)	63.5 (85)	68.5 (349)	64.0 (322)	79.0 (304)
泉地区 (%の基数)	37.5 (8)	70.6 (153)	79.5 (200)	76.1 (113)
宮城地区 (%の基数)	16.7 (6)	60.9 (69)	61.3 (75)	63.6 (107)
秋保地区 (%の基数)	28.6 (7)	55.2 (29)	57.6 (33)	51.6 (124)

一方、付き合いの比率が大きい秋保地区や宮城地区のごみ集積所は、必ずしもきれいになっていない。

以上の知見から、親密な近隣関係、とくに伝統的な関係は、必ずしもごみ集積所を美しく管理するには寄与しないようである。検討したように、ごみ集積所が相対的に良く管理されていた泉地区の近所付き合いは、「中程度」に集中していた。また、近年の研究成果によれば、泉地区の新興団地のような環境における人間関係(ネットワーク)は、必ずしも物理的な距離には制約されず、考え方や趣味等によって結びついているといわれている。

ごみ集積所をきれいに管理するという集合的行動は、現在では、伝統的共同体における相互監視によってではなく、「自覚した個人による自己制御行動」によるものが大きいと考えられる。

考察(4) 小学校区別にみた猫とカラスの被害

問15で尋ねた動物による被害のうち、「猫」と「カラス」による被害をそれぞれ小学校区別に集計したものが表2.4.10.及び表2.4.11.である。

各校区の被害率は、基数が小さいため、安定性のある数字とは言えないが、大まかな傾向をつかむことは可能である。「被害あり」が60%以上を次にあげると、

猫の被害—北仙台・川平・桜丘・荒巻(旧仙台地区)
 鶴ヶ丘・虹が丘・黒松・將監(泉地区)、吉成(宮城地区)
 カラスの被害—八木山南・向山・上野山・高砂・荒巻(旧仙台地区)
 虹が丘・將監・鶴ヶ丘・黒松・松森(泉地区)、
 大倉(宮城地区)

などで多い。

逆に、「猫」の被害が少ないのは、向陽台・松森・加茂(泉地区)や、西多賀・若林・大和・東長町(旧仙台地区)、大倉・作並(宮城地区)などで、「カラス」の被害が少ないのは、南材木町・大和・幸町南・東宮城野・榴岡・四郎丸・荒町・上杉山通・遠見塚(旧仙台地区)や、向陽台(泉地区)などである。

「猫」による被害は、旧仙台地区北部の住宅地や宮城地区の新興団地では多く、旧仙台地区南部や宮城地区では少ないようである。また泉地区の住宅地では多い所と少ない所がある。

「カラス」による被害は、八木山周辺の地域や泉地区、宮城地区に多く、旧仙台地区の東部から南部にかけての地域では少ないようである。

「猫」と「カラス」両方の被害が多いのは、虹が丘、鶴ヶ丘、將監、黒松など泉地区に集中している。逆に両方とも被害が少ないのは、向陽台、大和、若林、南小泉、東長町、長町などとなり、旧仙台地区の南部では「猫」の被害も「カラス」の被害もあまり多くないようである。また、八木山南、上野山、松森、大倉、西多賀などでは、「猫」の被害は少ないが「カラス」の被害は多い。その逆の所はあまりない。

全体的な傾向をみると、「猫」による被害は、「被害あり」という回答が2～4割の小学校区が多く、特に多い所(60%以上)や特に少ない所(20%以下)があまりないことから、どの校区でも多少は猫による被害のあることがうかがわれる。

これに対して「カラス」による被害は、「被害あり」という回答のばらつきが大きく、小学校区によって差があるようだが、全体としては被害率5割以上の小学校区が多くなっており、カラスによる被害がある地域の多いことがうかがわれる。しかし、2割以下の小学校区も少なくないことから、ほとんどカラスの被害のない地域もあることが分かる。

表2.4.10. 小学校区別にみた猫の被害(被害の多い順) (%)

校区 (地区)	被害あり(%の基数)	校区 (地区)	被害あり(%の基数)
北仙台(旧仙台)	72 (36)	七北田(泉)	38 (37)
吉成(宮城)	68 (53)	幸町南(旧仙台)	38 (32)
鶴ヶ丘(泉)	68 (37)	八幡(旧仙台)	37 (38)
川平(旧仙台)	66 (38)	泉ヶ丘(泉)	37 (38)
虹が丘(泉)	62 (39)	立町(旧仙台)	35 (34)
黒松(泉)	59 (39)	金剛沢(旧仙台)	35 (37)
桜丘(旧仙台)	58 (38)	上愛子(宮城)	35 (23)
將監(泉)	58 (38)	南材木町(旧仙台)	35 (29)
南光台(泉)	55 (38)	新川分校(宮城)	33 (3)
荒巻(旧仙台)	55 (40)	榴岡(旧仙台)	32 (34)
通町(旧仙台)	50 (38)	上野山(旧仙台)	31 (35)
八乙女(泉)	50 (40)	四郎丸(旧仙台)	30 (33)
湯元(秋保)	48 (105)	根白石(泉)	29 (17)
台原(旧仙台)	47 (38)	長町(旧仙台)	29 (31)
広瀬(宮城)	46 (105)	八木山南(旧仙台)	29 (38)
高砂(旧仙台)	46 (33)	川前(宮城)	29 (14)
大沢(宮城)	46 (44)	南小泉(旧仙台)	28 (32)
南光台東(泉)	44 (36)	馬場(秋保)	28 (36)
鶴谷(旧仙台)	44 (39)	東長町(旧仙台)	27 (37)
遠見塚(旧仙台)	43 (37)	大和(旧仙台)	27 (26)
六郷(旧仙台)	43 (40)	加茂(泉)	26 (39)
秋保(秋保)	42 (74)	若林(旧仙台)	24 (34)
上杉山通(旧仙台)	41 (29)	作並(宮城)	21 (14)
向山(旧仙台)	41 (27)	松森(泉)	21 (39)
荒町(旧仙台)	39 (33)	大倉(宮城)	20 (5)
東四郎丸(旧仙台)	39 (33)	西多賀(旧仙台)	18 (39)
国見(旧仙台)	39 (36)	向陽台(泉)	3 (40)
東宮城野(旧仙台)	38 (37)		

表2.4.11. 小学校区別にみたカラスの被害（被害の多い順）（％）

校区（地区）被害あり（％の基数）	校区（地区）被害あり（％の基数）
八木山南（旧仙台） 79（38）	泉ヶ丘（泉） 45（38）
虹が丘（泉） 74（39）	立町（旧仙台） 44（34）
向山（旧仙台） 74（27）	上愛子（宮城） 44（23）
上野山（旧仙台） 71（35）	湯元（秋保） 42（105）
将監（泉） 71（38）	秋保（秋保） 39（74）
鶴ヶ丘（泉） 68（37）	南光台東（泉） 39（36）
黒松（泉） 67（39）	国見（旧仙台） 39（36）
松森（泉） 67（39）	七北田（泉） 38（37）
高砂（旧仙台） 61（33）	通町（旧仙台） 37（38）
荒巻（旧仙台） 60（40）	根白石（泉） 35（17）
大倉（宮城） 60（5）	新川分校（宮城） 33（3）
西多賀（旧仙台） 59（39）	南光台（泉） 32（38）
吉成（宮城） 59（53）	六郷（旧仙台） 30（40）
台原（旧仙台） 58（38）	東長町（旧仙台） 24（37）
大沢（宮城） 57（44）	若林（旧仙台） 24（34）
北仙台（旧仙台） 56（36）	長町（旧仙台） 23（31）
八幡（旧仙台） 55（38）	南小泉（旧仙台） 19（32）
桜丘（旧仙台） 55（38）	上杉山通（旧仙台） 17（29）
八乙女（泉） 55（40）	遠見塚（旧仙台） 16（37）
金剛沢（旧仙台） 54（37）	荒町（旧仙台） 12（33）
加茂（泉） 51（39）	四郎丸（旧仙台） 12（33）
作並（宮城） 50（14）	向陽台（泉） 10（40）
川前（宮城） 50（14）	榴岡（旧仙台） 9（34）
馬場（秋保） 50（36）	東宮城野（旧仙台） 8（37）
広瀬（宮城） 50（105）	幸町南（旧仙台） 6（32）
東四郎丸（旧仙台） 49（33）	大和（旧仙台） 4（26）
川平（旧仙台） 47（38）	南材木町（旧仙台） 4（29）
鶴谷（旧仙台） 46（39）	

2. 5. 集団資源回収

仙台市では、地域の集団資源回収を推進し、ごみの減量および資源化を図っている。ここで言う集団資源回収は、ちり紙交換などの業者による廃品回収を除く、町内会や子供会など地域の団体が主体となって行う廃品回収のことである。

集団資源回収実施の有無（問24）

各々の地域で集団資源回収が行われているかどうかについて尋ねたものが図2.5.1.である。仙台市全体では「行われている」という回答が8割に及んでいる。これに対して「行われていない」という回答は5%と少なく、「わからない」と答えた人も14%あった。

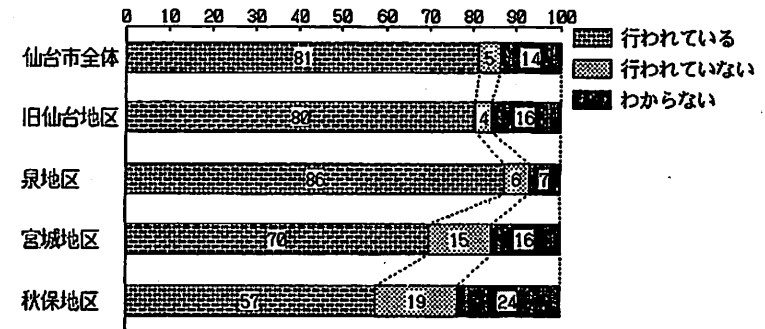


図2.5.1. 集団資源回収の実施の有無（％）

地区別にみると、泉地区と旧仙台地区では「行われている」という回答が8～9割弱と多く、これに対して、宮城地区と秋保地区では「行われている」という回答は6割弱～7割であった。特に秋保地区では集団資源回収があまり活発でないようである。また、旧仙台、宮城、秋保の3地区では「わからない」が約2割あった。

集団資源回収の回数の実態（問25）

集団資源回収が行われている地域では年に何回くらい行われているのか尋ねたものが図2.5.2.である。仙台市全体でみると、年に6回という回答が3割弱と最も多く、次いで4回が2割、12回以上及び2回が各々1割強となっている。4～6回を合計すると6割弱となり、2カ月から3カ月に1回くらいの割合で行われるのが一般的なようである。ただし、1～3回の合計も2割強であった。

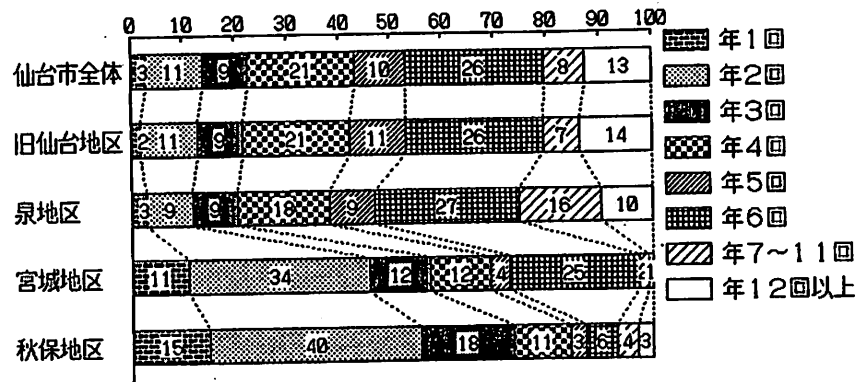


図2.5.2. 集団資源回収の回数の実態 (%)

地区別では、旧仙台地区と泉地区は年に4～6回という回答が5～6割と多いのに対して、宮城地区と秋保地区は1～3回という回答が6～7割と多い。旧仙台地区と泉地区では2カ月から3カ月に1回くらいの割合で集団資源回収が行われているが、宮城地区と秋保地区では集団資源回収が行われたとしても、回数が他の地区よりも少ないことが分かる。

また、宮城地区は年1～3回という回答とともに、6回以上という回答が約3割あった。これを小学校区ごとに分けて集計してみたところ、6回以上という回答の94%が吉成小学校区と大沢小学校区で占められていた。この2小学校区はどちらも新興団地を含んだ地域である。宮城地区は、地域によって集団資源回収が比較的頻繁に行われている所、とあまり行われていない所の両方が並存していることが分かる。

集団資源回収の回数の評価 (問26)

集団資源回収の実施回数に対しての住民の評価を尋ねたものが図2.5.3.である。仙台市全体では、「ちょうどよい」と感じている人が約8割と最も多く、次いで「もっと多い方がよい」という人が15%であった。多くの人は現在の集団資源回収の実施回数に満足しているようだが、より多くの回数実施することを望んでいる人もある程度いるようである。

地区別にみると、旧仙台・泉の2地区に比べて、宮城地区と秋保地区では「もっと多い方がよい」と感じている人の割合が高く、特に秋保地区では、3割弱の人が現在よりも多く集団資源回収を実施することを望んでいる。

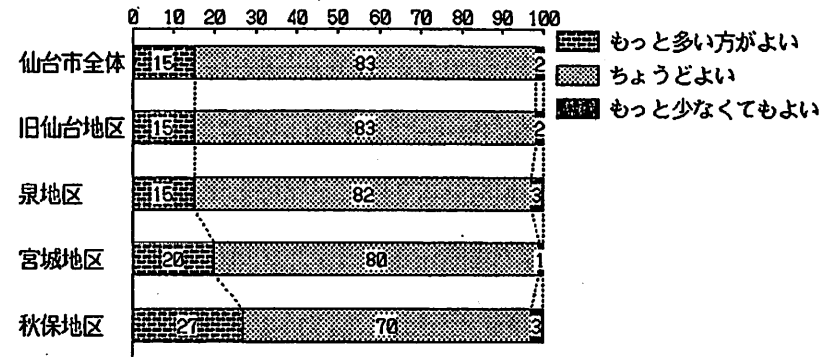


図2.5.3. 集団資源回収の回数の評価 (%)

集団資源回収への協力の実態 (問27)

集団資源回収が行われている地域での住民の協力の実態を示したものが図2.5.4.である。仙台市全体では、積極的に協力している(「前もって廃品を集めておく」)人が5割で、消極的ではあるが協力している人(「その時に廃品があれば出している」)が5割弱である。集団資源回収が行われている場合、大多数の人が協力していることが分かる。

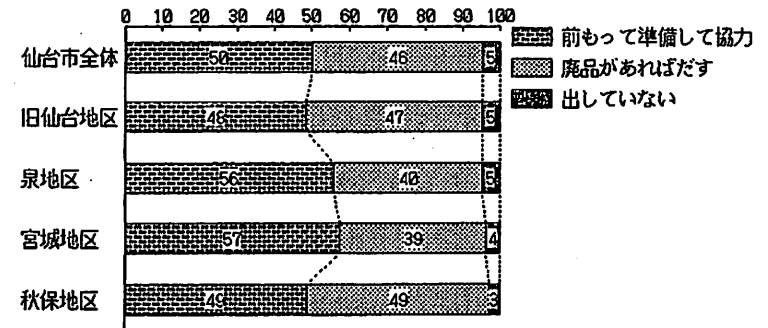


図2.5.4. 集団資源回収への協力の実態 (%)

集団資源回収への協力の意志 (問28)

実際に集団資源回収が行われているかどうかは別にして、これから集団資源回収が行われたら協力するつもりかどうかを尋ねたものが図2.5.5.である。

仙台市全体でみると、「前もって廃品を集めておく」+「その時に廃品があれば出してよい」と答えた人が98%にも及び協力的であることが分かった。

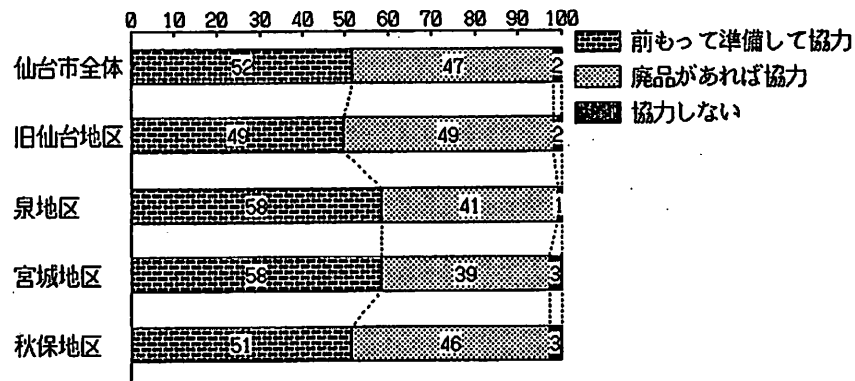


図2.5.5. 集団資源回収への協力の意志 (%)

また、地区ごとにみると、泉地区と宮城地区では、「前もって廃品を集めておく」と答えた人の割合がともに6割弱と他の2地区よりも高かった。また、「出すつもりはない」と答えた人はいずれの地区でも1~3%と少なく、現在集団資源回収が行われていない地域の人も含めて、ほとんどの人が集団資源回収に協力する意志を示していることがわかる。

まとめ

以上をまとめてみると、集団資源回収は8割以上の地域で行われており、その回数は年に4~6回のところが一般的である。しかし、実施回数は地区によって多少差があり、宮城地区や秋保地区ではまったく行われていないところや、行われても年に1~3回のところが多い。また、現在の実施回数について、8割くらいの人たちが「ちょうどよい」と感じているものの、「もっと多い方がよい」と感じている人も少なくない。さらに、現在集団資源回収が行われている地域では、大多数の人が協力しており、また、それ以外の地域の人も含め、集団資源回収に対して協力の意志を示している人がほとんどである。

考察(1) どれくらいの回数が適当か

集団資源回収の回数は、年に何回くらいが適当と考えられているのかについて知るため、問25の回答と問26の回答についてクロス集計をした結果が表2.5.1.である。それぞれの実施回数について、その回数より「もっと多い方がよい」と答えた人の割合に注目してみた。

表2.5.1. 集団資源回収の実施回数による満足感の変化(仙台市全体) (%)

集団資源回収の 回数の評価	集団資源回収の回数 (回/年)						
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回以上
もっと多い方がよい	56.0	30.4	14.8	15.9	13.3	11.6	6.9
ちょうどよい	40.0	68.8	85.2	82.6	84.7	86.9	88.7
もっと少なくてもよい	4.0	0.9	0.0	1.5	2.0	1.6	4.4
合計(%の基数)	(25)	(112)	(88)	(201)	(98)	(251)	(203)

仙台市全体では、集団資源回収が年に1回だと6割弱の人が「もっと多い方がよい」と答え、2回だと3割の人が「もっと多い方がよい」と答えたのに対し、3回になると15%に減り、4回以上では、割合がなだらかに低くなっている。つまり、半年に1回では少ないが、4カ月に1回くらい行われている地域では、さほど少ないとは思われていないようである。

考察(2) 集団資源回収に協力するかどうか

集団資源回収が行われている地域では、ほとんどの人が集団資源回収に協力していることが分かった(問27)が、「前もって廃品を集めておく」という積極的な人と、「その時に廃品があれば」という消極的な人がいた。この違いはどんな原因によるものなのか考察した。

様々な要因が考えられるが、問19(同じごみ集積所を利用している人たちとの付き合いの程度を尋ねている質問)と問27とのクロス集計をしてみたところ、表2.5.2.のとおりであり、近所付き合いの程度と関連があることが分かった。

表2.5.2. 近所付き合いの程度と集団資源回収への協力（仙台市全体）（％）

集団資源回収への協力の実態	近所付き合いの程度			
	挨拶なし	挨拶だけ	話す人ある	話す人多い
前もって準備	19.4	39.4	53.3	59.5
あればだしている	54.8	54.0	43.2	38.7
出していない	25.8	6.7	3.5	1.8
合計（％の基数）	(31)	(315)	(347)	(341)

表2.5.2.をみると、同じ集積所を利用している人たちとの付き合いが親密であるほど、集団資源回収に積極的に協力している人の割合が高くなっている。問19の回答は地域の人たちとの交流の程度の指標と考えられるが、地域で行われる集団資源回収に協力することも、地域の人たちとの交流のうちに含まれると推測される。集団資源回収への協力は、近所付き合いの1つとして行われている側面が大きいと言えよう。

一方、近所付き合いのためだけではなく、ごみの減量や資源化に役立つという点を考えて、集団資源回収に協力することも考えられる。そこで、「環境問題に対する関心について尋ねている質問」（問6）の回答と「集団資源回収に協力しているかどうかの実態」（問27）との関連を調べたものが表2.5.3.である。

表2.5.3. 集団資源回収に積極的に協力している人の比率
（環境問題に対する関心度別、仙台市全体）（％）

集団資源回収への協力の実態	環境問題に対する関心			
	非常にある	まあある	あまりない	全くない
積極的に協力している（男）	45.8	46.2	31.8	100.0
（％の基数）	(118)	(195)	(22)	(2)
積極的に協力している（女）	58.6	51.7	38.0	—
（％の基数）	(186)	(441)	(71)	(0)

結果は、記入者の性別によって異なる傾向が見られた。

表2.5.3.のように女性では環境問題に関心を持っている人ほど集団資源回収に積極的に協力している割合が高くなっている。これに対して、男性ではそのような傾向が見られず、また、環境問題への関心の程度にかかわらず、集団資源回収に積極的に協力している人の割合は女性よりも少なかった。

男性においては、環境問題に対する関心の程度が、集団資源回収への協力に必ずしも結び付いてはいないようである。

女性については、近所付き合いということだけではなく、環境問題に対する関心を動機として集団資源回収に対して積極的に協力している人もあると言えようである。

2. 6. し尿処理

ここでは、各世帯が「水洗化」されているかどうかを目し、水洗化されていない（すなわち、「くみ取り」及び「くみ取り式水洗＝簡易水洗」）家庭に、その現状と評価について尋ねている。

トイレのタイプ（問46）

トイレには大別して、「水洗（浄化槽及び下水道等）」、「くみ取り式水洗（簡易水洗）」及び「くみ取り」の3つの種類がある。各世帯のトイレのタイプを尋ねたところ、図2.6.1.のように、仙台市全体では水洗が8割弱で、くみ取りは2割、くみ取り式水洗（簡易水洗）は4%であった。

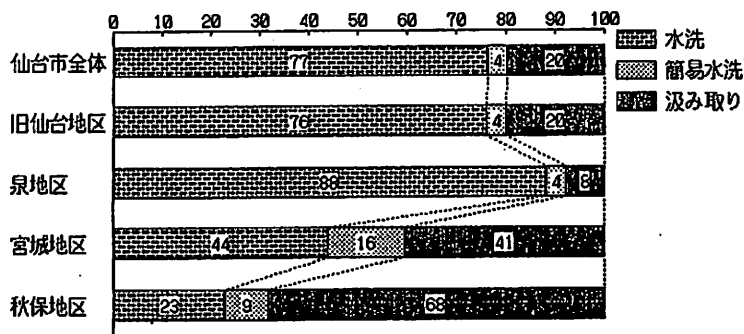


図2.6.1. トイレのタイプ (%)

「水洗」が普及しているのは、泉地区が9割弱と最も高く、旧仙台地区が8割弱である。これに対し、宮城地区は水洗とくみ取りが半々である。秋保地区では7割弱がくみ取りであり、水洗は2割強にとどまっている。

以下問47から問53までは、「くみ取り」または「くみ取り式水洗（簡易水洗）」と答えた世帯だけに回答してもらった。対象となる世帯の数は次のとおりである。

表2.6.1. くみ取り又はくみ取り式水洗（簡易水洗）と答えた世帯数

旧仙台地区	255
泉地区	55
宮城地区	145
秋保地区	156

くみ取り方法（問47）

し尿の収集は、旧仙台地区は委託業者が定日に月1回を原則（便槽の小さいものは月2回）として実施しており、その他の地区は許可業者が必要に応じて収集している。また、旧仙台地区は、くみ取り式水洗便所し尿は委託の対象とせず許可業者扱いにしている。

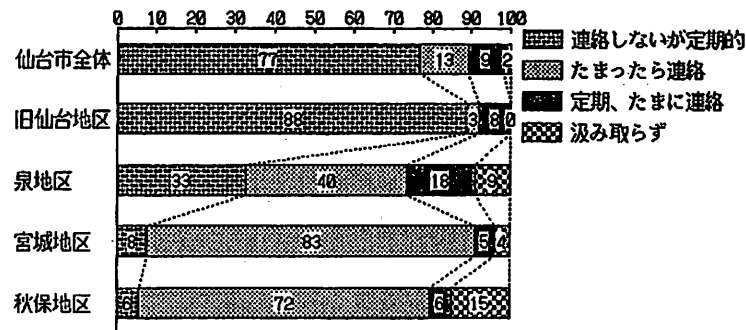


図2.6.2. くみ取り方法 (%)

各家庭のくみ取り方法を、「定期的」、「たまったら連絡する」、「定期的だがたまに連絡する」、「くみ取ってもらわない」に分けて尋ねたところ、図2.6.2.のように、旧仙台地区はほとんどの家庭（96%）が定期的にくみ取りをしてもらっていると答えている。業者に連絡することになっていると回答したのは、旧仙台地区で3%であるのに対し、泉地区は40%、秋保地区は72%、宮城地区では83%であった。

また「くみ取ってもらわない」という回答も、秋保地区で15%ある。これらの中には、自家あるいは近所でくみ取って農地の肥料として利用（自家処理）している家庭も含まれると考えられる。

くみ取り頻度の実態（問48）

各家庭におけるくみ取りの頻度について尋ねたものが図2.6.3.である。前述のように、くみ取りの方法は地区によって異なっているので、地区ごとに検討してみた。

旧仙台地区においては、現在のし尿収集の原則と同じ「1ヶ月に1回位」という回答が9割弱と大多数を占めている。

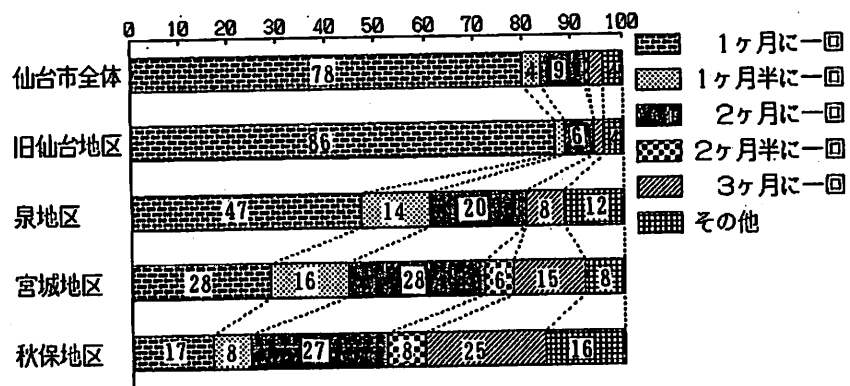


図2.6.3. くみ取り頻度の実態 (%)

しかし、必要に応じて収集している他の3地区では、「1ヶ月に1回」という回答が旧仙台地区に比べてそれほど多くなく、その分、「2ヶ月に1回」や「3ヶ月に1回」という回答が多くなっている。くみ取り回数は地区によるばらつきが大きく、旧仙台地区がもっとも多く、泉、宮城の順で、秋保地区が最も少ない。しかし、この違いは、多くの原因が複雑に作用して生じているものと思われる。

くみ取り頻度の評価 (問49)

問48でみたとおり、くみ取りの頻度には地区によるばらつきがみられたが、現在のくみ取りの頻度は適当だと考えられているかについて尋ねたものが図2.6.4.である。仙台市全体では約9割の世帯が「ちょうどよい」と答えている。一方「少ない」という世帯も1割あった。

地区別に注目すると、「少ない」と答えた世帯が比較的多いのは旧仙台地区である(12%)。秋保地区にもそのように答えた世帯がやや多い(8%)。泉と宮城は数パーセントにすぎない。

さて、必要に応じて業者にくみ取りを依頼している世帯では自家のくみ取り回数を適宜調節できるので、実際のくみ取り回数のお知らせにかかわらず回数に対する不満はないとも考えられる。そこで、定期的にくみ取りをしてもらっている世帯だけに限定すると、仙台全体の回答中「少ない」という答えは11%であった。

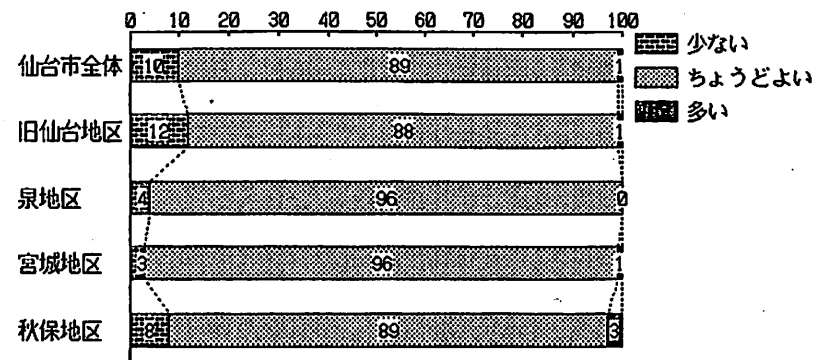


図2.6.4. くみ取り頻度の評価 (%)

くみ取り連絡への対応 (業者はすぐに来るか) (問50)

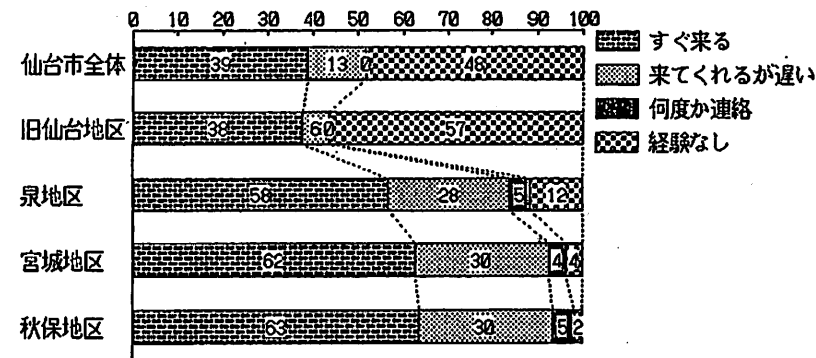


図2.6.5. くみ取り業者はすぐに来るか (%)

どの世帯でもくみ取りの依頼をした時には、なるべく早く業者に来てほしいと思うだろう。業者の対応は満足のものとなっているかどうか、「くみ取りの依頼をしたとき、業者はすぐに来てくれますか」と尋ねたものが図2.6.5.である。

旧仙台地区は定期的にくみ取ってもらっている家庭が多いために、6割強の家庭が「連絡して来てもらったことがないので、わからない」と答えている。しかし、旧仙台地区の残りの多くの家庭が「すぐに来てくれる」と答えており、「来てくれるが遅い」と回答した家庭は6%にすぎない。しかし他の3地区はいずれも約3割の家庭が「遅い」と報告している。これらの地区では「何度か連絡しない」と来てくれない」という家庭もそれぞれ5%ほどある。

くみ取りで支払う手数料の実態 (問51)

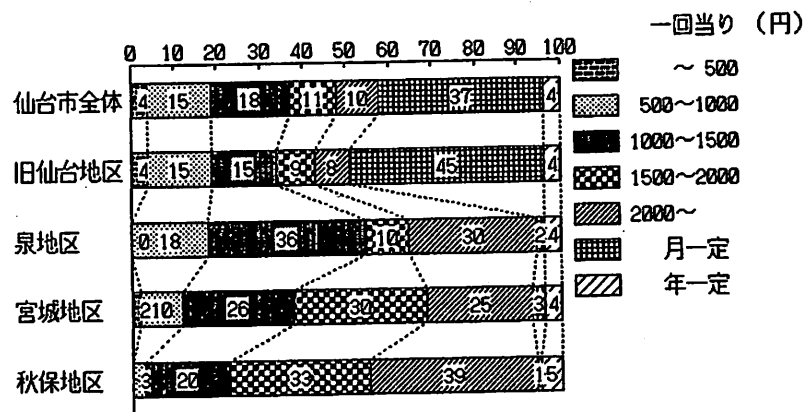


図2.6.6. くみ取りで支払う手数料の実態 (%)

各家庭は1回当りのくみ取り手数料をいくらくらい支払っているのか尋ねたものが図2.6.6.である。

くみ取り手数料の実態については、世帯構成人員及びくみ取り頻度(方法)と関係するため同一レベルでの比較が困難であるため、さらに、詳細な調査が必要と考えられる。

くみ取りの手数料に対する評価 (問52)

くみ取り手数料の額をどのように思うかという問に対する回答は、図2.6.7のとおりである。

仙台市全体では「ちょうどよい」という回答が7割弱ある。また、「高い」「やや高い」+「高い」と答えた世帯が25%であるのに対して、「安い」「やや安い」+「安い」という回答は7%であった。

地区別に比較すると、宮城地区では「高い」と答えた世帯が約4割と多く、「安い」と答えた世帯は3%と少ない。その他の地区は、全体に比べて大きな違いはない。

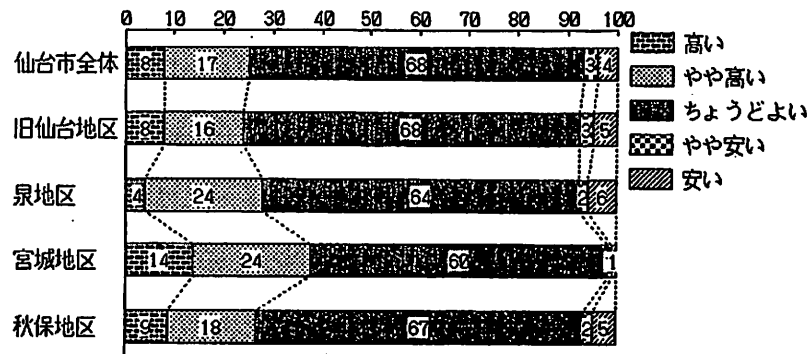


図2.6.7. くみ取りの手数料に対する評価 (%)

希望するくみ取り方法 (問53)

くみ取りには定期的に行う方法と、たまったら業者に連絡する方法の2つがあるが(問47参照)、各家庭はどちらの方法を希望しているのか尋ねたものが図2.6.8.である。

旧仙台地区ではほとんどの世帯が「定期がよい」という回答をしている。泉地区では、「定期がよい」という世帯は7割弱で、連絡する方がよいという家庭は3割弱であった。一方、宮城地区は「定期がよい」という回答と「たまったら連絡する方がよい」という回答の比率が半々で、秋保地区では定期的よりもたまったら連絡する方がよい、という家庭の方が多い。この傾向は、くみ取り方法の現状(問47)をある程度反映したものと考えられる。

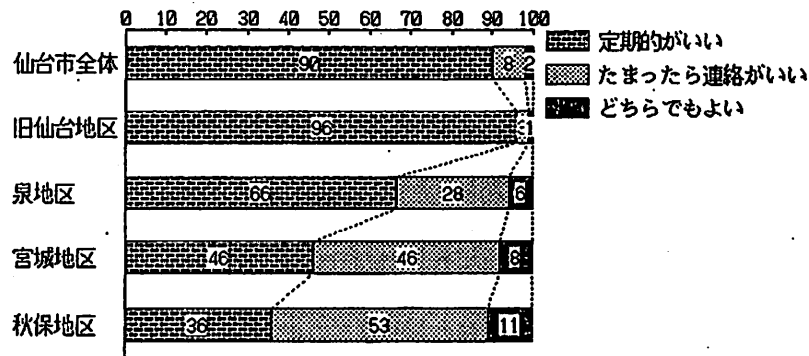


図2.6.8. 希望するくみ取り方法 (%)

まとめ(1)

トイレのタイプは地区による違いが大きく、宮城地区では半数以上、秋保地区では4分の3の家庭がくみ取り(またはくみ取り式水洗)である。くみ取りの頻度には、地区によるばらつきが大きく、旧仙台地区が最も多く、秋保地区が最も少なかった。

くみ取りの手数料については、約7割が「ちょうどよい」としているが、「安い」と感じている世帯よりも「高い」と感じている世帯の方が多い。

また、くみ取りを依頼してからの対応が遅いことに不満をもっている家庭が、泉、宮城、秋保の3地区では3割程度見られる。

考察(1) くみ取り回数に対する評価

先に記したように(図2.6.4.)、くみ取り回数を「少ない」と回答した世帯は、仙台市全体で1割みられ、また「定期的」にくみ取りをしてもらっている世帯だけに限定すると仙台市全体で11%になった。

では、現在のくみ取り回数が「少ない」と回答したのは、どのような世帯であろうか。まず、考えられることは、世帯人数に影響されたのではないか、ということである。つまり、世帯人数が多いほど、し尿の量は多くなり、現在のくみ取り回数は「少ない」と回答したのではないかと予想される。表2.6.2. から分かるように、仙台市全体で、くみ取り回数を「少ない」と答えた世帯の比率は、世帯人数が多くなるにしたがって、2.5% (1-2人)、11.8% (3-4人)、15.0% (5人以上) と増える。これをみると、世帯人数が1-2人の世帯ではほとんど不満がないが、3人以上の世帯では1割以上の世帯が「少ない」と感じるようになっている。

表2.6.2. 世帯人数による現在のくみ取り回数に対する評価の変化(%)

現在のくみ取り 回数は適当か	世帯人数		
	1~2人	3~4人	5人以上
少ない	2.5	11.8	15.0
ちょうどよい	96.3	87.5	83.8
多い	1.2	0.7	1.3
合計(%の基数)	(81)	(136)	(80)

さて、上の表2.6.2. は、水洗化されていない全ての世帯についてのものである。だが、問49で述べたように、必要に応じて業者にくみ取りを依頼している世帯では自家のくみ取り回数を適宜調節できるので、実際のくみ取り回数の如何にかかわらず回数に対する不満はないとも考えられる。そこで、定期的にくみ取りをしてもらっている世帯だけに限定してみても、仙台全体の回答中「少ない」という答えは、世帯人数が多くなるほど増える。(表2.6.3. 参照)

表2.6.3. 定期的にくみ取りをしてもらっている世帯の世帯人数による現在のくみ取り回数に対する評価の変化(%)

現在のくみ取り 回数は適当か	世帯人数		
	1-2人	3-4人	5人以上
少ない	2.8	13.2	17.5
ちょうどよい	95.8	86.8	81.0
多い	1.4	0.0	1.6
合計(%の基数)	(72)	(121)	(63)

考察(2) くみ取り料金に対する評価

世帯人数による、くみ取り料金の評価の変化の関係をみたものが表2.6.4. である。『高い』(「やや高い」+「高い」)と答えた世帯は、23.2% (1-2人)、20.0% (3-4人)、34.6% (5人以上) となっている。世帯人数が5人以上のところでは、比較的くみ取り料金を『高い』と感じているようだ。

表2.6.4. 世帯人数によるくみ取り料金に対する評価の変化(%)

くみ取り料金に について	世帯人数		
	1-2人	3-4人	5人以上
『高い』	23.2	20.0	34.6
ちょうどよい	67.1	72.6	61.5
『安い』	9.7	7.4	3.9
合計(%の基数)	(82)	(135)	(78)

考察(3) 希望するくみ取り方法

希望するくみ取り方法として、「定期的がよい」と回答したのはどのような世

帯で、一方、「たまったら連絡がよい」と回答したのはどのような世帯であるかについて示したものが表2.6.5.である。世帯人数が5人以上の世帯で「たまったら連絡がいい」という回答が多い。しかし、表2.6.5.は一見したところ、世帯人数が多い世帯では、たまったら連絡する方法を希望しているところが比較的多いように見えるが、この関連には、現状のくみ取り方法などの各地区の特徴が潜んでいる。

表2.6.5. 世帯人数による希望するくみ取り方法の変化(%)

希望するくみ取り 方法	世帯人数		
	1-2人	3-4人	5人以上
定期がいい	92.4	93.3	88.6
たまったら連絡がいい	7.6	6.7	11.4
合計(%の基数)	(79)	(134)	(79)

そこで、現状のくみ取り方法との関係をみてみた。

表2.6.6.をみると、現在、定期的にくみ取りをしてもらっている世帯のほとんどは、定期的を希望しており、くみ取りをしてもらうたびに、わざわざ業者に連絡するのは面倒だと思うためと考えられる。一方、現在、たまったら連絡する方法を採っている世帯についてみると、希望する方法が半々になっている。これは、業者に連絡するのが面倒であると思う人は定期収集を希望し、そうは思はない人ならたまったら連絡する方法を希望するためであると考えられる。

表2.6.6. 現状のくみ取り方法による希望するくみ取り方法の変化(%)

希望するくみ取り 方法	現状のくみ取り方法	
	定期的	たまったら連絡
定期がいい	98.4	45.9
たまったら連絡がいい	1.6	54.1
合計(%の基数)	(253)	(37)

つまり、世帯人数が5人以上の世帯の比率は、秋保地区や宮城地区で比較的高く、それらの地区では「たまったら連絡する方法」を採っている世帯が多いため、仙台市全体でみたときに世帯人数が5人以上の世帯は、たまったら連絡する方法を希望する世帯の比率が高くなったと考えられる。

従って、それらの要因を排除するために、各地区ごとに世帯人数と希望するくみ取り方法の関係を調べたところ表2.6.7.のようになった。旧仙台地区と秋保地区は世帯人数の多い世帯ほど、定期的な方法を希望している。しかし、泉地区と宮城地区ではそのような傾向は認められなかった。

表2.6.7. 世帯人数による希望するくみ取り方法の変化(%)

旧仙台地区			
希望するくみ取り 方法	世帯人数		
	1-2人	3-4人	5人以上
定期がいい	97.1	95.9	98.3
たまったら連絡がいい	2.9	3.3	1.7
合計(%の基数)	(69)	(120)	(59)

泉地区			
希望するくみ取り 方法	世帯人数		
	1-2人	3-4人	5人以上
定期がいい	72.7	76.2	60.0
たまったら連絡がいい	27.3	23.8	40.0
合計(%の基数)	(11)	(21)	(15)

宮城地区			
希望するくみ取り 方法	世帯人数		
	1-2人	3-4人	5人以上
定期がいい	40.7	60.0	46.3
たまったら連絡がいい	59.3	40.0	53.7
合計(%の基数)	(27)	(50)	(54)

秋保地区			
希望するくみ取り 方法	世帯人数		
	1-2人	3-4人	5人以上
定期がいい	33.3	34.8	52.0
たまったら連絡がいい	66.7	65.1	48.0
合計(%の基数)	(21)	(43)	(50)

また、希望するくみ取り方法とくみ取りの頻度との関連を調べてみたが、この調査結果からは特に注目すべき関連は認められなかった。

まとめ(2)

くみ取り回数の評価については、世帯人数が多くなるほど、現在のくみ取り回数は「少ない」と評価する世帯の比率が高かった。

くみ取り料金については、料金についての評価にも世帯人数との関連がみられ、世帯人数が多い世帯ほど、料金を『高い』（「やや高い」＋「高い」）と回答している。だが、料金に対する評価とくみ取りの頻度との関連は認められなかった。

最後に、希望するくみ取り方法についてであるが、旧仙台地区と秋保地区で、世帯人数の多い世帯ほど、定期収集を希望している比率が高いことが分かった。この関連の解釈には、現状のくみ取り方法が、希望する方法に影響を及ぼしているということも考慮にいれることが必要であった。また、くみ取りの頻度は影響を及ぼしているとはいえなかった。

3. 自由意見

凡例：

1. 以下の記述は、今回の調査の最後に尋ねた自由意見欄に対する回答を整理したものである。回収した2034票中、当該欄になんらかの記述があったのは、旧仙台地区316、泉地区128、宮城地区75、秋保地区35の合計554票（27.2%）であった。

2. 記述はいくつかに分類してタイトルをつけた。

3. 各タイトルのもとには代表的な意見が記してある。ただし、若干の整理をしてある。

4. 記述の後には、その意見を述べた人の居住地区を記した。ただし、ごみ問題の現状に照らして、現在の区ではなく合併前の市町別（【旧仙台地区】、【泉地区】、【宮城地区】、【秋保地区】）にした。【旧仙台地区：3】とあるのは、当該意見を表明した人が旧仙台地区で3名いたことを示す。ただし、1つの調査票に複数の意見が記述されていた場合もあるので、意見数の合計は554にはならない。

(自由意見 目次)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. ごみ処理の問題 | 1.7. 集団資源回収 |
| 1.1. 一般的なこと | 1.8. その他 |
| 1.1.1. ごみ処理システム | 1.8.1. 自家処理 |
| 1.1.2. ごみ処理に関する指導 | 1.8.2. ごみ処理業者 |
| 1.2. 容器について | 1.8.3. 営業用ごみ等 |
| 1.2.1. ポリバケツ | 1.8.4. その他 |
| 1.2.2. ポリ袋 | 2. し尿処理の問題 |
| 1.2.3. コンテナボックス | 2.1. 水洗化 |
| 1.2.4. その他 | 2.2. 汲み取り |
| 1.3. 分別について | 2.3. 汲み取り業者 |
| 1.3.1. 分別の是非 | 2.4. 下水道 |
| 1.3.2. 疑問点 | 2.5. その他 |
| 1.3.3. 意見・提案 | 3. その他の問題 |
| 1.4. 収集について | 3.1. ごみ問題一般 |
| 1.4.1. 収集日 | 3.2. 環境問題一般 |
| 1.4.2. 収集時間 | 3.3. 市への要望 |
| 1.4.3. 収集回数 | 3.3.1. 市政一般 |
| 1.4.4. 収集人 | 3.3.2. 身近な環境 |
| 1.4.5. その他 | 3.3.3. 水道・ガス |
| 1.5. 排出する側について | 3.3.4. 道路 |
| 1.5.1. 違反者 | 3.3.5. 細かいお願い |
| 1.5.2. 意見・提案 | 3.3.6. 考え・感想 |
| 1.5.3. アパート | 3.4. 調査 |
| 1.5.4. その他 | 3.4.1. 調査全般 |
| 1.6. 集積所 | 3.4.2. 調査票 |
| 1.6.1. 設置場所 | 3.5. その他 |
| 1.6.2. 掃除 | |
| 1.6.3. 汚れ | |
| 1.6.4. 柵 | |
| 1.6.5. その他 | |

1. ごみ処理の問題

1.1. 全般的なこと

1.1.1. ごみ処理システム

- (今のままでよい)
- ・ごみ処理システムは今のままでよい。【旧仙台地区：8】【泉地区：4】【秋保地区】
- ・ごみ処理（清掃事業活動）については仙台市はよくやっている。【旧仙台地区：6】
- (ごみの出し方を統一すべきだ)
- ・ごみの収集方法（分別の仕方、容器のことなど）を市で統一すべきだ【泉地区：2】
- ・地区毎にごみの収集の仕方が違うので、移動した人のごみの出し方が他の人の迷惑になっていることがある【泉地区】
- (その他)
- ・単身者にも可能なごみ処理システムにしてほしい。【旧仙台地区】
- ・障害者しかいない家庭では、ごみを出すのも大変である。こういう家庭のごみ処理についてぜひ検討して欲しい【泉地区】
- ・ごみの収集はある程度有料化したほうがよい【泉地区】
- ・ごみを出さない家庭にとってはごみ処理費が無料なのは不公平に感じる。家族構成などを考慮して若干は個人負担させるべきだ。【宮城地区】
- ・福岡方式にしてほしい。【旧仙台地区】
- ・横浜方式では収集後の処理が大変だろうと思う【泉地区】
- ・埋立地が満たんになる前に各家庭で処理できる方法を市が考えてほしい。【宮城地区】
- ・ごみで埋立地を増やすのは将来に危険が伴うのではないか。【秋保地区】

1.1.2. ごみ処理に関する指導

- (適切なごみ処理の仕方を提示してほしい)
- ・引っ越しした家には数日中に誰かがごみ収集案内用紙をおくってほしい。【旧仙台地区】
- ・集積所にある収集日等の書いてある看板をきちんと読めるようにしてほしい。【旧仙台地区：2】
- ・掲示板を作成して、ごみの種類に応じてどう処理しているのかやごみのだしかなた等について公示してほしい。【旧仙台地区】
- ・公共のメディアを使って正しいごみ処理の方法を広めてほしい。【旧仙台地区：2】【泉地区】【宮城地区】
- ・分別の必要な理由、有害ごみといわれるものの何が有害なのか、地球環境とごみ問題との結び付き等をわかりやすく指導することが必要【泉地区】
- ・収集について住民が理解できるような広報活動をするべきだ【旧仙台地区】
- ・意識を高めるために地区毎にごみ問題のスライドをみるなどすればよい。【宮城地区】
- (規則を徹底してほしい)
- ・ごみの出し方について、その規則を徹底させるべきだ。【旧仙台地区：4】
- ・このアンケートをいかし、しっかりした統一ルールを作り市民に周知徹底をはかり、ごみによる環境破壊やトラブルのないよう強力に指導して下さい。【旧仙台地区】
- ・「ポリバケツでその日の朝出す」を守るように指導してほしい。【旧仙台地区：3】
- ・ごみの出し方を守るためには条例などの法令が必要【泉地区】

- ・違反者には罰則もあってよいと思う。【旧仙台地区】
- ・ごみ処理には莫大な費用がかかるし、さらに違反者が出ると余計な出費が出ると思う。出費を抑えるために市は何か工夫をしているのか。【旧仙台地区】

1.2. 容器について

(注) 同一人が双方の利点・欠点を述べている場合もある。

1.2.1. ポリバケツ

- (利点)
- ・動物の被害を考えるとポリバケツの方がよい。特に飲食店街では必ずポリバケツを使用してほしい。【旧仙台地区：4】【宮城地区】
- ・安全面からいえばポリバケツの方がよい。【旧仙台地区】
- ・街の美観を損なわない。【旧仙台地区】
- ・収集の仕事の人もごみがちらばらず楽だと思う。【旧仙台地区】
- ・収集する人がポリバケツのほうが扱いやすいのであれば、ポリバケツの方がよい。【旧仙台地区】
- (欠点その1：回収しなければならない)
- ・取りにいくのが面倒だ。【旧仙台地区：2】
- ・取りにいく暇が無い【旧仙台地区：2】【泉地区】
- ・年をとると容器を運ぶのが困難。【旧仙台地区】【泉地区】
- ・集積所に翌朝まで出たままになっていることもある。【旧仙台地区】
- (欠点その2：汚れる)
- ・汚れやすい。【泉地区】
- ・容器の始末と容器の掃除が大変。【旧仙台地区】
- ・放置されていてとても汚い。【旧仙台地区：2】【泉地区】
- (欠点その3：無くなる・壊れる)
- ・放置したポリバケツが風で飛ばされる（車道に転がり危険）。【旧仙台地区：14】【宮城地区：2】
- ・ポリバケツの蓋がなくなる。【泉地区】
- ・壊れやすい（風・車による破損がある）。【旧仙台地区：2】【宮城地区】
- (欠点その4：邪魔になる)
- ・集積所の回りにゴロゴロ転がっていて見苦しい、危ない、衛生上よくない。【旧仙台地区：3】【泉地区：2】
- ・交通の邪魔になる。【旧仙台地区：2】
- ・場所をとりすぎる。【旧仙台地区】
- (欠点その5：大きさが限られる)
- ・ごみの大きさが限られる（出しきれないと、結局ポリ袋です）。【旧仙台地区：2】【泉地区】
- (欠点その6：動物の被害に合う)
- ・動物の被害にあう。【泉地区】

1.2.2. ポリ袋

- (ポリ袋がよい)
- ・ポリバケツはやめてビニル袋にすればよい（一方的にポリバケツに入れてだすことが決められている）。【旧仙台地区：2】
- ・ポリ袋の方が便利でメリットも多い。【旧仙台地区】【泉地区】
- ・ビニル袋を強く破れにくい素材のものに変えるなどすれば、その方が効率的だ【旧仙台地区：2】
- ・中身が見える透明なポリ袋に入れてだすのがよい。【旧仙台地区：3】【泉地区：3】
- ・黒のビニル袋にに入れてだせばよい。【旧仙台地区】

- ・白か透明のビニール袋に名前を書いて出すようにする。【旧仙台地区】
- ・市指定のポリ袋を2つ（大きさが違う）決めるのがよい。【宮城地区】
- ・ビニール袋であれば黒でも透明でもよいというようにして欲しい。【泉地区：2】

(買物袋がよい)

- ・スーパーでもらうビニール袋を使えばよいと思う。【宮城地区】
- ・買物袋を統一してそれをゴミ袋に再利用するようにすればよい。【泉地区】
- ・水や汚物が漏れないように買物袋を2重3重にすればよい（資源問題を考えると1番無駄が無い）。【旧仙台地区：2】【泉地区】

(ポリ袋の欠点)

- ・水などが袋から流れて悪臭が漂う【旧仙台地区】
- ・ガラスや猫などが袋を破いて中の物が散乱する。(悪臭が漂う)【旧仙台地区：4】【宮城地区】
- ・中身が見えない黒のゴミ袋は、何をいれてもよいといってるようなものだ。無責任になる。【旧仙台地区】【泉地区：3】

(規定のポリ袋を市で用意してほしい)

- ・ポリ袋を市で安く売ってほしい。【旧仙台地区】
- ・市指定の丈夫なポリ袋を決めてどこでも購入できるようにすればよい。【旧仙台地区：3】【宮城地区】
- ・動物に破られない袋を(市が)配布する。【旧仙台地区】

(その他)

- ・ポリ袋が少し弱すぎる。【泉地区】
- ・指定のゴミ袋は値段が高い【泉地区：2】
- ・泉区では、1枚30円のごみ袋を購入しなければならないが、どうせ捨てるものだから何でもよいのではないか。特定業者の利益に協力しているように思える【泉地区】

1.2.4. コンテナボックス

(コンテナボックスの利点)

- ・コンテナボックスのない町は、美観を損なう。【旧仙台地区：4】
 - ・ガラス・犬などの被害が防げ非常に衛生的である。【旧仙台地区：6】
 - ・ポリバケツで出す不自由さがしのげる。【旧仙台地区】
 - ・いつでもゴミが出せるので便利【旧仙台地区】
 - ・掃除がしやすい。【秋保地区】
- (その他)
- ・市全体にコンテナボックスを設置して欲しい【旧仙台地区：20】【泉地区：2】【秋保地区：3】
 - ・壊れたので新しいものに代えてほしい。【宮城地区】
 - ・コンテナボックスを設置する場合は場所をとらない工夫も忘れずにしてほしい。【旧仙台地区】

1.2.5. その他

- ・ポリバケツで出すことになってるのだが守られていない。【旧仙台地区：2】
- ・ポリバケツかポリ袋かどちらかに徹底してほしい。【旧仙台地区】
- ・動物にいたずらをされるゴミは必ずバケツにいれ、その他は袋でよいとの明確な周知などしていただきたい。【旧仙台地区】
- ・動物が散らかさないように、ポリ袋に吹きかける薬品によいものがあつたら教えてほしい。【旧仙台地区】
- ・町の美観を損なわない容器を設置してほしい。【旧仙台地区】
- ・生ゴミ入りのビニール袋を入れる蓋付きの箱を設置する。【旧仙台地区】

- ・あきかん、ガラス、電池等、専用ボックスを設置すべきだ。【旧仙台地区】
- ・ゴミ箱を設置してほしい。【宮城地区】
- ・(資源物を)何時でも出せる施設の設置を希望します。

1.3. 分別について

1.3.1. 分別の是非

(分別収集するのがよい)

- ・ゴミは細かく分別して出すべきだと思う。【旧仙台地区】【泉地区】
 - ・分別収集に協力しているが、いまのままでよいと思う。【旧仙台地区】
 - ・分別は慣れてしまえば何でもない【泉地区：5】
 - ・初めは面倒だったが、慣れるにつれて、分別によってよりよい環境になるのではと思うようになった【泉地区：2】
 - ・分別は面倒で手間がかかるが、きちんと分けて出すよう心がけている。【旧仙台地区：2】【泉地区】
 - ・今後、しっかり分別して出すよう、努力します。【旧仙台地区】【泉地区】【秋保地区】
- (泉地区の回収方法はとてもよい)
- ・泉地区の分別収集方法は(旧仙台地区などと比べて)とてもよい。【旧仙台地区】【泉地区：2】
 - ・泉地区の回収方法は焼却炉が長持ちする。【旧仙台地区】
 - ・泉地区のごみ収集は今の形のまま続けて欲しい【泉地区】
- (分別すべきもの)
- ・電池、蛍光灯などは、分別すべきだ。【旧仙台地区】【泉地区】
 - ・水銀体温計やガス缶などは分別すべきだ。【泉地区】
 - ・できるだけ資源物を分別して大切に使いたいと思う(豊橋市、イタリアのように)【泉地区】【宮城地区：2】【秋保地区】
 - ・生ゴミは肥料などに利用できないのか。【旧仙台地区】
 - ・紙はまとめてだして再生紙にすればよい。【宮城地区】
 - ・焼却すれば空気を汚染することになるビニールやプラスチックの処理の方法は積極的に対応すべきだ。【旧仙台地区：3】
- (分別する必要はない)
- ・生ゴミとビニール類を分けるのは面倒なので、一緒にしてもよいようにしてほしい【泉地区】
 - ・焼却処理を行なうのだから、紙屑と野菜屑は一緒に出して差し支えないと思う。【旧仙台地区】
 - ・川崎市では分別の必要もなかった。なぜ仙台でもしないのか【旧仙台地区】

1.3.2. 疑問点

(全体的なこと)

- ・分別しているようだが、具体的な方法が分からない。一般に分かるように表示してほしい。【旧仙台地区：2】【泉地区】【宮城地区】
 - ・どのような分別が全ての面(自然環境的にも効率的にも経済的にも)で良いのか知りたい。【旧仙台地区】
 - ・燃えないゴミとは何をさしているのか分からない。【旧仙台地区：2】
 - ・燃えないゴミの分類をどの程度にすべきか分からない。【宮城地区】
- (個別的なこと)
- ・ガラスや陶器を空缶・空瓶といっしょに出してよいのか。【旧仙台地区】
 - ・金属、ガラス等はどの様にせよいいのか分からない。【旧仙台地区】
 - ・一般のゴミ(紙屑や生ゴミ)とガラスや陶器を分けて出しても、一緒に収集車に入れてしまうようですが、どのように処理しているのですか。【旧仙台地区】

- ・アルミ缶を空缶・空瓶といっしょに出してよいのか。【旧仙台地区】
- ・カミソリの刃や針などの様に処理すればよいのでしょうか。【旧仙台地区】
- ・プラスチック類のごみの出し方がわからない。【旧仙台地区：2】
- ・スプレ-の空かんや壊れた食器や電球はいつ出せばよいのか。【旧仙台地区】
- ・生ごみと紙屑を一緒に出してよいのか。【旧仙台地区】
- ・大きなもの（使い古しのタンスとか冷蔵庫とか）の出し方がわからない。【旧仙台地区】
- ・テレビのアンテナのような燃えないごみに関して人によって扱い方が違う。指導を徹底してほしい。【旧仙台地区】

1.3.3. 意見・提案

(分別収集を統一してほしい)

- ・区別の仕方が地区毎に違うのはおかしい。【宮城地区】
 - ・泉地区では分別しているのに、旧仙台地区では燃えるものと燃えないものを分別していないのでは、泉地区の苦勞がなんにもならない【泉地区】
 - ・市内一律に回収方法を泉区と同じにすればよい。【泉地区】
- (分別の方法・理由を提示してほしい)
- ・ごみ収集場所に細かく種類別に処理の仕方を明記したほうがよい。【旧仙台地区】
 - ・有害廃棄物が何に含まれていてどう処理すべきかを分かりやすくPRする必要があると思う。【旧仙台地区】
- (分別を徹底すべきだ)
- ・分別の仕方と排出方法(調査票p11-14)を全市民に定着・理解させるべきだ。【旧仙台地区】
 - ・市政だよりやちらし配布によってごみの分け方を指示して徹底させるべきだ。【旧仙台地区】【泉地区】
 - ・分別が必要な理由を理解させるために、分かりきったことでも徹底して知らせるべきだ【泉地区】
 - ・他の区でも泉区のようにごみの分け方を徹底したほうが良い【旧仙台地区】
 - ・東京のように厳しくごみの出し方や分別を徹底させてほしい。【旧仙台地区】
 - ・分別収集するのなら「プラスチック、ビニ-ルの日」というように収集日を明確にわけたほうがよい。経費も節減できると思うし。【旧仙台地区】
 - ・もっとごみの分類の仕方を研究すべきだと思う。【秋保地区】
 - ・全国で浜松のようにすべきだ。【旧仙台地区】
- (分別収集を生かしてほしい)
- ・せっかく分別して出しているのだから、再資源活用や廃棄処理をしっかりとやってください。【泉地区】
 - ・一般のごみ(紙屑や生ごみ)とガラスや陶器を分けて出しても、一緒に収集車に入れてしまうのでは分けて出す意味がない。分別してほしいなら、回収の時一緒にしないでほしい。【旧仙台地区：5】

1.4. 収集について

1.4.1. 収集日

- ・収集日を増やしてほしい
- ・連休や年末年始のときごみがたまってしまふので、善処してほしい。【旧仙台地区：4】
- ・日曜日は最もごみが出る日なので火曜日の朝まで待ちきれない。月曜もごみの日にしたい【旧仙台地区】【泉地区】
- ・(予定通り回収してほしい)
- ・ごみの種類で回収日を決めているのはよい。しかし、その通りには実行されて

いない。

- ・収集日である土曜日に収集に来ない時がある。必ず来てほしい。【旧仙台地区】
- ・定期的に回収にきてほしい。【秋保地区】
- ・(種類の違うごみの回収日)
- ・びん・かんの回収日を一般ごみの収集日と重ならないようにしてほしい。(置き場所が狭いため車の通行の邪魔になる)【旧仙台地区：2】
- ・生ごみと発泡スチロールの収集日を同じ日にしてほしい。【泉地区】
- ・(粗大ごみの回収)
- ・粗大ごみを回収するときは、有償でもよいから当方で指定した日にしてほしい。【旧仙台地区】
- ・忙しくて粗大ごみを出す暇が無い。【宮城地区】
- ・(その他)
- ・収集日がわからない【旧仙台地区：2】

1.4.2. 収集時間

(収集時間を一定にしてほしい)

- ・収集時間がを一定にしてほしい(集積所の整理や掃除等がスムーズに行えないため)。【旧仙台地区：6】【泉地区】
- ・(早く回収してほしい)
- ・早く収集してほしい(午前中には回収してほしい、8時まで出すように決められているのだから遅くとも10時位までには回収してほしい)。【泉地区】【宮城地区】【秋保地区：2】
- ・夏は悪臭がひどいと思われるので、早い時間に回収したほうがよいと思う。【旧仙台地区：2】【泉地区】
- ・(収集時間の変更を)
- ・朝起きるのが辛いので、夜回収にきてほしい。【旧仙台地区】
- ・仕事の都合などで、朝ごみを出すのが困難。【旧仙台地区】

1.4.3. 収集回数

(このままでよい)

- ・現在の収集回数が満足。【旧仙台地区】【泉地区】
- ・ごみは週3回が適当です。【旧仙台地区】
- ・(増やしてほしい)
- ・週1回では少ない。週2回にしてほしい。【秋保地区】
- ・1日おきぐらいに回収してほしい。【旧仙台地区】
- ・回収の数が少なくなるのは困る【泉地区】
- ・夏は毎日集めた方がよい。【宮城地区】
- ・川崎市では収集が毎日あった。なぜ仙台でもできないのか【旧仙台地区】
- ・燃えるごみの収集回数を増やしてほしい。(2回から3回に)【宮城地区：3】
- ・燃えないごみの収集回数を増やしてほしい。【旧仙台地区】【泉地区】
- ・空き缶、空きびんの収集回数が少なく不便。増やして欲しい【旧仙台地区：2】
- ・生ごみを毎日集めにきてほしい【旧仙台地区】
- ・夏場は生ごみの回収数を増やすべきだ。【旧仙台地区】【泉地区：2】【宮城地区】
- ・(減らしてほしい)
- ・燃えないごみを毎週収集する必要はないと思う。【秋保地区】
- ・ごみは週2回でよい。【旧仙台地区】

1.4.4. 収集人

(丁寧に扱ってほしい)

- ・ポリ容器を乱雑に扱い破損させている。【旧仙台地区：5】
- ・ポリバケツの扱いを丁寧をお願いします。【旧仙台地区：7】【宮城地区】
- ・回収方法や容器の取り扱いについての徹底した指導の強化をしてほしい。【旧仙台地区】
- ・回収後はポリバケツを整理（蓋をするなど）して置いてほしい。【旧仙台地区】【宮城地区】【秋保地区】
- （集積所を掃除してほしい）
- ・バケツからこぼれたごみや、からすがビニール袋を破って散らかしたごみをそのままにしないでほしい。【旧仙台地区】【宮城地区】
- （やめてほしい）
- ・収集の時、散らかさないでほしい。【旧仙台地区：2】
- ・作業がやかましく、一種の騒音である。【秋保地区】
- ・たばこを吸いながら収集するのはやめてほしい。（火災防止のため）【旧仙台地区】
- ・車を道路のまん中に止めたり、すごいスピードで車の競争したりするのをやめてほしい。【宮城地区】
- ・収集車1台につき3人の収集人は多い。税金で賄われているのならなおさらであり、節約するか、他に有効に使うべきである。【旧仙台地区：2】
- ・若い人を使うべきでない。そうすれば、賃金も回収費も安くすむ。【宮城地区】
- （収集車）
- ・もっときれいになりませんか。【旧仙台地区】
- ・専用収集車を増やしてほしい。【秋保地区】
- （その他）
- ・いつもご苦労様。【旧仙台地区：6】【泉地区】【宮城地区：3】【秋保地区：2】
- ・カラスや猫にいたずらされないように蓋をしてだしておくと回収しないときがあった。

1.4.5. その他

- ・規則通りに出さない人のごみを集めないでほしい。【旧仙台地区】
- ・規則を破ると回収しないようだが少しの違反は注意するだけでよいのではないか。もってほしい。【泉地区】
- ・古タイヤや小さい家具、テレビ、アンテナ等集積所にいつまでも残っているものをなんとかしてほしい。【旧仙台地区：4】【秋保地区】
- ・転動時の引越しに出るダンボール等を普段の回収時に持って行ってほしい。【旧仙台地区】

1.5. 排出する側について

1.5.1. 違反者

- （収集日・時間を守らない）
- ・収集日を守らない人がいる（そのため、カラスや犬の被害で集積所が汚れる。頼んでも回収してもらえない）。【旧仙台地区：19】【宮城地区：4】【秋保地区】
- ・回収が終わって空になったポリバケツに勝手にごみを捨ててゆく人がいる。【旧仙台地区】
- （決められた容器で出さない）
- ・どんな形（容器）でごみを出しても持って行ってもらえるものと思っている。【旧仙台地区】
- ・小さいポリ袋を何個も出す人がいて、収集員の方が気の毒【旧仙台地区】
- ・スーパーの買物袋のような小さいビニール袋や紙袋で出す人がいる（特に、学

- 生、独身者）。そのため、動物の被害などで集積所が汚れる。【旧仙台地区：9】【泉地区】
- （出し方が悪い）
- ・ビニール袋からごみのはみ出している。【旧仙台地区】
- ・仙台市では大部分の人がポリバケツのふたをして出さないで動物にあらされる。【泉地区】
- ・生ごみや空かん空びんをポリ袋に入れて出す人がいる。【旧仙台地区】
- ・カラスや猫がある決まったポリバケツをかじって集積所を汚す。どの家のポリバケツかは分かるがいろいろ。【旧仙台地区】
- ・粗大ごみ回収の時、タイヤを出す人がいる。【旧仙台地区】
- ・空き地にごみや廃車を捨てる人がいる。【宮城地区】
- （関係無い人が出す）
- ・よそから車で来てビニール袋にはいったごみをいくつも捨てる人がいる（それが動物に散らかされて困る）。【旧仙台地区：5】【泉地区】【宮城地区】
- 【秋保地区：2】
- （その他）
- ・他人の迷惑も考えず無責任な人がいる。【旧仙台地区：3】【宮城地区：2】
- ・出しておいたびんや空かんを持っていく人がいる。【旧仙台地区】

1.5.2. 意見・提案

- （出し方）
- ・決められた日に出してほしい。【宮城地区：3】【秋保地区】
- ・ごみを収集する人の事を考えてもっと丁寧に出すべきだと思う。【旧仙台地区】
- ・燃えるごみと燃えないごみを一緒に出したりしないでほしい。【秋保地区：2】
- ・粗大ごみを勝手にだしたりしないでほしい。【秋保地区】
- （その他）
- ・出す人がなんらかの負担をするようにしたらよい。（市指定のビニール袋を市から買うとか、シールをきめて貼ってあるものだけ回収するとか）【旧仙台地区】
- ・泉区のように、規則を破って出した場合は、町内会の方が調べて破った人に返すくらいのことをしなくては、地域の環境は守れない。【泉地区】
- ・利用者が交替で収集員の手伝いをすべきだと思う。【旧仙台地区】
- ・ポリバケツを洗ってほしい。【宮城地区】

1.5.3. アパート

- （出し方が悪い）
- ・アパート・マンションに住人（特に若者）のごみの出し方が悪い（分別しない、口も結ばないで出す、ポリバケツの蓋をしらないなど）【旧仙台地区：15】
- 【泉地区：4】
- ・アパートに住む若い人はごみをポリバケツにいれず、薄いビニール袋に入れて出す（そのために動物がいたずらして困る：2）。【旧仙台地区：8】
- ・アパートに住む若い人は集積日関係無しに出す（そのため、動物にあらされ、集積所が汚れる：2）。【旧仙台地区：7】
- （集積所の掃除をしない）
- ・アパートの集積所の掃除をする人がいない【旧仙台地区】
- ・アパート住人や学生にも集積所の掃除当番を回すべき【泉地区】
- （対策）
- ・アパートやマンション住まいになる人（特に学生）に、市・管理人・不動産業者などが、ごみの出し方を徹底して指導してほしい。【旧仙台地区：7】
- ・アパートのごみは管理人が管理してほしい【旧仙台地区：2】【泉地区】

- ・アパートなどの家主に、ごみ処理について（集積所・コンテナボックスの設置義務づけなど）の働きかけをして欲しい【旧仙台地区：2】【泉地区】
- ・アパート、マンションのごみの出し方を調査して対策をお願いします【泉地区】

1.5.4.その他

- ・管理人がすべて処理していて助かっている【旧仙台地区：3】
- ・決まりを守らない人に注意しづらい。【宮城地区】
- ・あいさつしても返事をする人が少ない。【旧仙台地区】
- ・決められた日時、場所に置くように努めます。【秋保地区】

1.6.集積所

1.6.1.設置場所

- （集積所をもっと近くにして欲しい）
- ・集積所をもっと近くにして欲しい。【旧仙台地区】【秋保地区：2】
- ・粗大ごみの集積所をもっと近くにしてほしい（粗大ごみが重くて指定の場所へ運べない）。【旧仙台地区】【泉地区：3】
- （集積所の場所を変えて欲しい）
- ・集積所の場所を順番に変えて欲しい【旧仙台地区：3】
- ・食堂を営業しているので家の前に集積所があるのは困る。場所を変えてほしい。【秋保地区】
- ・道路とは別の場所に集積所を作ってほしい。【旧仙台地区：2】
- （適当な空間を確保してほしい）
- ・集積所を増設してほしい。【旧仙台地区】【秋保地区】
- ・ポリ容器を置く場所がほしい。【旧仙台地区】
- ・集積所にごみの種類を区分して置けるほどのスペースがあれば、面倒なくごみの区分ができると思う。【旧仙台地区】
- ・ごみの集積場所を行政側で確保してほしい。【宮城地区】
- ・半年毎に場所が変わるのが適当でない場所もあるので、適当な一定の場所に決めてほしい。【泉地区】
- ・集積所は公共用地（公園用地など）にしたほうがよい。（集積所の前の家は大変だから）【泉地区】【秋保地区】

1.6.2.掃除

- （掃除をしない）
- ・掃除当番がまわってきても実際に掃除をしない人がいる。【泉地区】【宮城地区：2】
- ・掃除当番が学生に回らない【旧仙台地区】
- ・若い人にもっと積極的に掃除をしてほしい。【旧仙台地区】
- ・集積所が汚れていても関係無いという態度をとる人がいる。【旧仙台地区】
- （特定の人だけが掃除をする）
- ・家の前の集積所を自分で掃除せざるをえない。【旧仙台地区：2】【宮城地区】
- ・集積所付近の人が掃除をしている。【旧仙台地区】
- ・決まった人（きれい好きな人）だけが掃除をする。【旧仙台地区】【宮城地区】
- ・集積所を清掃にきている市の方には大変感謝しています。【旧仙台地区】
- （きれいにすべきだ）
- ・自分の家の前にあるという気持ちで、みんなで清潔にすべきである。【旧仙台地区：4】
- ・各自が注意して集積所をきれいに保ってほしい。【宮城地区：2】
- （当番制）
- ・掃除は当番制でやっている。【旧仙台地区】

- ・どの地域も掃除は当番制でやるよう町会などで徹底してほしい。【旧仙台地区】【宮城地区】

1.6.3.汚れ

- （動物が集積所を汚す）
- ・集積所に（カラス、犬、猫により）生ごみが散乱しているのが一番の悩みだ。【旧仙台地区】
- ・カラスが集積所を散らかす。【旧仙台地区】【宮城地区：2】
- ・以前は交替で責任者がいたが自然消滅し、現在では得手勝手な人々とカラスに悩まされている。【旧仙台地区】
- （いつも汚れている）
- ・いつもごみがあって不愉快。【泉地区】
- ・郡部の集積所はごみが散乱している。【泉地区】
- ・他の地域の道路沿いのごみ集積所は汚れている。【秋保地区】
- （悪臭がする）
- ・わが家と集積所の距離が近いので、前日から出されたりすると臭気が室内に入ってくる
- ・集積所の付近の人は悪臭で困っている【泉地区】【宮城地区】
- ・自宅のすぐそばの集積所（他の班が使っている）はごみの出し方が悪く、動物が荒し、悪臭がする。（特に夏は臭いし蠅は多いので大変だ。）【旧仙台地区】【泉地区】
- （その他）
- ・ごみ箱が汚れていると近寄るのがいやだ。【宮城地区】
- ・集積所が家の前におかれている方は迷惑していると思う。【旧仙台地区：3】

1.6.4.柵

- ・動物の被害をなくするため集積所の回りを何かで囲ったらいと思う。【旧仙台地区】【秋保地区】
- ・広く使えるようにコンクリートで柵を作ってほしい。【旧仙台地区】
- ・網で囲めばよいと思う。【旧仙台地区：2】
- ・屋根付きの囲い（金網）を作ってほしい。（雨でぬれないし、ポリバケツが風で飛ばないし、ポリ袋も破れない）。【旧仙台地区】【泉地区：2】【宮城地区：2】
- ・ポリバケツが風で飛ばないように、取り外し可能な柵がほしい。【宮城地区】

1.6.5.その他

- ・設備を整備してほしい（花を植栽するなど）。【旧仙台地区】【泉地区】【宮城地区】
- ・行政側の手で整備をしてもらいたい。【旧仙台地区】
- ・年に1回は消毒防除してほしい。【泉地区】
- ・集積所を常時パトロールして欲しい【泉地区】

1.7.集団資源回収

- （資源回収を活発にやればよい）
- ・子供会の廃品回収は大いに助かる。【旧仙台地区】
- ・子供会の資源回収に協力しているが、これはいまのままよいと思う。【旧仙台地区】
- ・町全体で資源回収をやればよい。【秋保地区】
- ・準公営による資源リサイクルの範囲をひろげるべき。
- ・資源再利用に協力するよう市政便りで呼びかけたらどうか。【旧仙台地区】

(その他)

- ・布や段ボールなどを断られる。意味が無いのでは。【宮城地区】
- ・資源の再利用をもっと考えたほうがよい。【旧仙台地区：4】【秋保地区】
- ・子供の頃から集団資源回収に参加して、再利用可能なもののあることを知っておけば、資源物を大切に扱うようになるだろう。

1.8. その他

1.8.1. 自家処理

(自家処理したい)

- ・自家処理したいが近所が立て込んでいてできない。【旧仙台地区：2】
- ・今後、自家処理するよう努力します。【旧仙台地区】
- ・良きアドバイスをしてほしい。【秋保地区】
- (自家処理すべき)
- ・できるだけ自家処理するようにすればごみも少なくなると思う。【泉地区：2】
- 【宮城地区】【秋保地区】
- (自家処理しないでほしい)
- ・家が密集している所でごみを焼かれると、洗濯物が汚れたり、悪臭がしたり、火の子がとんできたりして迷惑。【旧仙台地区：2】【泉地区】【秋保地区】
- ・ビニール、プラスチック類が多く出回っているので自家処理は問題があると思う。【泉地区】
- ・条例等で「住宅街ではごみを燃やさないように」してほしい。【泉地区】

(その他)

- ・市の補助による家庭用のごみ焼却炉設置を復活してほしい。【旧仙台地区】
- ・市で焼却炉やたいひ作りのポリバケツを安く販売すればよい。【宮城地区】
- ・住んでいるところが農村地帯なので燃えるごみは自家処理ができる。【秋保地区】
- ・町内自治会でごみ集荷場を自主的に建設し処理している。【秋保地区】

1.8.2. ごみ処理業者

- ・し尿やごみの回収は行政でやってもらいたい。民間での回収はしないようにしてほしい。【旧仙台地区】
- ・ごみ処理は最小限度は仙台市が負担することにしてあとは民間に委託すればよいと思う。【泉地区】
- ・市の職員と民間の業者では、ごみ処理を行う場合、作業の内容やかかるお金などの差はどうか知りたい。【泉地区】
- ・旧宮城町ではごみ処理業者が1社しかなく、旧宮城町当局との汚いパイプで結ばれているのか、やたらと横暴だ。もう1社増やしてほしい。【宮城地区】

1.8.3. 営業用ごみ等

- ・営業用ごみの回収を別に行っていることはよい。【旧仙台地区】
- ・営業用のごみのだし方が悪い(水を切らず、口を開けて出すので不衛生)。【旧仙台地区】
- ・営業用ごみは別に集めると聞いているが、(家庭から出るごみといっしょに)出されている。徹底してほしい。【旧仙台地区：4】
- ・業務用ごみは、いろいろなものが入っていて、普通に出していると危ない。【旧仙台地区】
- ・注射針等の医療器具関係の捨て方をもっと厳重にしてほしい。【泉地区】

1.8.4. その他

- ・施設では古着がたくさん余って困っているそうです。【旧仙台地区】

- ・仙台市になって一年以上になりますが、いまだに私の近所では「泉市の回収袋」に入れて出しています。不思議で仕方ありません。【泉地区】
- ・猫のトイレの砂が回収されないので困っている。【宮城地区】
- ・資源回収車をまわしてほしい。【宮城地区】
- ・町内で「道路愛日」を設定して年3、4回掃除している。【秋保地区】

2. し尿処理の問題

2.1. 水洗化

(水洗にしてほしい)

- ・(市内全体を)早急に水洗にして欲しい。【旧仙台地区：25】【泉地区：4】
- 【宮城地区：3】【秋保地区：5】
- ・隣の家一軒だけがいまだにくみ取りです。商店が近く、食べ物やさんも隣です。朝くみ取りにこられるととても臭い。早く水洗にして下さい。【旧仙台地区】
- (水を流せる汲み取り式トイレにしてほしい)
- ・掃除の必要上、水を流せるくみ取り式のトイレにしてほしい。【旧仙台地区】
- (水洗トイレは本当に良いか?)
- ・大切な水を使うのはもったいない。もっといい方法を考えてほしい。【宮城地区：2】
- ・水洗トイレの流した水はどのように処理されているのか不安だ(環境に悪いのではないか)【旧仙台地区】

2.2. 汲み取り

(回数)

- ・現在の汲み取り回数で満足。【旧仙台地区】
- ・定期的にきてほしい。【秋保地区】【旧仙台地区】
- ・2人暮らしなので月1回の汲み取りは多い。2ヶ月に1回にしてほしい。【旧仙台地区】

(料金)

- ・料金がばかにならない。【秋保地区】
- ・地区毎に料金が違うことに矛盾を感じる。なんとかしてほしい。【宮城地区】
- (汲み取りする際のお願い)
- ・し尿処理の際に一声かけてくれれば、同時に便槽の掃除ができるのでありがたい。【旧仙台地区】
- ・くみ取り後は必ずウジ殺しと消毒剤を入れるよう指導して欲しい【泉地区】
- ・トイレが家の中と外と2つあるのですが、いつも中しか汲み取りません。外も汲み取って行って下さい。【旧仙台地区】
- (その他)
- ・遠い所から1軒だけくみ取りにきてもらうのは考えさせられます。【秋保地区】

2.3. 汲み取り業者

- ・ご苦労さま。【旧仙台地区：2】
- (汲み取りの時に迷惑している)
- ・ホースが短いといって花壇の中を通して汲み取っている。大変迷惑。【旧仙台地区】
- ・庭の草花を倒す。注意してほしい。【旧仙台地区】
- ・私の家の通路に車を入れて他の家4軒分の汲み取りをしている。【旧仙台地区】
- ・食事中にこないでほしい。時間を考えてもらいたい。【宮城地区】
- (汲み取り業者の態度が良くない)
- ・旧秋保町では汲み取り業者が1社しかなく、やたらと横暴です。もう1社増や

- してほしい。【秋保地区：2】
- 独占企業的で、連絡してもすぐ来ないし、強気な対応がひどい。【宮城地区】
- 【秋保地区】
- 挨拶をしても返事が無い。気分が悪い。【旧仙台地区】
- 業者がすぐに来ない。【秋保地区】【宮城地区】
- 定期的に来てくれる業者を指名して部落の人が皆分かるようにしてほしい。以前は勝手気ままな業者がいたが、業者とも明るい付き合いをしたい。【秋保地区】
- 業者と対立（遅れてきた上、4割も割増し料金を取られた）したので現在では自分でくみ取りをせざるを得ない。【秋保地区】
- (その他)
- 秋保地区では市のし尿処理は事業的にはしていないのでしょうか。【秋保地区】

2.4. 下水道

- (下水道の完備を早急に)
- 下水道の完備を早急に。(家庭排水も河川の汚染の原因となる)【旧仙台地区：20】【宮城地区：9】【秋保地区：6】
- 下水道の工事を予定通りして下さい。【旧仙台地区】
- 下流地区だけ下水工事をしても上流から垂れ流されては水質はよくなる。【宮城地区】
- (下水道の普及に賛成しかねる)
- 下水道は衛生的になるが、費用がかかる。【秋保地区】
- 下水道の普及が環境保全につながるとされています。確かに川は汚れませんが海が汚れます。【宮城地区】
- (その他)
- 地区毎に共同汚水処理施設を作ってほしい。【宮城地区】
- 下水の処理状況について見直してもらいたい。(自家ではたんぼの用水路に流している)【宮城地区】

2.5. その他

- し尿は肥料等に再利用できないのか。【旧仙台地区】【泉地区】【宮城地区】

3. その他の問題

3.1. ごみ問題一般

- (ごみと環境破壊)
- ごみは増加する一方なので、このままでは環境破壊につながる。【旧仙台地区】
- 私たちが出したごみによって環境が汚染されるのはいやだ。【旧仙台地区】
- (過剰包装、使い捨て商品はやめるべき)
- 包装に無駄な紙や包装バック、ラップ等を使いすぎてると思う。過剰包装をやめるべき。【旧仙台地区：10】【泉地区：6】【宮城地区：2】【秋保地区】
- 昔のように買物かごで買物ができるように、計り売りや、籠に入った売り方をすれば、過剰包装も必要ない。お仕着せのラッピングにはうんざり【泉地区】
- お中元等は無駄な包装が多くごみのもとであり、やめるべきだ【泉地区：2】
- 使い捨て商品があふれているため、モノの大切さが分からなくなっていると思う。【旧仙台地区】
- プラスチック容器は使わないようにすべきだ(もしくは再利用するか)。【旧仙台地区】【秋保地区】
- わりばしは法律で禁止してほしい。【旧仙台地区】
- 森林破壊とわりばしの関係を考えるべき【泉地区】
- 文化生活を行うに当たり、体裁に気を付けすぎることになるごみが多い。それ

- を処理するにも金がかかる。このような無駄をなくす改善策を、行政指導の上に考え実行したらよいと思う。【秋保地区】
- 新聞広告や郵便ポストに入っている広告、ダイレクトメールが多すぎる。資源の無駄だし、道のあちこちに散らばって汚れるし、ごみが増える。【泉地区：2】【宮城地区】
- (空かん・空きびんについて)
- 空かん・空き瓶のポイ捨てをなくすようPRしてほしい。【旧仙台地区：6】【宮城地区】【秋保地区】
- 空かんを各メーカーが有料で買い取ることを義務づけるようにすればよい。【宮城地区】
- 缶ジュースのプルトップを捨てないように注意してほしい(メーカー等への指導も)。【旧仙台地区】
- (不法投棄)
- 河川へのごみの不法投棄をなんとかしてほしい。【旧仙台地区】
- 車からのごみの不法投棄が多い。【秋保地区】
- (教育が必要)
- ごみを少なくする教育が必要だ。【旧仙台地区：2】
- 路上や行楽地などにごみを捨てないように、家庭や学校で教育してほしい。【旧仙台地区：2】【秋保地区】
- 学校で環境についての道徳的教育を一貫して進めて行くべきだと思います。【宮城地区】
- (他の地域へのごみの依頼)
- 都会のごみを東北の県に捨てていたことが問題になっていたが、目先の解決をしようとしても、もうだめな時代がきている。【旧仙台地区】
- 松島町鹿島島方面に横浜方面から出た灰にしたごみを運んでうめる土地買収が行われ、現在進行中だが、なぜ、宮城県で許可し引き受けたのか不思議である。【泉地区】
- 処理しきれないごみを他の地域へ依頼することは仕方の無いことだ。【旧仙台地区】
- (各自が自覚しなければならない)
- 一人一人がごみ処理を含む環境問題のことを考えるべきだ。【旧仙台地区：8】【泉地区：2】【宮城地区】【秋保地区】
- わが身に降り掛からなければ、ごみや環境についての意識をもち得ない人間が多い。【旧仙台地区】
- ごみの捨て方一つにしても、各自の自覚が必要で、いくら広告や広報で情報を流しても一人一人が決まりを守らなければどうにもならない。【旧仙台地区】
- 各自がごみを出さない努力をすればよい。【宮城地区】
- 「自分の家さえきれいなれば」等と思う人が一人でも減ってくれともう少し住みやすくと思う。【旧仙台地区】
- (その他)
- 物も自然も、共に生きていく上で重要な資源だから、使えるものはごみにせず、大切にしたい。【旧仙台地区：2】
- ごみを減らすには根本的に社会を変えなくてはだめ。【旧仙台地区】
- 現在の生活の改善、意識改革をしなければ、ごみは増大するばかりだと思う。【秋保地区】
- 市民にはごみ処理が税金で賄われているという意識がないから、どんどんごみを出すのだろう。お金を取るなどの厳しい制限が必要。【旧仙台地区】
- ごみ問題に関して、行政側の長期的、総合的な解決策を期待する。【旧仙台地区】
- 若林の温水プールのように、ごみを燃やした熱を利用する方法を考えればよい

と思う。【旧仙台地区】

- ・(ごみ処理・し尿処理)工場や埋め立ての問題も大変だと思う。【秋保地区】
- ・観光客が無闇にごみを捨てていく。【宮城地区】

3.2. 環境問題一般

(環境を大切にすべきだ)

- ・かけがえのない地球をみんなで守り育てて行きたいと思います。【旧仙台地区】
- ・便利さと引き換えに地球全体のバランスが崩れ、それが自分たちの身にふりかかると思うと恐ろしく感じます。【旧仙台地区】
- ・楽しい人生を過ごすためには、生活環境を守っていくことが絶対に必要だ【泉地区】

(未来への不安)

- ・環境問題はいま現在の視点だけではなく、未来にまで目を向けて努力していく必要があると思う【泉地区】
- ・現在の環境の破壊が、子供たちやその次の世代に影響するのではないかと心配【泉地区：2】【秋保地区】

(経済よりも環境を)

- ・自然や生活環境の保護は、社会の繁栄より優先されるべきものだと思う。【宮城地区】
- ・経済優先でなく環境保全や教育費を充実させてほしい。【宮城地区】
- ・生活の便利さと、汚染・破壊は表裏一体であるということをもっと考えて行くべきだと思う。【旧仙台地区：3】
- ・次の世代のためにも、少々不便があっても環境を大事にするよう考えていくべきだ。【旧仙台地区：3】【宮城地区】

(全国的に環境問題を考えるべきだ)

- ・国家政策で大量生産、大量消費を考え直すときだと思う。【旧仙台地区】
- ・政治家や大企業の経営者に、地球環境汚染について真剣に考えてもらいたい。【旧仙台地区：2】
- ・外国では著名人が積極的に環境問題について訴えかけている。日本でももっと新聞やテレビなどで環境問題を取り上げるべきだ【泉地区】

(現在の問題点)

- ・合理性や美観に重点をおいた商品が多い。もっと安全性を考慮し自然が損なわれないことを第一にして欲しい【泉地区】
- ・自分で始末しにくいすむ今の体制が環境汚染を進行しているように思われる。【宮城地区】

(これから環境問題を考えます)

- ・環境汚染は自分と関係無いところで起きていると思っていたことを反省します。【旧仙台地区】
- ・もっと社会問題や環境問題に関心を持つべきだなあと考えさせられました。【旧仙台地区】【宮城地区：2】

(法的規制をすべき)

- ・開発には自然破壊につながらない規制を強化してほしい。【秋保地区】
- ・環境を守るために厳しくいらいの法的規制を作ってもやらなくてはいけない【旧仙台地区：5】

(スパイクタイヤについて)

- ・スパイクタイヤを規制しすぎると事故が多くなると思う。【旧仙台地区】
- ・スパイクタイヤの規制も良いが、それを使用しない場合の安全製の確保が重要【泉地区】
- ・スパイクタイヤの粉塵をなんとかしてほしい。(道路がすりへると道の両端が盛り上がり、自転車で乗ってる人などが危ない。)【旧仙台地区】

- ・スパイクタイヤのために雪の上が真っ黒になっているのを見ると、こんな汚い空気を吸っているのだなと思い、とても恐ろしい。【泉地区】

(水質汚濁について)

- ・化成油脂の不法投棄による河川の水質汚濁が進んでいる。法で規制するなりしてほしい。【旧仙台地区】

- ・農業用水堀に家庭用排水が流れ込んでいるが、水質汚濁につながらないのか。【旧仙台地区】

- ・家庭排水の処理が為されていないため川に流れている。【秋保地区】

- ・家庭でも、きちんとした油の処理・生ごみの水切り・洗剤を必要以上に使わない等、自分でできることは気を付けるようにすればよいと思う。【旧仙台地区】【秋保地区】

- ・汚水処理について一般家庭への対処法を指示教示してもらいたい。【宮城地区】

- ・いくら水洗トイレや下水道を通して、汚染物質を作らない、使わない方向へと向かわないと汚染は蓄積されるばかりだ。【宮城地区】

(地球規模の環境問題について)

- ・フロンガスを発生するものの廃止を直ちに実行して欲しい【泉地区】【宮城地区】

- ・オゾン層の破壊、大気汚染、海洋汚染、海底汚染(プランクトンの死滅)、食品公害、大地汚染(肥料の薬)、洗剤、…心配なものはきりがありませんが具体的な活動をしてははっきりした結果をだすよう切に望みます。【旧仙台地区：2】

- ・フロンガスや他の有害廃棄物など、長い時間の経過後に現れる問題についてもっと真剣に考える必要がある【泉地区】【秋保地区】

- ・核廃棄物は産業廃棄物共々これから出さない方向に向かうべきだ。【宮城地区】

- ・核廃棄物の処理などは世界的規模で考えてほしい。【旧仙台地区】

(仙台市の開発について)

- ・「グリーンフェア仙台」について。すばらしい自然を壊して、木や花を植えて多数の人々にみえていただくことになんの意味があるのでしょうか。【泉地区】

- ・仙台市は、宅地の開発などで便利になった反面、緑地や自然(山林など)が減少しつつあることは環境面からの大きな問題と思われる【泉地区】

- ・仙台駅からみる丘陵の乱開発よりもっと自然のスペースを広く保全すべきだと思う。【旧仙台地区】

(その他)

- ・環境衛生は日常生活に密着した重要な行政だと思う。【旧仙台地区】

- ・今後、仙台市の生活環境がよくなることを願う。【旧仙台地区：2】【宮城地区：2】

- ・政令指定都市になって、仙台市は環境面についても今まで以上によい都市作りを力を入れていて感心する。【旧仙台地区】

- ・道路や公園・河川などに対する環境汚染への対策の遅れに対して歯がゆさを感じている【泉地区】

- ・環境問題についての主婦層へのアピールが足りない【泉地区】

- ・身近なところから環境を考えて行ける場があればいい【泉地区】

- ・全ての人が平和に安全に暮らすにはどうしたらよいか考える必要がある。【宮城地区】

- ・私の家ではスパイクタイヤの粉じん公害や、新幹線の騒音も直接には関係無い。【旧仙台地区】

3.3. 市への要望

3.3.1. 市政一般

(税金について)

- ・仙台市は全国と比べても税金が高く、生活が苦しい。議会等による速やかな解決を望む。【旧仙台地区】
 - ・もっと住民のために税を使ってほしい。【旧仙台地区】
 - ・地区によって環境に差がある
 - ・仙台市は中心部と郊外では環境造りの力のいれ方が違う。不公平だ(市ガスの供給はなく、下水の配管も無い)。【旧仙台地区：6】【宮城地区】【秋保地区：2】
 - ・地区によって環境に差があると思う。【泉地区】
 - ・(情報の伝達)
 - ・他の土地からの転居者に町内会の決まりが十分に伝わっていないと思う。【泉地区】
 - ・市の広報を入手する方法がわからない。【旧仙台地区】
 - ・(その他)
 - ・早く区画整理事業を決めてほしい。周囲の土地が荒れて困る。【旧仙台地区】
 - ・先日、舗装工事が行われたのですが家の前に土をおいていきました。工事が終わったらちゃんとかたづけするようにしてください。【旧仙台地区】
 - ・路上でのくわえタバコの禁止及びバス停や歩道などへの灰皿の設置。【旧仙台地区】【宮城地区】
 - ・車から吸殻を捨てた場合、道路交通法による減点及び罰金制度の制定。【旧仙台地区】
 - ・アンケートとってるひまがあったら細かい行政サービス(都市ガス、水洗便所)を望む。【旧仙台地区】
 - ・県・市議員が自分の利益のみの考えを変えること。【旧仙台地区】
- 3.3.2. 身近な環境
(動物の被害)
- ・野犬、野良猫、害鳥の駆除をお願いします。【旧仙台地区：2】
 - ・飼犬や飼い猫のフンの処理を飼い主に徹底させてほしい。【旧仙台地区：4】【泉地区】
 - ・犬のふんの害で困っている【泉地区：2】
 - ・(空き地・空き家の問題)
 - ・近所の空き地は不快な虫や蛇はでるし、火事も心配。土地の持ち主に連絡して衛生面に注意してもらいたい。過疎の住宅地のパトロール等もお願いします。【旧仙台地区】
 - ・空き地の除草を考えてほしい。【泉地区】
 - ・市営住宅で空き家が増えており、子供の非行の場所にもなりかねない。今後どうするか広報などで予定をはっきり聞かせてほしい。【旧仙台地区】
 - ・(水質汚染)
 - ・県警アバート機動隊宿舎ができてからきれいだった広瀬川に汚物が流れるようになって汚くなった。なんとかしてほしい。【宮城地区】
 - ・七北田川のグリーンフェア地区下流は水が汚い。仙台川下流は特に汚い。【旧仙台地区】
 - ・水の森の沼の汚さに驚きました。家庭排水がそのまま流れこんでいるようですが…【旧仙台地区】
 - ・湧きにゴルフ場があるが、そこから出る排水が湯元水道に流れ込んでいる。安心して水を飲めるように調査してほしいが、どこで調べてもらえるか。【秋保地区】
 - ・(緑を守って欲しい)
 - ・家のまわりの緑が少なくなってきた。緑地帯をつくって下さい。【旧仙台地区】
 - ・仙台市西部の山間部の自然林を守ってほしい。【秋保地区】

- ・(秋保地区の)乱伐がひどい。環境にも影響を与えそうだし、農家の水の確保が困難になりそうで怖い。【秋保地区：2】

3.3.3. 水道・ガス (水道)

- ・住宅の建設許可を出すときは上下水道の設備が完全な所にしてほしい。【旧仙台地区】
- ・水道の鉄粉には困っている。水質調査などをやっているのかお聞きしたい。また、まずいのは我慢するとしてもせめて清らかな水にしてほしい。【旧仙台地区】
- ・家が多くなるにつれ水の使用も多くなり、朝夕の食事時には水のが悪く支障を来している。【秋保地区】
- ・上水道の完備を早急に。【秋保地区】
- ・(ガス)
- ・都市ガスの工事が遅れている、早く都市ガスにしてほしい。【旧仙台地区：2】

3.3.4. 道路 (道路が狭い)

- ・道路が狭い。清掃車が止まると車が通れない。【旧仙台地区】
- ・子供が多いのに道路が狭い。改善してほしい。(幸町)【旧仙台地区】
- ・(道路の整備が良くない)
- ・道路が舗装されてないので雨が降ると路面が川になり道路が掘られ車が大変だ(自由が丘バス停より南に100m位の所)【旧仙台地区】
- ・歩道車道の舗装整備が悪く、車を運転していても歩いていても非常に危険が多い。【旧仙台地区】
- ・(その他)
- ・道路工事が多すぎて、頻繁に交通渋滞が起こる。【旧仙台地区】
- ・道路を掃除して出てきた土や草をどう処理すればよいのか。【旧仙台地区】

3.3.5. 細かいお願い

- ・使用済みの乾電池の回収を販売店へ指導してほしい。【秋保地区】
- ・60才以上の高齢者の働く職場として環境事業局は適切だと思うが、そのことについてアンケートを取ってみてはどうか【旧仙台地区】
- ・市営住宅(簡2)に住んでいます階段が高く、膝に負担がかかって老人には向きません。また、湿気が多く、布団を干したくても二階の窓が片方だけなので、敷布団一枚しか干せず困っています。【旧仙台地区】
- ・農家では古い機械の始末に大変困っている。環境事業局から営業所に引き取るように呼びかけてほしい。【秋保地区】
- ・団地の汚水管がいたんで困っているが、どこに修理を依頼して良いか分からない。安心して依頼できる業者を当局で指示してほしい。【旧仙台地区】
- ・ごみが流れ込むので、どぶにふたをしてほしい。【泉地区】

3.3.6. 考え・感想

- ・このような意見をいえる機会がほしかった。【旧仙台地区：2】
- ・学生寮では市の広報をみたことない。【旧仙台地区】
- ・自転車の放置に代表されるように、モノを粗末にする風潮がある。1人1人が自分に厳しくしっかりして行くべきだと思う。【旧仙台地区】
- ・仙台はとても住みよい所だと思います【泉地区】
- ・大変なアンケートに協力したのに粗品が実用的でない。【泉地区】
- ・農家に嫁がこない。【秋保地区】

3.4. 調査

3.4.1. 調査全般

- ・(市民の意見を聞いてほしい)
- ・行政による上からの発想でなく、市民による下からの声を聞いてほしい。【旧仙台地区】
- ・市民の声をよりよく取り入れていくことが大切だと思う。【旧仙台地区：4】
- ・他にも、市民の意見をきいて市政の資料にしてください。【旧仙台地区】
- (調査結果を役立ててほしい)
- ・住みよい町作りに役立つことを願う。【旧仙台地区：9】【宮城地区：4】
- ・このアンケートを市政の向上に役立ててほしい。【旧仙台地区：3】【泉地区：8】
- ・困っていることや改善してほしいことは結構あるので、こういったアンケートはもっとやるべきだと思う。【旧仙台地区：2】【泉地区】【秋保地区：3】
- ・このアンケートによりごみ集積所がきれいになるようお願いします。【旧仙台地区】
- ・この調査により少しでも生活がよくなればと望みます【泉地区】
- (結果を公表してほしい)
- ・結果を市政便りなどで発表するか、資料として配布してほしい。【旧仙台地区：3】【泉地区：2】
- ・結果をどんな形で公表するのか知らせてほしい。【旧仙台地区】
- (調査がきっかけとなって考えた)
- ・仙台を、日本を美しく保つために一人一人が心がけて行動しなければならないのだと、今回のアンケートを書きながら改めて考えさせられました。【旧仙台地区】
- ・生活環境の問題について、このアンケートにおいて自分なりに再考でき良かった。【旧仙台地区】【秋保地区】
- ・この機会に地域の住民とも語り合いよりよい町作りをしたい。【秋保地区】
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。【旧仙台地区：2】【宮城地区】【秋保地区】
- ・この調査に答えているうちに自分たちの出すごみがいかに環境汚染につながっているかということを知ることができました。【旧仙台地区】
- (抽出方法について)
- ・去年も同じようなアンケートがきた。本当に無作為抽出なのか。【旧仙台地区】
- ・いままでも数度にわたり調査対象となっております。抽出方法の再検討をお願いします。【旧仙台地区】
- (回収方法について)
- ・訪問して回収するという事は、完全にプライバシーの保護が成されるとは考えにくい。【旧仙台地区】【泉地区】【宮城地区】
- ・回収方法は郵送(料金受取人払い)にすべきだ(大変だし、日中留守の場合がある)。【旧仙台地区】【泉地区：2】
- ・時間帯を考えて回収してほしい。【泉地区】
- ・回収はスムーズでした。【泉地区】
- (調査の対象者について)
- ・私は寄宿舎住いのため、ごみは寮内で処理されており、そういう人間も調査対象とするのはおかしい。【旧仙台地区】
- ・私は1人暮らしの目の見えない老人です。他人に書いてもらっては、私の言いたいことが正確に伝わるかどうか分かりません。もう少し、調査対象を調べて下さい。【旧仙台地区】
- ・独身なので多少無理がある。【秋保地区】

(自家処理のために答えにくい、関係ない)

- ・全部自家処理しているのでこの調査は関係無い。仙台市の中心部と一緒にしないでほしい。【宮城地区】
- ・農業を営んでいる人たちには当てはまらない事が多い。【秋保地区】
- ・自家処理をしているので、答えにくかった。【秋保地区】
- (調査について事前に連絡すべきだ)
- ・調査依頼の時は、事前に連絡するのが常識である。突然依頼するのは官僚的であり、配慮がほしい。市民とのコミュニケーションを考えればなおさらである。【旧仙台地区】
- ・調査票が突然きてびっくりした。【旧仙台地区】
- (今後も調査に協力したい)
- ・また何かありましたらいつでも協力致します。【旧仙台地区：3】
- ・このようなアンケートで社会がよくなるのなら時間の許す限り協力したい【泉地区】
- (こんな調査はすべきではない)
- ・この調査自体がごみ生産になり、経費出費も大だと思う。【秋保地区】
- ・こんなアンケートはいらない。【秋保地区】
- ・時間と税金の無駄使いだと思う。【旧仙台地区】
- (調査はこうした方がよい)
- ・数多く階層を広げて実施し種々の意識の把握をしたほうがよいと思う。【旧仙台地区】
- ・全市民対象にしたほうがよい。【泉地区】
- ・町内の細部を調べるアンケートもしてほしい。【旧仙台地区】
- ・このアンケートを万単位で配布すればもっと良くデータがでるのではないか【旧仙台地区】
- ・ごみなどの質問に意識をもたせるために、年に一度程度全家庭にアンケートを提出させた方がよい【旧仙台地区】
- ・ごみの問題は町内会毎に全世帯を対象にアンケート調査を行い、それをもとに市で検討すればよいと思う。【旧仙台地区】
- ・年2回くらい調査をして住みよい環境にしてほしい。【泉地区】
- ・年に1度位はいいですね。【秋保地区】
- (迷惑している)
- ・よそのアンケートを電話でとられて嫌になっている【泉地区】
- ・忙しいので何度も調査をやらせないで欲しい【泉地区】
- (その他)
- ・大家さんに紙と生ごみは一緒にだしてよいといわれていたのに、この調査では別にしなければならないことがかかれていました。よって、答えられない部分があったことをお詫びします。【旧仙台地区】
- ・内容がまじめなのでまじめに答えた。【旧仙台地区】
- ・結果が楽しみです。【旧仙台地区】【宮城地区】
- ・思想的調査の気がする【泉地区】
- ・アンケートの目的が分からない【泉地区】
- ・封筒に「アンケート在中」と大きく書いてほしかった。【泉地区】
- ・調査員は礼儀正しく感じがよい【旧仙台地区】
- ・有意義な調査、ご苦労様。【旧仙台地区：4】【泉地区：2】【宮城地区】【秋保地区】
- ・今後も続けてください。【旧仙台地区】

3.4.2. 調査票

- (趣旨と関係ない項目がある)
- ・アンケートの趣旨と関係ない質問がある。【旧仙台地区：4】【宮城地区：2】

- ・ごみ以外の問題は何かを探ろうというのか理解できない。(何か特別の効果があるのか)【旧仙台地区：4】【泉地区：2】【宮城地区】
 - ・環境とは無関係の社会や職業についてのアンケートをいれているのは、東北大学の行動科学研究室の都合なのか?【旧仙台地区】
 - (質問が多すぎる、難しすぎる)
 - ・非常に重要なアンケートだとは思いますが、同じような質問が多すぎる。充分な結果を得られないのではないか。【旧仙台地区】
 - ・質問が量的に多い。【旧仙台地区：2】【泉地区：6】【宮城地区】
 - ・内容をもっと簡単にしてほしい。【旧仙台地区：3】【泉地区：2】【宮城地区】
 - ・質問内容が高度だ。(専門的用語が目につく)【旧仙台地区】【泉地区】
 - (時間がかかった、うんざりした)
 - ・時間がかかりすぎる。【旧仙台地区】【泉地区】
 - ・疲れるアンケートでした。【泉地区】
 - ・面倒くさい。【旧仙台地区】【泉地区】
 - (もっとよい方法はないのか)
 - ・もっと効率的なアンケートを希望します【泉地区】
 - ・もっとよい調査方法はないのか。【旧仙台地区】
 - (こういう質問内容にしてほしかった)
 - ・「1日どれくらいテレビでニュースを見るか」について。私はテレビはもってない。テレビ&ラジオにしてほしかった。【旧仙台地区】
 - ・「家庭のごみがどの様に処理されているか」や「ごみ処理の費用や土地や汚染の程度」についても質問してほしかった。【旧仙台地区】
 - (こうしてほしい)
 - ・もっと楽しく書いていける方式にして欲しい【泉地区】
 - ・もっと意見をかくスペースがほしい。【秋保地区】
 - (項目毎の問題点)
 - ・環境問題についての質問は、仙台市としてか日本社会として答えるのか迷った【泉地区】
 - ・職業の分類が理解しにくい
 - ・適当に○をつけたり、分からずにつけたりする人が多いと思います【泉地区】
 - ・ボタン型乾電池はそんなに一般的ではなく、それを使ったことがあるかを聞かずに、質問にいれるのは無意味な結果をもたらすだけではないのか【旧仙台地区】
 - ・分別収集の意見についての上から3つの意見は適当でない【泉地区】
 - (質問形式の問題点)
 - ・質問文の作り方が全般的に的を得ていなかったと思う。【泉地区】
 - ・質問が継続的でなく、頭の切り替えが大変だった。【宮城地区】
 - ・調査票が、調査する側の意向に沿うよう求められている面がある。【宮城地区】
 - ・結果を役立てようとしているにしては、ごみ等に関する設問が少ない。【旧仙台地区】
- 3.5. その他
- ・運転マナーが悪い【旧仙台地区】
 - ・環境問題も含め、住みやすい社会にするためには、青少年の教育を根本的に改正することが必要。【旧仙台地区】
 - ・アパート、マンションの住人の真夜中の騒音に困っている【旧仙台地区】
 - ・「ごみ戦争 粗大ごみまで かり出され」「とりかえの きかない女房 きょうもおり」【旧仙台地区】
 - ・粗品、歳暮、中元等の処理の方も困っている。【宮城地区】
 - ・大人から子供までマナーが悪い【宮城地区】【秋保地区】
 - ・構造物にスプレーで落書きする人がいる。【宮城地区】

【付 録】

1. 調査票・・・・・・・・全18頁
(実査ではB4版サイズを使用)
2. 単純集計表・・・・・・・・全28頁

調査協力のお願ひ

仙台市環境事業局では、みなさんの生活をより快適に保つために、ごみ等に関する意識調査を行うことになりました。

つきましては、あなたのお宅にも調査のご協力をいただきたく、よろしくお願ひいたします。

調査対象者は、市内の全世帯から2,300世帯を無作為抽出（くじ引きのような方法）で選びました。あなたのお宅が選ばれたのは何ら特別な理由によるものではなく、いわば偶然の結果です。何の心配もなさらなくて、ありのまま回答して下さい。

調査にあたりましては、生活環境研究会（東北大学文学部行動科学研究室内）に協力をお願いしました。なお、回答はすべて統計的に処理され、個人または世帯ごとのプライバシーが問題になることはありません。又、無記名ですから、後で個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

調査結果は、取りまとめの上公表すると共に、今後の仙台市のごみ等に関する施策を総合的に検討するための資料として活用されます。

調査の主旨をご理解の上、ぜひともご回答下さるようお願い申し上げます。

平成元年7月14日

各 位 様

仙台市環境事業局

お問い合わせ先

〒980 仙台市青葉区本町二丁目16-10
(仙台大同生命ビル10階)

仙台市環境事業局管理課

電話 261-1111 内線3414

生活環境（ごみ等）に関する市民意識調査

平成元年（1989年）7月

調査主体：仙台市環境事業局

調査協力：生活環境研究会

（東北大学文学部行動科学研究室内）

お 願 ひ

この調査の中では、ご家庭での生活の中から出されるごみの収集に関する実態やご希望など、かなり具体的なこともお聞きすることになります。そこで、

1) 1人世帯については、もちろん御本人に、

2) 2人以上の世帯については、家事を主に担当しておられる方にご回答いただきたいと考えております。

なお、調査についての疑問やご意見などにつきましては、下記にご連絡ください。

連絡先： 仙台市環境事業局管理課（261-1111 内線3414）

*** 回収について ***

ご記入頂いた調査票は、そのままお宅に保管し、学生調査員がお宅におうかがいした時にお渡しください。回収期間は次の通りです。

回収期間：7月20日（木）から23日（日）頃まで

なお、回収の際に、この調査に対する感想などお聞かせいただければ幸いです。

*** 記入上の注意 ***

1. 問への回答は特に指示のない限りあてはまる番号1つに○をつけてください。
2. ただし、「あてはまるものをいくつでも選んでください」といった指示のある問については、その指示にしたがってください。
3. なお、それ以外にも枠内に自由に記入していただく問がいくつかあります。そのような場合には、なるべく具体的かつ明確に記入してください。
4. 筆記具は、鉛筆、ボールペンなど何でもかまいませんが、必ず黒色のものをお使いください。また、回答を訂正するときには、前の答を消しゴムでしっかり消すか、×印をつけるなどして、訂正したことをはっきり示してください。
5. すべての問に回答し終わったら、面倒かもしれませんが初めに戻って、記入もれや書きまちがいがいかどうか、よく確認をしてください。
6. この調査は試験やクイズではありませんから、正しい答えや誤った答えがあるわけではありません。あなた自身のお考えをありのままに記入してください。

それでは、ご協力のほど、よろしくお願ひします。

では、早速ですが、はじめにごく一般的なことについて、いくつかおうかがいします。

問1 あなたは仙台市（旧泉市・宮城町・秋保町を含む）に何年くらいお住まいですか。

 年

問2 可能かどうかは別として、あなたは、これからも仙台市に住んでいたいと思いますか。

- 1 ずっと仙台市に住んでいたい
- 2 どちらでもかまわない
- 3 いずれ仙台市外に移りたい

問3 この中に、今の日本社会を表すのにふさわしいと思う言葉がありましたら、いくつもあげてください。あてはまるものの番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| 01 孤独 | 05 身勝手 | 09 混乱 | 13 安定 |
| 02 退廃 | 06 不公平 | 10 繁栄 | 14 拘束 |
| 03 連帯 | 07 無関心 | 11 安全 | 15 その他 |
| 04 平和 | 08 過同調 | 12 自由 | () |

問4 一般的にいて、今の日本社会は公平だと思いますか。あなたの気持ちは、次のうち、どれに近いですか。

- 1 公平だ 2 だいたい公平だ 3 あまり公平でない 4 公平でない

問5 一般的な評価は別として、あなたは、以下に示したような不公平が、今の世の中にあると思いますか。あると思われるものを、いくつでも選んで番号を○で囲んでください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 01 性別による不公平 | 06 家柄による不公平 |
| 02 年齢による不公平 | 07 地域による不公平 |
| 03 学歴による不公平 | 08 思想・信条による不公平 |
| 04 職業による不公平 | 09 人種・民族による不公平 |
| 05 貧富による不公平 | 10 その他の不公平 () |

問6 あなたは環境問題についてどのくらい関心がありますか。

- 1 非常に関心がある
- 2 まあ関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない

問7 日本の経済発展と資源や生活環境との関係についてA、B二つの意見がありますが、あなたのお考えに近いのはどちらでしょうか。

- A. 自然や生活環境を守ることも大事だが、日本の経済が停滞するのは望ましくない。
- B. 日本経済の発展も大事だが、そのために自然や生活環境がそこなわれるのは望ましくない。

- 1 Aに近い
- 2 どちらかといえばAに近い
- 3 どちらかといえばBに近い
- 4 Bに近い

問8 環境に関する諸問題の中で、あなたが特に重要だと思う問題はなんでしょうか。最も重要だと思うものから順に、3つ選んで、その番号を記入してください。

- 1 フロンガスによるオゾン層の破壊
- 2 乱伐（らんばつ）による森林の減少
- 3 スパイクタイヤによる粉じん公害
- 4 地球の温暖化
- 5 河川・海洋・湖沼の水質汚染
- 6 緑地の砂漠化
- 7 有害廃棄物の処理
- 8 その他（具体的に)

1番重要

2番目に重要

3番目に重要

問9 では、あなた自身の関心とは別に、この中で新聞で重要な問題として取り上げられているものはなんでしょう。最も重要な問題として取り上げられているものから順に、3つ選んで、その番号を記入してください。

- 1 フロンガスによるオゾン層の破壊
- 2 乱伐（らんばつ）による森林の減少
- 3 スパイクタイヤによる粉じん公害
- 4 地球の温暖化
- 5 河川・海洋・湖沼の水質汚染
- 6 緑地の砂漠化
- 7 有害廃棄物の処理
- 8 その他（具体的に)

1番重要

2番目に重要

3番目に重要

問10 上であげていただいた問題の解決に役立つことでお家で実行なさっていることがありましたら、いくつでも選んで番号に○をつけてください。

- 1 フロンガスの入ったスプレーを買わないようにしている
- 2 料理に使った油を流しに捨てないで処理している
- 3 スパイクタイヤをはかないようにしている
- 4 電気・ガスなどの省エネルギーに努めている
- 5 紙をムダ使いしないようにしている
- 6 環境保護に関する団体等に入って活動している
- 7 その他(具体的に)
- 8 とくに実行していることはない

次に、ごみについてのことをうかがいます。ここでごみというのは、ふつうの家庭生活から出るごみのことです。お家で商売や工場などの事業を行っているときは、そこから出るごみは除いて考えてください。

問11 お家でふだんごみを集積所(またはコンテナボックス)におもに運んでいる方の年齢と性別を教えてください。それぞれ一つに○をつけてください。

- 1 12歳以下
- 2 13～18歳
- 3 19～64歳
- 4 65歳以上
- 5 家族以外の人(住居の管理人など)が運んでいる

- 1 男
- 2 女

問12 あなたの家から、あなたがいつも利用しているごみの集積所(またはコンテナボックス)までは、どのくらいの距離(道のり)ですか。

- 1 10m未満
- 2 10～29m
- 3 30～49m
- 4 50～99m
- 5 100m以上

問13 ごみ集積所(またはコンテナボックス)の設置場所について、どのように感じていますか。

- 1 もっと近くにあった方がよい
- 2 今のままでよい
- 3 もっと遠くにあった方がよい

問14 ごみ集積所(またはコンテナボックス)の状態は、どうなっていますか。

- 1 きれいになっている
- 2 やや汚い
- 3 汚い

問15 あなたのところのごみ集積所では、犬、猫、カラスなどの被害がありますか。あれば、いくつでも選んで、番号に○をつけてください。

- 1 犬の被害がある
- 2 猫の被害がある
- 3 カラスの被害がある
- 4 その他の動物の被害がある(具体的に)
- 5 動物による被害はない

問16 ごみ集積所(またはコンテナボックス)を掃除しているのは誰ですか。

- 1 そこを利用している人達が掃除している
- 2 集積所の近くの人だけが掃除している
- 3 管理人・不動産業者・清掃業者等が掃除している
- 4 その他(具体的に)
- 5 掃除しているのは誰か知らない
- 6 ほとんど掃除されていない

問17 あなたのご近所では、通常のごみはいつごろ出す家が多いですか。

- 1 コンテナボックスなので、いつ出してもよいことになっている
- 2 ほとんどすべての家が、収集日に集積所に出している
- 3 前日に集積所に出している家もある
- 4 前日に集積所に出している家の方が多い
- 5 わからない

問18 では、お宅ではいかがですか。

- 1 コンテナボックスなのでいつ出してもよいことになっている
- 2 必ず収集日に集積所に出している
- 3 とときどき前日に集積所に出すこともある
- 4 たいていは前日に集積所に出している
- 5 収集日に関係なく、たまったら集積所に出している
- 6 (アパート・マンションの管理人など)他人が出しているのかわからない

問19 お宅では、同じごみ集積所（またはコンテナボックス）を利用している方たちと、どの程度おつきあいをされていますか。もっとも近いと思われるものに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1 顔を知っている人もあるが、あいさつはしない |
| 2 あいさつをする人もあるが、親しく話してはいない |
| 3 親しく話をする人も少しはいる |
| 4 親しく話をする人が多い |

次に、ごみの収集回数についてお尋ねします。収集回数が多いほど、ごみを出す時には便利ですが、その分よけいに費用がかかります。そしてその費用は、市民の皆様が納める税金でまかなわれるわけです。そのような点を考慮してお答えください。

問20 お宅では、現在どれくらいの回数ごみを出していますか。ごみの種類ごとにお答えください。また、あなたが適切だと思われる収集回数はどれだけですか。お宅の該当地区について記入して下さい。

（回答例） 例えば、1週間に1回の場合は、次のように記入します。

1（年・月・週）に（/）回

（以下には、あなたの回答を記入してください）

【仙台地区】

ごみの種類	現在出している回数	適切だと思ふ収集回数
ふつうの家庭ごみ	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回
あきかん・あきびん類	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回

【泉地区】

ごみの種類	現在出している回数	適切だと思ふ収集回数
燃やせるごみ	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回
燃やせないごみ	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回
資源物（あきびん等）	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回
有害物（蛍光灯等）	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回

【宮城地区】

ごみの種類	現在出している回数	適切だと思ふ収集回数
燃えるごみ	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回
燃えないごみ	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回
有害物（蛍光灯等）	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回

【秋保地区】

ごみの種類	現在出している回数	適切だと思ふ収集回数
燃えるごみ	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回
燃えないごみ	1（年・月・週）に（ ）回	1（年・月・週）に（ ）回

問21(a) お宅では、この1年間で粗大ごみを出しましたか。

1 出した	-----> 1年間に	[] 回
2 出さなかった		

問21(b) 出さなかった理由はなぜですか。

【上の問で2と答えた方のみお答えください。】

- | |
|------------------------|
| 1 出すものがなかったから |
| 2 出してよい場所や、日がわからなかったから |
| 3 出そうと思ったが、都合が悪かったから |
| 4 その他（具体的に： _____） |

問22 粗大ごみを集めに来る回数はどれくらいがよいと思いますか。

1年に [] 回

問23(a) あなたのお宅では、大掃除や引越しなどで臨時に多量のごみが出たことがありますか。ただし仙台市内（旧泉市・宮城町・秋保町を含む）にお住まいの時のことに限ります。

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 1 出たことがある | -----> 【「1 出たことがある」と答えた方のみお聞きします。】 |
| 2 出たことはない | |

問23(b) すごみをどのようにして処理しましたか。

- 1 自分で処理施設に運んだ
- 2 ごみ処理業者に頼んだ
- 3 引越し業者に頼んだ
- 4 役所に電話をするなどして頼んだ
- 5 ごみ集積所に出した
- 6 粗大ごみ収集の時出した
- 7 自分で燃やすなどして始末した
- 8 その他()

問24 あなたの住んでいる地域では、町内会や子供会の廃品回収など、集団資源回収(ちり紙交換などの業者による廃品回収を除く)が行われていますか。

- 1 行われている
- 2 行われていない
- 3 わからない

【以下、問27までは「1 行われている」と答えた方のみお答えください。「2 行われていない」「3. わからない」と答えた方は、このページの問28までお進みください。】

問25 集団資源回収は、年に何回くらい行われていますか。

年に 回位

問26 その回数は適当だと思いますか。

- 1 もっと多い方がよい
- 2 ちょうどよい
- 3 もっと少なくてもよい

問27 お宅では集団資源回収の時に廃品を出していますか、出していませんか。

- 1 前もって廃品を集めておき、出している
- 2 その時に廃品があれば出している
- 3 廃品を出していない(理由)

問28 いま行われているかどうかは別にして、あなたの住んでいる地域で、これから、集団資源回収(廃品回収)が行われたらどうしますか。

- 1 前もって廃品を集めておき、出そうと思う
- 2 その時に廃品があれば、出してもよい
- 3 廃品を出すつもりはない(理由)

ごみについての質問がだいぶ続きました。このへんで気分を変えて、少し一般的なことについてうかがいます。

問29 あなたはふだん、仙台市で発行している広報をどのくらい読んでいますか。

- 1 よく読む
- 2 ある程度は読む
- 3 あまり読んでいない
- 4 まったく読んでいない

問30 あなたは一日にどの程度の時間、テレビのニュース番組を見ますか。

- 1 まったく見ていない
- 2 30分未満
- 3 30分以上1時間未満
- 4 1時間以上1時間30分未満
- 5 1時間30分以上2時間未満
- 6 2時間以上

問31 あなたは、ふだん何新聞をお読みになっていますか。お読みになっている新聞名を下の表のなかっこの中にご記入ください。また、あげていただいた新聞は、一日にどの程度の時間お読みになりますか。それぞれの新聞についてお答えください。(なお、まったく新聞をお読みにならない方は、欄外の7番に○をつけてください。)

	新聞名()	新聞名()
お読みになる時間	1 10分未満	1 10分未満
	2 10分以上30分未満	2 10分以上30分未満
	3 30分以上1時間未満	3 30分以上1時間未満
	4 1時間以上1時間30分未満	4 1時間以上1時間30分未満
	5 1時間30分以上2時間未満	5 1時間30分以上2時間未満
	6 2時間以上	6 2時間以上

7 新聞はまったく読まない

問32 あなたはふだん、環境問題についての記事をどのくらい読みますか。

- 1 よく読む
- 2 ある程度は読む
- 3 あまり読んでいない
- 4 まったく読んでいない

問33 あなたは現在の日本の社会に全体として満足していますか、満足していませんか。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば不満である
- 4 不満である

問34 新幹線が建設されることによって、多くの人々には便利になりますが、沿線の人々は毎日、騒音や振動のために眠れなかったりイライラするなど、被害を受けています。そこで、住宅地を通る時に新幹線の速度を落とせば、騒音や振動をおさえられますが、利用者にとっては余分な時間がかかることになります。この問題について、次のような2つの考え方があります。

- A. 多くの人々のためなのだから、沿線の人々は、騒音や振動の被害をがまんするべきだ。
- B. 沿線の被害を少なくするために、余分な時間のかかることを利用者の方ががまんするべきだ。

あなたは、どちらに賛成しますか。

- 1 Aに賛成する
- 2 どちらかといえば、Aに賛成する
- 3 どちらかといえば、Bに賛成する
- 4 Bに賛成する

問35(a) あなたにとって次のようなことはどのくらい重要でしょうか。1から6までのそれぞれについて答えてください。

	かなり重要である	まあ重要である	どちらとも言えない	あまり重要ではない	全く重要でない
1 高い収入を得ること	1	2	3	4	5
2 高い地位につくこと	1	2	3	4	5
3 人並に暮らすこと	1	2	3	4	5
4 趣味に打ち込むこと	1	2	3	4	5
5 のんびり暮らすこと	1	2	3	4	5
6 仕事に生きること	1	2	3	4	5

問35(b) それでは、この6つの事柄のうち、最も重要なものはどれでしょうか。

番

問36 あなたは、現在の自分の生活に全体として満足していますか、満足していませんか。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば不満である
- 4 不満である

問37 ところで、かりに現在の日本の社会全体を、以下に書いてあるように5つの層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入ると思いますか。

- 1 上
- 2 中の上
- 3 中の下
- 4 下の上
- 5 下の下

ここで、もう一度ごみのことについてうかがいます。

問38(a) ごみの出し方として、ポリバケツと袋がありますが、あなたはどれがよいと思いますか。

- 1. ポリバケツがよいと思う
- 2. 袋がよいと思う
- 3. どちらで出してもよいと思う

→ 問39へ進んでください

問38(b) 「ポリバケツ」と答えた方にその理由をおききます。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 こわれにくく、ごみが散乱しないから
- 2 美観をそこなわないから
- 3 ごみを出す量の規制ができるから
- 4 ごみを集める人が安全だから
- 5 この地域における指導、決まりだから
- 6 隣近所がそのようにしているから
- 7 カラス等の被害が防げるから
- 8 その他 ()

問38(c) 「袋」と答えた方にその理由をおききます。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 出すだけでよく、後で容器をとりに行く手間がかからないから
- 2 余分な集積所のスペースをとらないから
- 3 集積所まで持ち運びがしやすいから
- 4 ごみを集める人が収集しやすいから
- 5 この地域における指導、決まりだから
- 6 隣近所がそのようにしているから
- 7 あとに容器が残らず、集積所がきれいになるから
- 8 その他 ()

問39 ごみの出し方には、いろいろな方法があるようです。あなたは、ふだん、どのようにしていますか。当てはまるもののうちで主なものの番号に一つだけ○をつけてください。

(回答例) 「紙くずをポリバケツに入れて出す」人は、次のように印をつけます。

			黒い							
	ポリ	透明な	ポリ袋	ひも等で	市設置の	コンテナ	自家で	その		
	バケツ	ポリ袋	ビニール袋	紙袋	回収容器	ボックス	処理	他		
紙くず	①	2	3	4	5	6	7	8	9	

- (注意) 1. (袋に入れるかどうかを問わず) コンテナボックスに入れる人は、コンテナボックスの番号に○をつけてください。
2. 袋に入れて、市が前夜か早朝に設置する回収容器(カゴやかんなど)に入れるようなときには、「市設置の回収容器」に○をつけてください。
3. 「自家で処理」とは、自宅の庭などでごみを燃したりごみを庭に埋めたりするなどのことをさします。
4. 「その他」は、廃品回収に出したり、店に引き取ってもらったり、他に含まれないすべての方法のことです。

(以下には、あなたの回答を記入してください)

			黒い							
	ポリ	透明な	ポリ袋や	ひも等で	市設置の	コンテナ	自家で	その		
	バケツ	ポリ袋	ビニール袋	紙袋	回収容器	ボックス	処理	他		
紙くず	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
野菜くず	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
プラスチック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
割れたガラス	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
空かん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
空きびん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
古新聞	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
古布	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
蛍光灯や電球	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
普通の乾電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ボタン型電池	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

問40 あなたは、ごみを出すときに、次のようなことをしていますか。しているものがあれば、いくつでも○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------------------------------------|
| 1 | 割れたガラスなどは、そのまま出す |
| 2 | ガラスや陶器は紙に包んで出す |
| 3 | 蛍光灯や電球は紙に包んで出す |
| 4 | 普通の乾電池は透明なビニール袋に入れてから回収容器に入れる |
| 5 | ボタン型電池は、販売店で処分してもらう |
| 6 | 壊れた家具や電気製品は、使えなくなったときになるべく早く、ふだん使っているごみ集積所に持っていく |
| 7 | 壊れた家具や電気製品は、家の中に置いておき、市や町内会で指定した場所に、指定された日に持っていく |

問41 紙くずや空きびんなどいろいろな種類のごみを、分別して(分けて)出す人もいれば、分別しないで(分けなくて)出す人もいます。あなたは、ふだん、どのようにしていますか。それぞれの組合せについて、当てはまるものの番号に○をつけてください。

(回答例) 「紙くずと野菜くずを分別して出す」人は、次のように印をつけます。

たいてい分別 時による たいてい分別
して出す しないです出

紙くずと野菜くずは ①-----2-----3

(以下に、あなたの回答を記してください。)

		たいてい分別	時による	たいてい分別
		して出す		しないで出す
紙くずと野菜くずは	1	2	3	
紙くずとプラスチックは	1	2	3	
紙くずと割れたガラスや陶器は	1	2	3	
紙くずと空かんは	1	2	3	
紙くずと空きびんは	1	2	3	
紙くずと古新聞は	1	2	3	
紙くずと古布は	1	2	3	
紙くずと蛍光灯や電球は	1	2	3	
紙くずと普通の乾電池は	1	2	3	
紙くずとボタン型電池は	1	2	3	
紙くずと壊れた家具は	1	2	3	
プラスチックと割れたガラスや陶器は	1	2	3	
プラスチックと空きびんは	1	2	3	
割れたガラスや陶器と空きびんは	1	2	3	
空かんと空きびんは	1	2	3	
空きびんと蛍光灯や電球は	1	2	3	
蛍光灯や電球と普通の乾電池は	1	2	3	
普通の乾電池とボタン型電池は	1	2	3	

問4 2 仙台市ではごみを種類ごとに分けて集めています(分別収集)。このことについては以下のようにいろいろな意見があります。あなたはどうお考えですか。それぞれの意見について、あてはまる番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらか と 言えば そう思う	どちらか と 言えば そうは思 わない	そうは 思わない
。ごみを分けて出さないと、近所の人達から何か言われるだろう	1	---	2	---
。ごみを分けて出しているのは、他の人もそうしているからだ	1	---	2	---
。私にごみを分けて出さないと、他の人に迷惑がかかるだろう	1	---	2	---
。決まりになっていることなのでごみを分けて出すのは当然だ	1	---	2	---
。ごみを分けて出せば、ごみ処理の効率がよくなる	1	---	2	---
。ごみを分けて出せば、資源の再利用に役立つ	1	---	2	---
。ごみを分けて出せば、環境汚染の防止につながる	1	---	2	---
。ごみを分けて出せば、焼却炉などの処理施設が長持ちする	1	---	2	---
。ごみを分けて出すのは、とても面倒だ	1	---	2	---
。ごみを出してよい日まで、家にごみをおいておくと邪魔になる	1	---	2	---
。自分一人がごみを分けて出さなくても、大した影響はない	1	---	2	---

問4 3 どのような種類のごみを、他のごみとは区別して収集したらよいとあなたは思いますか。次の中から適当と思われるものをいくつでも選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|----|-------------------------------|
| 01 | プラスチック類(発泡スチロール・ポリ袋・ビニール袋を含む) |
| 02 | 蛍光灯・水銀体温計など、水銀を含んだ物 |
| 03 | ボタン型電池 |
| 04 | 普通の乾電池 |
| 05 | ガラス類(窓ガラス・コップ・陶器など) |
| 06 | 古タイヤ |
| 07 | あきびん |
| 08 | あきかんなどの金物 |
| 09 | 古新聞などの古紙 |
| 10 | 古畳などの古布 |
| 11 | タンス・冷蔵庫・洗濯機など |
| 12 | その他(具体的に) |
| 13 | 分ける必要はない |

問4 4 ごみの量を減らす方法にはいろいろなものがあります。次の中で、あなたのご家庭で実行なさっていることがありますか。あれば、いくつでも選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 廃品回収に出すなど、再利用に協力している |
| 2 | 使い捨ての食器など、すぐにごみになるようなものは買わない |
| 3 | 物が古くなっても、使えるうちは新しい物に買い換えない |
| 4 | 燃やせるごみは自分で焼却する |
| 5 | 生ごみは埋めるなどして、自家で処理する |
| 6 | 生ごみはよく水を切って出す |
| 7 | その他(具体的に) |
| 8 | とくにない |

問4 5 ごみを資源として再利用する方法にはいろいろなものがあります。次の中で、あなたのご家庭で実行なさっていることがありますか。あれば、いくつでも選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 古新聞やあきびんなどを子供会の資源回収やちり紙交換などに出す |
| 2 | あきびんを、酒屋へ持って行く |
| 3 | 余分な日用品などをバザーなどに出す |
| 4 | びんやかんなどの再利用可能なごみを、他のごみと分けて出す |
| 5 | 家族が着られなくなった衣服などを、親戚や知人に譲る |
| 6 | いらなくなった家具や電気製品をリサイクルショップに出す |
| 7 | その他(具体的に) |
| 8 | とくにない |

次に、話は少し変わりますが。

問4 6 お宅のトイレは、次のどのタイプですか。

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 水洗 |
| 2 | くみ取り式水洗(簡易水洗) |
| 3 | くみ取り |

【以下、問5 3までは「2 くみ取り式水洗」および「3 くみ取り」と答えた方のみお答えください。【1 水洗】と答えた方は問5 4までお進みください。】

問4 7 お宅では、どのようにしてくみ取ってもらっていますか。

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 連絡しなくても、定期的に業者がくみ取りに来る |
| 2 | たまったら、業者に連絡してくみ取ってもらう |
| 3 | 定期的に業者が来ているが、連絡して来てもらうこともある |
| 4 | くみ取ってもらっていない |

【上で、「4 くみ取ってもらっていない」とお答えの方は問5 4までお進みください。】

問5 4へ

問48 くみ取りをしてもらっている回数はどれくらいですか。

- 1 1カ月に1回位
- 2 1カ月半に1回位
- 3 2カ月に1回位
- 4 2カ月半に1回位
- 5 3カ月に1回位
- 6 その他(具体的に)

問49 お宅にとって現在のくみ取り回数は適当ですか。

- 1 少ない
- 2 ちょうどよい
- 3 多い

問50 くみ取りの依頼をしたとき、業者はすぐに来てくれますか。

- 1 連絡すればすぐ来てくれる
- 2 連絡すれば来てくれるが、遅い(具体的に 日後)
- 3 何度か連絡をしないと来てくれない
- 4 連絡して来てもらったことはないので、わからない

問51 くみ取りで支払う手数料は、いくらぐらいですか。

- 1 1回あたり 500円未満
- 2 1回あたり 500円以上1000円未満
- 3 1回あたり1000円以上1500円未満
- 4 1回あたり1500円以上2000円未満
- 5 1回あたり2000円以上
- 6 月単位で一定額支払っている(円)
- 7 年単位で一定額支払っている(円)

問52 くみ取りの手数料の額について、どう思いますか。

- 1 高い
- 2 やや高い
- 3 ちょうどよい
- 4 やや安い
- 5 安い

問53 くみ取りの方法としては、どのようなやり方がよいと思いますか。

- 1 定期的にくみ取りに来てもらう方がよい
- 2 たまったら連絡してくみ取ってもらう方がよい
- 3 どちらでもよい

ごみ処理および尿処理に関する質問はこれで終わりです。
最後に、お宅の様子など、お知らせください。

問54 あなたの住んでおられる地域は、次のうちのどれが一番近いですか。

- 1 ほとんど住宅の地域(住宅地域)
- 2 商店と住宅の混ざった地域(商業地域)
- 3 工場が近くにある地域(工業地域)
- 4 田や畑の多い地域(農村地域)

問55 あなたの住んでおられる地域は、何小学校の通学区ですか。

_____ 小学校

問56 あなたの現在のお住まいは、次のどれに当たりますか。

- 1 持ち家(一戸建て)
- 2 持ち家(中高層集合住宅)
- 3 借家(一戸建て)
- 4 借家(民間木造アパート)
- 5 借家(民間鉄筋アパート・マンション)
- 6 借家(公社・公団・公営住宅)
- 7 社宅・官舎・独身寮
- 8 下宿・間借り・住み込み・寄宿舍
- 9 その他(具体的に)

問57 あなたの年齢を、30歳代、60歳代のようにご記入ください。

_____ 歳代

問58 あなたの性別を教えてください。(当てはまる方の番号を○でかこんでください。)

1 男 2 女

以下では、あなたのご家族について、差し支えない範囲でお答えください。
(注意) ここでは、仙台市内に一緒に住んでいる世帯の中で考えます。

問59 仙台で現在一緒に住んでいる家族は、あなたも含め何人ですか、年齢別に分けてお答えください。

0歳～5歳 人

6歳～18歳 人

19歳～64歳 人

65歳以上 人

問60 あなたのお家で一番収入の多い方のお仕事について、いくつかうかがいます。

(a) その方はあなたにとってどのような関係の方ですか。
 (注意) ここでは、仙台市内に一緒に住んでいる世帯の中で考えます。
 一人で仙台に住んでいる学生の方の場合は、(父親などでなく)「本人」に○をつけて下さい。

1 本人
 2 夫または妻
 3 子供(養理の関係も含む)
 4 その他(具体的に)

(b) その方のお仕事は大きく分けて以下のどれにあたりますか。

1 専業主婦(内職やパート、家族従業をしていない方) -----
 2 学生 ----- → 問61へ
 3 臨時雇用、パート、アルバイト、内職
 4 常時雇用されている一般従業者
 5 自営業主および家族従業者
 6 経営者(重役)役員
 7 その他(具体的に)

【(b)で3から6のいずれかと答えた方は、次の(c)と(d)にもお答えください。】
 【(b)で1または2と答えた方は、問61に進んでください】

(c) 従業員(雇われている人)は、「会社」全体で何人ぐらいですか。

1 なし
 2 1-499人
 3 500-999人
 4 1000人以上
 5 官公庁(公務員)

(d) その方は従業先でどんな仕事をしておられるのですか。どこに分類できるか分からない場合は、7に○をつけ、具体的な仕事内容を書いてください。

1 事務的職業(庶務・人事・経理などの事務一般、警察官・自衛官なども含む)
 2 販売的職業(小売業、卸し、不動産仲介、保険外交、旅行ガイドなども含む)
 3 熟練・労務的職業(理容師、調理師、工員、運転手、警備員、建設作業員など)
 4 専門的職業(医師・弁護士・教師・技術者など専門的知識を要するもの)
 5 管理的職業(企業・官公庁における課長職以上のもの)
 6 農林水産業(ただし、第二種兼業や農水産物加工は含まない)
 7 その他(具体的に)

問61 あなた自身のお仕事は大きく分けて以下のどれにあたりますか。

1 専業主婦(内職やパート、家族従業をしていない方)
 2 学生
 3 臨時雇用、パート、アルバイト、内職
 4 常時雇用されている一般従業者
 5 自営業主および家族従業者
 6 経営者(重役)役員
 7 その他(具体的に)

長い間、面倒な質問にお答えいただき、ありがとうございました。皆様からいただいたお答えは、貴重な資料として活用させていただくつもりです。なお、ごみやし尿の問題について、あるいはこの調査についての御意見や御感想を、下にご記入いただければ幸いです。

単純集計表

凡例：

1. 表中の数字は各回答のパーセントの小数点第2位以下を四捨五入したものである。したがって、列の合計は、必ずしも100.0にならない。
2. 表の最下行は各列のパーセントの基数を示す。

問1 【居住年数】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
～ 4年	12.4	13.2	8.2	11.5	11.6
5年 ～ 9年	9.3	8.2	13.3	11.9	7.0
10年 ～ 19年	21.3	18.6	37.9	21.8	10.7
20年 ～	57.1	60.0	40.6	54.8	70.7
	1308	1073	475	261	215

問2 【仙台市在住の希望】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ずっと仙台市に住んでいたい	78.5	77.8	81.7	82.3	77.7
2 どちらでもかまわない	16.5	16.8	15.6	13.5	19.1
3 いずれ仙台市外に移りたい	4.9	5.3	2.7	4.2	3.3
	1308	1073	476	260	215

問3 【日本社会を表す言葉】

(複数回答)

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 孤独	11.3	10.9	10.5	13.4	11.2
2 退廃	11.3	11.7	10.9	11.9	10.7
3 連帯	4.6	4.7	2.7	4.2	6.5
4 平和	63.0	62.3	64.2	65.1	63.7
5 身勝手	43.7	43.1	45.7	41.8	36.7
6 不公平	38.9	38.9	38.6	40.6	35.4
7 無関心	40.2	39.4	42.1	36.4	32.6
8 過同調	6.5	6.8	5.2	3.5	3.7
9 混乱	13.7	14.3	11.1	16.5	20.9
10 繁栄	31.9	32.2	29.6	28.4	24.2
11 安全	36.0	36.3	34.2	34.1	35.8
12 自由	47.5	46.7	49.5	53.3	43.3
13 安定	28.8	29.5	26.4	27.2	31.2
14 拘束	3.3	3.4	2.3	3.1	1.9
15 その他	1.1	1.1	0.8	1.9	0.9
	1317	1081	477	261	215

問4 【公平感】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 公平だ	3.1	3.2	2.5	2.7	5.2
2 だいたい公平だ	32.1	32.8	30.9	30.6	32.4
3 あまり公平でない	44.9	44.5	44.6	44.6	42.7
4 公平でない	19.9	19.5	22.0	22.1	19.7
	1305	1072	473	258	213

問5 【領域別不公平感】

(複数回答)

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 性別による不公平	40.6	40.5	42.8	41.0	31.6
2 年齢による不公平	23.7	23.9	22.2	22.6	20.0
3 学歴による不公平	65.4	64.9	66.7	66.3	56.7
4 職業による不公平	48.8	48.3	50.1	48.3	47.4
5 貧富による不公平	48.8	48.9	50.3	50.4	42.3
6 家柄による不公平	19.2	19.2	18.2	24.9	23.3
7 地域による不公平	26.3	26.0	23.9	28.0	32.1
8 思想・信条による不公平	10.0	10.1	8.6	10.0	10.2
9 人種・民族による不公平	18.9	19.4	16.4	15.7	15.4
10 その他の不公平	2.4	2.5	2.1	2.7	2.3
	1317	1081	477	261	215

問6 【環境問題への関心度】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 非常に関心がある	28.2	28.6	29.2	32.2	28.5
2 まあ関心がある	61.1	60.7	58.8	59.0	52.8
3 あまり関心がない	10.4	10.5	11.3	8.5	17.3
4 まったく関心がない	0.2	0.2	0.6	0.8	1.4
	1312	1077	476	261	214

問7 【経済発展か環境保護か】

- A. 自然や生活環境を守ることも大事だが、日本の経済が停滞するのは望ましくない。
 B. 日本経済の発展も大事だが、そのために自然や生活環境が損なわれるのは望ましくない。

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 Aに近い	5.1	5.2	5.5	3.5	5.1
2 どちらかといえばAに近い	5.7	5.7	5.7	7.7	5.6
3 どちらかといえばBに近い	34.7	33.8	35.6	35.9	41.9
4 Bに近い	54.5	55.3	53.3	52.9	47.8
	1312	1076	477	259	215

問8 【記入者自身が重要だと思う環境問題：1番目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 フロンガスによるオゾン層の破壊	34.3	34.5	35.7	34.6	30.0
2 乱伐による森林の減少	18.8	17.8	20.5	23.1	19.1
3 スパイクタイヤによる粉じん公害	10.2	10.2	8.9	7.3	10.0
4 地球の温暖化	6.0	5.7	6.8	8.5	4.3
5 河川・海洋・湖沼の水質汚染	11.5	11.6	12.9	11.2	16.2
6 緑地の砂漠化	3.1	3.3	3.6	1.9	2.9
7 有害廃棄物の処理	15.4	16.1	11.8	13.1	16.7
8 その他	0.7	0.7	0.0	0.4	1.0
	1308	1074	474	260	210

【記入者自身が重要だと思う環境問題：2番目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 フロンガスによるオゾン層の破壊	13.9	14.0	14.4	18.9	10.1
2 乱伐(らんばつ)による森林の減少	22.1	22.6	24.3	17.3	22.1
3 スパイクタイヤによる粉じん公害	9.2	9.4	9.1	5.0	10.6
4 地球の温暖化	9.1	9.4	9.7	7.7	8.2
5 河川・海洋・湖沼の水質汚染	23.5	22.9	23.0	26.2	24.0
6 緑地の砂漠化	6.5	6.0	6.8	6.5	12.5
7 有害廃棄物の処理	15.6	16.1	12.9	18.1	12.0
8 その他	0.2	0.1	0.0	0.4	0.5
	1303	1070	474	260	208

【記入者自身が重要だと思う環境問題：3番目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 フロンガスによるオゾン層の破壊	12.9	13.1	13.7	9.7	11.3
2 乱伐(らんばつ)による森林の減少	15.1	15.5	12.0	17.8	18.2
3 スパイクタイヤによる粉じん公害	12.5	11.8	15.2	9.3	7.9
4 地球の温暖化	5.6	5.6	5.3	6.6	5.4
5 河川・海洋・湖沼の水質汚染	17.2	17.5	20.2	18.2	23.2
6 緑地の砂漠化	9.0	8.6	9.7	12.8	6.9
7 有害廃棄物の処理	27.5	27.7	23.2	25.2	26.6
8 その他	0.3	0.2	0.8	0.4	0.5
	1299	1068	475	258	203

問9 【新聞で重要だとされている環境問題：1番目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 フロンガスによるオゾン層の破壊	61.6	61.8	62.1	56.4	53.4
2 乱伐(らんばつ)による森林の減少	7.4	7.4	6.4	5.8	8.3
3 スパイクタイヤによる粉じん公害	17.1	16.6	18.6	26.1	25.7
4 地球の温暖化	3.9	3.8	4.5	4.3	3.9
5 河川・海洋・湖沼の水質汚染	2.7	2.8	2.3	1.6	2.9
6 緑地の砂漠化	0.9	0.9	1.1	1.2	1.5
7 有害廃棄物の処理	6.3	6.5	4.9	4.7	4.4
8 その他	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0
	1295	1068	472	257	206

【新聞で重要だとされている環境問題：2番目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 フロンガスによるオゾン層の破壊	13.1	12.9	13.0	12.8	11.3
2 乱伐(らんばつ)による森林の減少	21.7	20.6	22.3	24.9	24.1
3 スパイクタイヤによる粉じん公害	19.7	20.0	19.3	12.5	20.7
4 地球の温暖化	15.9	16.4	16.6	14.8	11.8
5 河川・海洋・湖沼の水質汚染	11.4	11.4	12.7	16.3	16.8
6 緑地の砂漠化	4.1	4.0	4.7	5.5	2.0
7 有害廃棄物の処理	14.1	14.6	11.5	13.2	13.3
8 その他	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	1292	1060	471	257	203

【新聞で重要だとされている環境問題：3番目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 フロンガスによるオゾン層の破壊	7.3	7.3	7.9	8.2	3.5
2 乱伐(らんばつ)による森林の減少	15.0	14.3	15.8	12.9	12.4
3 スパイクタイヤによる粉じん公害	17.3	17.5	15.8	20.0	15.9
4 地球の温暖化	11.1	11.6	9.6	11.8	9.0
5 河川・海洋・湖沼の水質汚染	17.4	17.2	18.6	14.5	20.4
6 緑地の砂漠化	8.1	8.3	9.0	10.6	10.0
7 有害廃棄物の処理	23.6	23.6	23.5	22.0	26.4
8 その他	0.2	0.3	0.0	0.0	2.5
	1283	1054	469	255	201

問10 【環境汚染防止のために実行していること】

(複数回答)

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 フロンガスの入ったスプレー	43.8	44.4	41.3	39.9	35.4
2 料理に使った油を処理	75.3	74.7	79.5	68.6	64.2
3 スパイクタイヤ	65.8	64.3	68.1	66.3	53.0
4 電気・ガスなどの省エネルギー	54.4	53.8	57.9	52.5	56.3
5 紙をムダ使しない	30.1	31.2	31.5	29.1	32.1
6 環境保護に関する団体等	1.7	1.9	1.7	1.2	7.0
7 その他	1.4	1.4	1.5	1.2	1.9
8 とくにない	7.3	7.9	6.3	7.7	6.5
	1317	1081	477	261	215

問11 【ごみ集積所に主にごみを運ぶ人(年齢)】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 12歳以下	0.6	0.6	1.7	0.0	0.0
2 13～18歳	0.8	0.7	1.5	3.5	1.4
3 19～64歳	85.0	84.2	86.6	82.7	73.1
4 65歳以上	11.6	12.4	9.7	11.9	21.2
5 家族以外の人	2.0	2.2	0.6	1.9	4.3
	1310	1075	476	260	208

【ごみ集積所に主にごみを運ぶ人(性別)】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 男	24.2	25.7	17.9	26.6	37.3
2 女	75.8	74.2	82.1	73.4	62.7
	1290	1059	470	252	201

問12 【ごみの集積所までの道のり】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 10m未満	30.6	31.9	23.5	18.9	25.5
2 10～29m	30.8	31.3	27.1	28.6	20.7
3 30～49m	16.1	16.4	17.4	17.0	14.9
4 50～99m	16.6	15.8	22.3	20.5	13.9
5 100m以上	6.0	4.7	9.7	15.1	25.0
	1307	1072	476	259	208

問13 【ごみ集積所までの距離感】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 もっと近くにあった方がよい	8.9	8.6	9.9	14.7	15.9
2今のままでよい	89.1	89.6	88.9	83.0	82.7
3 もっと遠くにあった方がよい	2.0	1.9	1.3	2.3	1.4
	1309	1073	476	259	208

問14 【ごみ集積所の清潔度】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 きれいになっている	70.4	69.7	75.1	60.6	53.4
2 やや汚い	24.1	24.6	20.3	29.7	38.0
3 汚い	5.6	5.6	4.6	9.7	8.7
	1310	1074	477	259	208

問15 【動物による集積所の被害】

(複数回答)

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 犬の被害がある	11.5	10.8	11.3	21.8	27.0
2 猫の被害がある	40.7	39.6	42.6	46.4	42.3
3 カラスの被害がある	40.9	38.1	50.7	52.1	42.8
4 その他の動物の被害がある	1.7	1.9	0.4	2.3	3.7
5 動物による被害はない	35.0	35.9	31.9	26.4	32.1
	1316	1081	477	261	215

問16 【ごみ集積所を掃除している人】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そこを利用している人達	54.9	48.9	83.0	72.5	46.9
2 集積所の近くの人だけ	17.5	19.8	4.6	10.5	13.9
3 管理人・不動産業者・清掃業者等	9.2	10.9	1.7	1.6	11.5
4 その他	3.2	3.4	3.8	1.6	2.9
5 知らない	12.5	13.9	6.3	10.9	19.1
6 ほとんど掃除されていない	2.7	3.1	0.6	3.1	5.7
	1307	1071	476	258	209

問17 【近所の家がごみを出す時間】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 コンテナボックスである	1.8	2.1	0.6	2.3	2.4
2 ほとんどすべての家が収集日	68.0	66.9	76.7	66.8	48.8
3 前日に集積所に出している家もある	23.6	24.1	18.5	20.1	21.8
4 前日に集積所に出している家の方が多い	3.5	3.4	2.7	5.8	15.2
5 わからない	3.1	3.5	1.5	5.0	11.9
	1311	1075	477	259	211

問18 【自分の家でごみを出す時間】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 コンテナボックスである	1.3	1.6	0.2	3.1	2.9
2 必ず収集日に出している	84.5	84.3	88.7	80.7	61.8
3 とときどき前日に出している	8.8	8.4	7.6	8.1	15.9
4 たいていは前日に出している	2.8	2.9	2.1	4.3	12.6
5 収集日に関係なく出している	1.5	1.5	1.3	2.3	5.8
6 わからない	1.2	1.4	0.2	1.5	1.0
	1311	1075	476	259	207

問19 【近所付き合いの程度】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 あいさつはしない	6.6	8.0	1.7	2.3	3.6
2 親しく話してはいない	33.0	32.9	32.3	26.9	14.9
3 親しく話をする人も少しはいる	31.0	30.3	42.2	29.2	16.9
4 親しく話をする人が多い	29.4	28.8	23.8	41.6	64.6
	1297	1062	474	257	195

問20 【ごみ種ごとの現在の排出回数の実態と希望する収集回数】

旧仙台：日常の家庭ごみ、泉：燃やせるごみ、宮城・秋保：燃えるごみ

【現在の排出回数】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
年3回	0.0	0.0	0.0	0.6
年6回	0.0	0.0	0.5	0.0
月1回	0.3	0.4	0.9	2.5
月2回	1.3	0.2	0.0	1.9
月3回	0.4	0.0	0.0	0.6
月4回	0.1	0.0	0.0	0.6
月6回	0.1	0.0	0.0	0.0
週1回	11.0	3.3	12.3	25.2
週2回	19.3	9.5	82.2	26.4
週3回	66.6	85.9	2.7	39.6
週4回	0.4	0.4	0.0	1.3
週5回	0.0	0.2	0.0	0.0
週6回	0.1	0.0	0.0	0.6
週7回	0.4	0.0	1.4	0.6
	1055	462	219	159

【希望する収集回数】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
月1回	0.0	0.0	0.0	1.4
月2回	0.1	0.2	0.0	1.4
月3回	0.3	0.2	0.0	0.0
月4回	0.1	0.0	0.0	1.4
週1回	3.4	1.2	6.9	14.2
週2回	17.7	11.9	56.5	31.1
週3回	74.5	78.2	34.3	42.6
週4回	3.0	6.7	0.5	5.4
週5回	0.3	0.7	0.5	2.0
週6回	0.3	0.7	0.0	0.7
週7回	0.2	0.2	1.4	0.0
	993	436	216	148

泉：燃やせないごみ、宮城・秋保：燃えないごみ

【現在の排出回数】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
年1回	.	0.0	0.0	0.5
年2回	.	0.4	0.9	1.1
年3回	.	0.0	0.9	1.6
年4回	.	0.0	0.0	0.5
年5回	.	0.0	0.4	0.5
年6回	.	0.0	0.4	0.5
年8回	.	0.0	0.4	0.0
月1回	.	1.9	4.9	11.2
月2回	.	2.8	5.7	6.4
月3回	.	0.0	0.4	2.1
月4回	.	0.2	0.0	0.0
週1回	.	77.9	80.6	71.8
週2回	.	6.1	4.4	3.2
週3回	.	0.7	0.0	0.0
週4回	.	0.0	0.0	0.5
週7回	.	0.0	0.9	0.0
	-	465	227	188

【希望する収集回数】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
年4回	.	0.2	0.0	0.0
年5回	.	0.0	0.5	0.0
月1回	.	0.5	2.7	7.1
月2回	.	2.1	7.3	6.6
月3回	.	0.5	0.9	0.6
月4回	.	0.0	0.0	1.2
週1回	.	51.6	73.1	63.1
週2回	.	39.6	12.3	16.7
週3回	.	5.0	2.3	3.0
週4回	.	0.2	0.0	1.8
週5回	.	0.2	0.0	0.0
週6回	.	0.2	0.0	0.0
週7回	.	0.0	0.9	0.0
	-	440	219	168

旧仙台：あきかん・あきびん類、泉：資源物、

【現在の排出回数】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
年1回	0.2	0.2	.	.
年2回	0.2	0.2	.	.
年3回	0.2	0.0	.	.
年4回	0.5	0.0	.	.
年5回	0.1	0.0	.	.
年6回	1.0	0.0	.	.
月1回	26.2	12.9	.	.
月2回	44.4	70.2	.	.
月3回	1.8	0.7	.	.
月4回	0.1	0.0	.	.
週1回	22.9	14.2	.	.
週2回	1.6	1.1	.	.
週3回	0.7	0.2	.	.
週7回	0.2	0.0	.	.
	1014	457	-	-

【希望する収集回数】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
年1回	0.1	0.0	.	.
年2回	0.0	0.2	.	.
年4回	0.2	0.0	.	.
年6回	0.6	0.0	.	.
月1回	18.2	10.4	.	.
月2回	33.2	44.2	.	.
月3回	6.3	4.2	.	.
月4回	1.5	1.2	.	.
週1回	32.9	34.3	.	.
週2回	5.1	5.1	.	.
週3回	1.9	0.5	.	.
週4回	0.1	0.0	.	.
	967	434	-	-

泉・宮城：有害物

【現在の排出回数】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
年1回	.	3.2	7.8	.
年2回	.	3.0	11.3	.
年3回	.	1.4	2.1	.
年4回	.	1.2	0.0	.
年6回	.	0.9	0.0	.
月1回	.	17.3	25.4	.
月2回	.	64.0	2.1	.
月3回	.	0.5	0.0	.
週1回	.	7.7	49.3	.
週2回	.	0.5	0.0	.
週3回	.	0.2	0.7	.
週7回	.	0.0	0.7	.
	-	439	142	-

【希望する収集回数】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
年1回	.	1.2	3.7	.
年2回	.	1.7	6.8	.
年3回	.	0.7	2.5	.
年4回	.	1.0	1.2	.
年6回	.	1.0	0.0	.
月1回	.	24.2	34.8	.
月2回	.	43.3	8.7	.
月3回	.	2.9	0.0	.
月4回	.	0.7	0.0	.
週1回	.	22.0	38.5	.
週2回	.	1.2	1.9	.
週3回	.	0.2	0.6	.
週7回	.	0.0	1.2	.
	-	418	161	-

問2 1 (a) 【粗大ごみ排出の有無（この1年間）】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 出した	46.8	43.7	65.6	49.4	34.3
2 出さなかった	53.2	56.3	34.4	50.6	65.7
	1308	1072	477	261	210

【粗大ごみの排出回数（出した人のみ：この1年間）】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 回	62.3	66.3	51.5	56.7	66.7
2 回	34.9	32.6	40.2	38.6	24.2
3 回	2.3	0.9	5.1	4.7	3.0
4 回	0.5	0.2	2.9	0.0	0.0
5 回	0.0	0.0	0.3	0.0	1.5
6 回以上	0.0	0.0	0.0	0.0	4.6
	610	469	311	127	66

問2 1 (b) 【粗大ごみを排出しなかった理由（出さなかった人のみ）】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 出すものがなかった	65.0	67.9	45.1	66.7	70.5
2 出してよい場所や日がわからなかった	10.5	9.5	13.0	17.4	11.5
3 都合が悪かったから	15.4	14.5	25.9	11.4	11.5
4 その他	9.1	8.0	16.1	4.6	6.5
	689	598	162	132	139

問2 2 【粗大ごみ収集の希望回数】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 回	9.4	10.3	4.9	9.1	10.7
2 回	40.2	41.9	32.7	30.6	31.0
3 回	20.0	19.4	22.2	28.6	22.3
4 回	17.8	15.9	27.4	17.1	15.2
5 回	1.8	1.6	2.5	1.6	5.1
6 回	5.7	5.4	8.4	6.0	7.1
7 回	0.1	0.1	0.0	0.0	0.5
8 回	0.1	0.1	0.0	0.4	0.0
10 回	0.4	0.5	0.2	0.8	0.5
12 回	4.5	4.9	1.7	6.0	7.1
	1278	1046	474	252	197

問2 3 (a) 【臨時多量ごみが排出の有無（この1年間）】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 出たことがある	46.6	45.8	49.3	50.2	38.0
2 出たことはない	53.4	54.2	50.7	49.8	62.0
	1313	1077	475	261	213

問2 3 (b) 【臨時多量ごみの処理方法】

(複数回答)

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 自分で処理施設に運んだ	12.3	12.2	13.7	9.9	17.3
2 ごみ処理業者に頼んだ	24.2	25.6	18.8	16.0	13.6
3 引越し業者に頼んだ	10.9	10.1	12.4	9.9	2.5
4 役所に電話をするなどして頼んだ	16.7	17.4	16.7	9.2	6.7
5 ごみ集積所に出した	19.1	20.1	16.7	22.1	19.8
6 粗大ごみ収集の時出した	17.0	15.4	23.1	21.4	18.5
7 自分で燃やすなどして始末した	11.1	11.2	10.7	29.0	40.7
8 その他	3.6	3.9	3.4	6.1	2.5
	612	493	234	131	81

問2 4 【地域の集団資源回収（廃品回収）実施の有無】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 行われている	81.0	80.2	86.2	69.6	56.9
2 行われていない	4.8	4.1	6.4	14.6	19.1
3 わからない	14.2	15.7	7.4	15.8	23.9
	1303	1069	472	260	209

問2 5 【集団資源回収の回数の実態】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 回	2.5	2.2	2.8	11.1	14.8
2 回	11.4	11.0	8.8	33.9	39.8
3 回	9.0	9.3	8.8	11.7	17.6
4 回	20.1	21.0	18.1	11.7	11.1
5 回	10.0	10.6	8.8	4.1	3.7
6 回	25.6	25.6	27.0	24.6	6.5
7 回	1.3	1.3	2.3	0.6	0.9
8 回	1.3	0.5	4.3	0.0	0.0
9 回	0.1	0.0	2.0	0.0	0.9
10 回	5.0	4.4	7.3	1.2	1.9
11 回	0.5	0.5	0.3	0.0	0.0
12 回	12.7	13.6	9.6	1.2	2.8
	983	792	397	171	108

問2 6 【集団資源回収の回数の評価】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 もっと多い方がよい	15.2	14.7	15.0	19.8	27.2
2 ちょうどよい	82.8	83.3	82.5	79.7	70.2
3 もっと少なくてもよい	2.1	1.9	2.5	0.6	2.6
	1022	828	399	177	114

問2 7 【集団資源回収への協力の実態】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 前もって廃品を集めておく	49.9	48.4	55.7	56.9	48.7
2 その時に廃品があれば	45.6	46.8	39.6	38.7	48.7
3 出していない	4.5	4.8	4.7	4.4	2.6
	1043	850	402	181	117

問28 【集団資源回収への協力の意志】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 前もって廃品を集めておく	51.9	49.3	58.3	58.0	50.9
2 その時に廃品があれば	46.5	49.0	40.5	39.4	46.0
3 出すつもりはない	1.6	1.7	1.2	2.6	3.1
	927	757	333	193	163

問29 【仙台市広報への接触度】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 よく読む	27.7	28.2	24.2	27.6	23.4
2 ある程度は読む	56.4	56.0	61.6	53.3	52.8
3 あまり読んでいない	13.3	12.9	13.2	15.3	19.2
4 まったく読んでいない	2.6	2.9	1.1	3.8	4.7
	1314	1078	476	261	214

問30 【テレビニュースの視聴時間】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 まったく見ていない	0.8	0.8	0.8	1.2	0.5
2 30分未満	11.9	12.8	10.7	10.4	20.6
3 30分以上1時間未満	37.9	37.4	42.4	39.8	37.4
4 1時間以上1時間30分未満	23.8	23.1	23.3	29.7	17.8
5 1時間30分以上2時間未満	13.5	13.4	11.6	8.5	15.4
6 2時間以上	12.2	12.6	11.1	10.4	8.4
	1315	1079	476	259	214

問31 【購読新聞：1紙目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
朝日新聞	16.0	16.7	15.7	11.2	4.8
毎日新聞	1.5	1.8	1.5	0.8	0.5
読売新聞	10.9	10.7	13.5	7.3	2.4
河北新聞	63.7	62.2	65.7	74.5	81.4
日経新聞	1.7	1.7	0.6	1.8	0.5
その他	2.8	3.3	0.8	1.9	2.4
読まない	3.4	3.6	2.1	3.5	8.1
	1308	1073	475	259	210

【閲読時間：1紙目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
10分未満	4.4	4.2	4.0	6.2	10.3
10分以上30分未満	33.3	33.2	33.2	36.6	31.9
30分以上1時間未満	42.1	42.1	44.5	38.9	36.6
1時間以上1時間30分未満	11.4	11.7	11.3	9.3	10.3
1時間30分以上2時間未満	3.4	3.3	2.9	4.7	1.4
2時間以上	1.9	1.8	1.9	0.8	0.9
新聞はまったく読まない	3.5	3.7	2.1	3.5	8.0
	1313	1077	476	257	213

【購読新聞：2紙目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
朝日新聞	2.9	2.7	3.2	2.3	0.9
毎日新聞	0.5	0.7	0.2	0.4	0.0
読売新聞	1.5	1.5	1.9	0.8	1.9
河北新聞	4.9	4.7	4.8	4.6	3.3
日経新聞	2.1	2.0	2.9	3.1	0.9
その他	5.9	5.9	4.8	9.6	5.1
読まない	82.2	82.6	82.1	79.2	87.9
	1314	1078	476	260	214

【閲読時間：2紙目】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
10分未満	1.7	1.8	1.7	2.7	0.0
10分以上30分未満	8.1	8.3	6.5	10.1	4.2
30分以上1時間未満	6.0	5.8	7.6	5.1	4.7
1時間以上1時間30分未満	1.3	1.2	1.5	1.2	2.4
1時間30分以上2時間未満	0.2	0.2	0.2	0.0	0.5
2時間以上	0.3	0.2	0.4	0.0	0.0
読まない	82.3	82.5	82.1	80.2	88.3
	1311	1078	476	257	213

問32 【環境問題に関する記事への接触度】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 よく読む	14.2	14.7	13.3	12.3	12.3
2 ある程度は読む	63.1	63.1	63.5	63.9	53.8
3 あまり読んでいない	20.6	20.2	21.3	21.2	26.4
4 まったく読んでいない	2.1	2.2	1.9	2.7	7.6
	1307	1072	474	260	212

問33 【日本社会に対する満足感】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 満足している	7.8	7.5	8.9	8.1	8.1
2 どちらかといえば満足している	55.3	54.9	56.8	54.2	49.8
3 どちらかといえば不満である	31.3	31.5	30.4	30.8	36.8
4 不満である	5.6	6.1	4.0	6.9	5.3
	1303	1067	474	260	209

問34 【公共性に対する見解（新幹線公害問題に対する態度）】

- A. 多くの人々のためなのだから、沿線の人々は、騒音や振動の被害をがまんするべきだ。
- B. 沿線の被害を少なくするために、余分な時間のかかることを利用者の方ががまんするべきだ。

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 Aに近い	5.8	5.7	5.3	8.1	8.3
2 どちらかといえばAに近い	21.5	22.4	20.5	27.3	20.9
3 どちらかといえばBに近い	48.7	49.0	48.6	45.4	50.5
4 Bに近い	23.9	22.8	25.6	19.2	20.4
	1299	1065	473	260	206

問35(a) 【価値志向(大切なこと)】

【高い収入を得ること】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 かなり重要である	26.6	25.8	28.5	33.1	26.9
2 まあ重要である	49.7	50.8	48.5	46.5	44.7
3 どちらとも言えない	14.7	14.2	15.3	10.6	18.8
4 あまり重要ではない	7.5	7.7	6.0	9.5	7.1
5 まったく重要ではない	1.5	1.5	1.7	0.4	2.5
	1279	1046	470	254	197

【高い地位につくこと】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 かなり重要である	3.8	3.9	4.5	3.9	7.3
2 まあ重要である	23.5	24.4	24.3	26.0	17.2
3 どちらとも言えない	31.7	30.9	32.6	31.1	31.8
4 あまり重要ではない	30.9	30.6	29.6	29.1	32.3
5 まったく重要ではない	10.1	10.3	9.0	9.8	11.5
	1275	1043	469	254	192

【人並に暮らすこと】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 かなり重要である	37.1	37.0	35.5	37.2	41.4
2 まあ重要である	47.5	47.3	51.8	48.1	42.9
3 どちらとも言えない	11.3	11.4	10.4	11.6	10.6
4 あまり重要ではない	3.7	3.9	2.3	1.9	5.1
5 まったく重要ではない	0.4	0.5	0.0	1.2	0.0
	1288	1054	471	258	198

【趣味に打ち込むこと】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 かなり重要である	14.9	15.8	11.8	16.3	16.2
2 まあ重要である	46.5	46.1	46.2	48.1	35.4
3 どちらとも言えない	24.7	23.9	26.5	22.1	32.3
4 あまり重要ではない	11.9	12.1	13.0	12.8	13.0
5 まったく重要ではない	2.1	2.1	2.6	0.8	3.1
	1274	1040	468	258	192

【のんびり暮らすこと】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 かなり重要である	21.8	22.3	19.8	20.6	22.9
2 まあ重要である	47.5	48.3	51.2	45.5	32.8
3 どちらとも言えない	21.0	19.7	21.5	21.8	28.7
4 あまり重要ではない	7.8	7.9	5.8	9.7	11.5
5 まったく重要ではない	2.0	1.7	1.7	2.3	4.2
	1278	1045	469	257	192

【仕事に生きること】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 かなり重要である	13.6	14.4	12.2	13.4	20.8
2 まあ重要である	42.1	41.0	45.4	48.8	42.7
3 どちらとも言えない	29.2	30.0	26.7	26.4	21.9
4 あまり重要ではない	11.4	10.9	12.2	9.5	12.0
5 まったく重要ではない	3.7	3.7	3.6	2.0	2.6
	1276	1044	469	254	192

問35(b) 【価値志向(一番大切なこと)】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 高い収入を得ること	17.1	17.1	16.7	17.8	18.8
2 高い地位につくこと	1.8	1.5	2.8	1.2	1.5
3 人並に暮らすこと	49.0	49.0	50.9	52.3	44.4
4 趣味に打ち込むこと	5.7	6.0	4.5	5.0	5.8
5 のんびり暮らすこと	18.3	18.2	18.2	16.7	15.0
6 仕事に生きること	8.0	8.2	7.0	7.0	14.5
	1293	1058	472	258	207

問36 【生活に対する満足感】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 満足している	14.3	14.0	15.2	16.9	16.4
2 どちらかといえば満足している	55.0	54.9	58.7	57.3	50.0
3 どちらかといえば不満である	24.4	25.1	21.9	20.0	28.9
4 不満である	6.3	6.6	4.2	5.8	4.8
	1310	1074	475	260	208

問37 【階層帰属意識】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 上	1.2	1.2	1.5	0.8	1.0
2 中の上	24.6	24.3	27.0	23.9	18.0
3 中の下	53.1	52.2	52.3	52.7	53.4
4 下の上	17.5	18.0	17.5	19.6	21.8
5 下の下	3.7	4.4	1.7	3.1	5.8
	1303	1068	474	260	206

問38(a) 【容器の希望(ポリバケツか袋か)】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツがよいと思う	35.9	42.8	4.8	17.2	28.0
2 袋がよいと思う	52.8	44.4	90.6	69.7	54.0
3 どちらで出してもよいと思う	11.3	12.9	4.6	13.0	18.0
	1302	1066	476	261	211

問38(b) 【ポリバケツ希望の理由】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 こわれにくく、ごみが散乱しないから	85.2	84.9	78.3	91.1	91.5
2 美観をそこなわないから	49.5	49.6	60.9	40.0	50.9
3 ごみを出す量の規制ができるから	30.2	30.9	13.0	11.1	5.1
4 ごみを集める人が安全だから	40.5	40.6	34.8	31.1	37.3
5 この地域における指導、決まりだから	24.8	25.4	4.4	4.4	8.5
6 隣近所がそのようにしているから	3.9	4.0	4.4	0.0	3.4
7 カラス等の被害が防げるから	55.7	55.5	69.6	68.9	76.3
8 その他	3.6	3.7	4.4	0.0	3.4
	467	456	23	45	59

問38(c) 【袋希望の理由】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 後で容器をとりに行く手間がかからない	87.5	85.8	89.6	85.7	71.1
2 余分な集積所のスペースをとらない	44.5	39.1	60.9	48.4	36.8
3 集積所まで持ち運びがしやすい	65.4	63.0	71.0	70.9	66.7
4 ごみを集める人が収集しやすい	46.4	44.8	51.3	48.4	44.7
5 この地域における指導、決まり	9.6	1.3	34.8	6.0	5.3
6 隣近所がそのようにしている	4.5	4.9	2.8	4.4	4.4
7 容器が残らず、集積所がきれいになる	58.1	55.6	65.0	57.7	43.0
8 その他	4.7	5.3	3.0	2.8	5.3
	688	473	431	182	114

問39 【排出形態の実態】

【紙くず】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	32.4	39.3	1.1	5.4	9.9
2 透明なポリ袋	15.7	4.1	78.7	3.9	2.0
3 黒いポリ袋やビニール袋	35.4	40.1	5.3	50.4	30.5
4 紙袋	2.2	2.3	1.3	4.3	4.4
5 ひも等でたばねる	0.5	0.6	0.2	2.3	1.5
6 市設置の回収容器	0.7	0.7	1.9	0.4	0.0
7 コンテナボックス	2.3	1.9	4.8	3.5	3.5
8 自家処理	10.2	10.3	6.5	29.8	47.3
9 その他	0.7	0.9	0.2	0.0	1.0
	1295	1059	475	258	203

【野菜くず】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	34.8	42.0	1.3	7.8	13.1
2 透明なポリ袋	20.9	9.9	80.8	12.9	6.5
3 黒いポリ袋やビニール袋	35.6	40.7	6.5	49.2	35.2
4 紙袋	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5
5 ひも等でたばねる	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0
6 市設置の回収容器	0.8	0.8	2.1	0.8	0.0
7 コンテナボックス	2.2	1.8	4.6	1.6	5.0
8 自家処理	5.3	4.4	4.2	25.8	38.7
9 その他	0.5	0.4	0.2	1.6	1.0
	1295	1060	474	256	199

【プラスチック】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	33.9	41.1	0.9	11.5	11.1
2 透明なポリ袋	15.5	5.4	68.6	12.3	6.3
3 黒いポリ袋やビニール袋	30.4	33.0	11.3	42.5	27.4
4 紙袋	2.2	2.2	1.5	4.4	5.3
5 ひも等でたばねる	1.2	1.4	0.6	3.2	3.2
6 市設置の回収容器	9.6	9.8	10.6	4.0	4.7
7 コンテナボックス	3.3	2.9	5.3	4.4	6.3
8 自家処理	1.7	1.7	0.9	14.7	31.1
9 その他	2.2	2.5	0.4	3.2	4.7
	1264	1030	471	252	190

【割れたガラス】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	21.7	25.6	1.3	23.1	13.1
2 透明なポリ袋	14.0	8.9	37.6	16.9	13.6
3 黒いポリ袋やビニール袋	14.8	15.5	8.3	21.2	25.7
4 紙袋	8.2	9.2	3.6	10.2	12.0
5 ひも等でたばねる	0.4	0.4	0.4	0.8	0.5
6 市設置の回収容器	31.4	30.8	41.2	11.0	8.4
7 コンテナボックス	3.5	3.1	6.2	5.9	7.9
8 自家処理	1.7	1.8	0.4	1.6	7.3
9 その他	4.3	4.8	0.9	9.4	11.5
	1268	1037	468	255	191

【空かん】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	5.3	5.7	1.1	19.1	10.7
2 透明なポリ袋	7.5	5.5	13.3	18.0	12.8
3 黒いポリ袋やビニール袋	10.6	11.1	3.6	31.3	36.2
4 紙袋	1.4	1.2	0.8	8.2	11.7
5 ひも等でたばねる	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
6 市設置の回収容器	65.9	67.4	70.7	11.3	8.7
7 コンテナボックス	4.9	4.0	9.3	5.1	7.7
8 自家処理	0.6	0.8	0.0	0.8	6.1
9 その他	3.7	4.3	1.1	6.3	6.1
	1287	1051	474	256	196

【空き瓶】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	5.1	5.5	1.3	18.8	9.1
2 透明なポリ袋	6.3	4.7	10.8	15.7	9.6
3 黒いポリ袋やビニール袋	7.9	7.9	3.0	23.9	31.7
4 紙袋	1.1	1.0	0.6	7.1	10.2
5 ひも等でたばねる	0.2	0.3	0.4	0.0	0.5
6 市設置の回収容器	66.7	68.1	71.3	11.4	7.6
7 コンテナボックス	4.7	3.7	9.1	4.3	7.1
8 自家処理	0.9	1.0	0.2	2.4	6.1
9 その他	7.1	7.8	3.4	16.5	18.3
	1289	1054	474	255	197

【古新聞】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	2.4	2.9	0.0	0.8	2.1
2 透明なポリ袋	1.2	0.4	6.6	0.8	0.0
3 黒いポリ袋やビニール袋	4.5	5.4	0.9	5.1	5.1
4 紙袋	2.9	2.8	3.0	1.6	0.5
5 ひも等でたばねる	30.7	30.1	30.0	32.8	34.4
6 市設置の回収容器	3.0	2.0	8.5	1.2	1.5
7 コンテナボックス	0.7	0.4	1.5	0.8	2.1
8 自家処理	8.9	8.6	8.5	19.1	25.6
9 その他	45.8	47.5	41.1	37.9	28.7
	1279	1046	470	256	195

【古布】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	12.5	15.1	0.9	2.0	4.1
2 透明なポリ袋	6.7	1.6	30.2	3.3	0.0
3 黒いポリ袋やビニール袋	19.6	21.8	3.5	30.6	19.0
4 紙袋	3.9	4.2	3.5	4.9	2.1
5 ひも等でたばねる	12.9	12.5	14.4	14.3	15.9
6 市設置の回収容器	4.0	2.9	11.7	0.8	2.1
7 コンテナボックス	1.8	1.6	3.3	1.6	2.6
8 自家処理	10.6	10.4	8.0	24.1	37.4
9 その他	28.1	29.9	24.6	18.4	16.9
	1255	1026	460	245	195

【蛍光灯等】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	19.0	22.4	1.3	17.7	11.8
2 透明なポリ袋	8.9	8.5	7.8	20.5	15.9
3 黒いポリ袋やビニール袋	10.3	11.5	2.5	15.0	26.7
4 紙袋	4.9	5.8	0.2	6.3	9.2
5 ひも等でたばねる	0.7	0.7	0.9	0.8	1.0
6 市設置の回収容器	43.4	38.2	78.2	22.1	7.7
7 コンテナボックス	4.6	3.7	7.4	5.5	7.2
8 自家処理	1.1	1.3	0.4	0.4	8.7
9 その他	7.2	8.1	1.3	11.8	11.8
	1270	1037	472	254	195

【乾電池】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	5.9	6.2	1.9	12.5	8.8
2 透明なポリ袋	10.4	10.0	7.9	23.1	18.0
3 黒いポリ袋やビニール袋	7.5	7.9	3.2	12.1	27.8
4 紙袋	1.3	1.4	0.0	5.1	8.3
5 ひも等でたばねる	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
6 市設置の回収容器	61.3	60.5	77.1	29.3	8.8
7 コンテナボックス	4.0	3.0	7.2	5.5	7.7
8 自家処理	1.0	1.3	0.9	0.8	7.2
9 その他	8.6	9.7	1.9	11.3	13.4
	1276	1041	471	256	194

【ボタン型乾電池】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 ポリバケツ	5.0	5.2	1.8	12.8	7.8
2 透明なポリ袋	9.4	8.9	8.1	21.6	16.2
3 黒いポリ袋やビニール袋	6.9	7.4	2.6	12.4	25.7
4 紙袋	1.3	1.4	0.0	4.8	8.9
5 ひも等でたばねる	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
6 市設置の回収容器	50.3	47.9	72.9	27.2	8.4
7 コンテナボックス	3.8	2.6	7.2	5.2	8.4
8 自家処理	1.9	2.2	0.7	0.8	5.6
9 その他	21.4	24.2	6.8	15.2	19.0
	1227	998	458	250	179

問40 【特殊なごみの排出形態（次のようなことをしているか）】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 割れたガラスをそのまま出す	7.7	6.3	13.0	18.8	13.6
2 ガラスや陶器は紙に包んで出す	50.2	54.9	27.5	26.1	34.6
3 蛍光灯や電球は紙に包んで出す	35.8	41.0	10.1	18.8	24.8
4 乾電池は透明なビニール袋→回収容器	54.4	57.1	41.3	44.4	28.0
5 ボタン型電池は販売店で処分してもらう	18.5	20.4	9.9	8.1	8.9
6 壊れた家具や電気製品は、ごみ集積所に	4.2	4.3	3.1	7.3	19.1
7 壊れた家具や電気製品は、指定通り	63.3	61.9	75.7	57.9	46.7
	1317	1081	477	261	214

問41 【分別の実態】

【紙くずと野菜くず】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す 時による	40.0	36.1	58.1	70.0
たいてい分別しないで出す	15.2	9.7	7.9	7.7
	44.8	54.2	14.0	22.4
	1061	465	241	170

【紙くずとプラスチック】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す 時による	40.1	90.5	49.4	58.0
たいてい分別しないで出す	18.8	4.9	13.9	16.6
	41.1	4.7	36.7	25.4
	1057	471	245	169

【紙くずと割れたガラスや陶器】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す 時による	82.4	96.0	95.3	91.4
たいてい分別しないで出す	7.1	2.8	2.0	7.0
	10.5	1.3	2.8	1.6
	1056	470	253	186

【紙くずと空き缶】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す 時による	88.2	96.8	95.3	94.5
たいてい分別しないで出す	5.5	1.7	2.0	3.3
	6.3	1.5	2.8	2.2
	1060	474	254	181

【紙くずと空きびん】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す 時による	92.4	97.5	95.2	95.5
たいてい分別しないで出す	4.2	1.7	2.4	2.8
	3.4	0.9	2.4	1.7
	1054	472	252	178

【紙くずと古新聞】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す 時による	70.8	75.4	54.0	59.4
たいてい分別しないで出す	10.4	8.6	15.1	14.4
	18.8	16.0	31.0	26.3
	1046	468	234	160

【紙くずと古布】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	53.2	70.2	47.0	56.7
時による	15.1	10.2	17.8	15.3
たいてい分別しないで出す	31.7	19.6	35.2	28.0
	1045	469	236	157

【紙くずと蛍光灯や電球】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	85.7	97.7	98.0	95.6
時による	6.0	1.3	1.2	3.3
たいてい分別しないで出す	8.3	1.0	0.8	1.1
	1052	472	251	182

【紙くずと普通の乾電池】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	87.9	95.8	95.6	95.1
時による	5.5	1.9	2.0	2.8
たいてい分別しないで出す	6.6	2.3	2.4	2.2
	1052	472	252	182

【紙くずとボタン型電池】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	87.2	95.7	93.6	95.5
時による	6.4	2.1	4.0	2.8
たいてい分別しないで出す	6.5	2.1	2.4	1.7
	1021	468	249	178

【紙くずと壊れた家具】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	87.3	94.3	89.0	85.1
時による	6.9	2.3	5.7	9.7
たいてい分別しないで出す	5.8	3.4	5.3	5.1
	1026	470	246	175

【プラスチックと割れたガラスや陶器】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	64.8	61.9	79.1	62.7
時による	15.5	12.5	7.5	16.8
たいてい分別しないで出す	19.7	25.6	13.4	20.5
	1058	472	253	185

【プラスチックと空きびん】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	78.3	82.3	79.9	64.9
時による	9.4	8.1	8.7	16.2
たいてい分別しないで出す	12.4	9.6	11.4	18.9
	1053	469	254	185

【割れたガラスや陶器と空きびん】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	67.6	76.3	38.7	39.4
時による	10.8	9.8	11.3	12.2
たいてい分別しないで出す	21.6	13.9	50.0	48.4
	1058	469	256	188

【空きかんと空きびん】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	62.8	75.1	32.0	33.9
時による	8.3	7.2	10.3	15.6
たいてい分別しないで出す	28.9	17.8	57.7	50.5
	1059	473	253	192

【空きびんと蛍光灯や電球】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	73.6	86.9	58.3	43.9
時による	8.4	5.3	9.5	14.3
たいてい分別しないで出す	18.0	7.8	32.3	41.8
	1048	472	254	189

【蛍光灯や電球と普通の乾電池】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	74.4	67.2	57.7	41.5
時による	7.8	6.2	9.1	14.4
たいてい分別しないで出す	17.8	26.7	33.2	44.2
	1051	469	253	188

【普通の乾電池とボタン型電池】

	旧仙台	泉	宮城	秋保
たいてい分別して出す	54.6	49.5	34.8	35.9
時による	12.0	7.7	10.4	10.9
たいてい分別しないで出す	33.4	42.8	54.8	53.3
	1032	465	250	184

問42 【分別収集に関する意見】

『ごみを分けて出さないと、近所から何か言われるだろう』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	25.2	22.3	41.5	36.4	36.8
2 どちらかといえばそう思う	26.6	27.4	22.2	25.6	28.7
3 どちらかといえばそう思わない	13.1	14.2	6.1	8.0	8.1
4 そう思わない	35.2	36.1	30.2	30.0	26.5
	1256	1026	460	250	185

『ごみを分けて出しているのは、他の人もそうしているからだ』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	31.4	29.7	44.2	29.4	36.7
2 どちらかといえばそう思う	17.8	19.7	10.8	19.4	23.9
3 どちらかといえばそう思わない	12.7	13.1	9.0	8.5	10.6
4 そう思わない	38.2	37.5	36.0	42.7	28.9
	1247	1021	455	248	180

『私ごみを分けて出さないと、他の人に迷惑がかかるだろう』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	69.6	67.7	82.7	78.5	74.6
2 どちらかといえばそう思う	20.2	21.6	11.1	14.5	16.9
3 どちらかといえばそう思わない	2.5	2.6	1.7	0.8	2.1
4 そう思わない	7.7	8.0	4.6	6.3	6.4
	1267	1035	461	256	189

『決まりになっていることなのでごみを分けて出すのは当然だ』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	82.7	80.6	92.6	90.0	82.9
2 どちらかといえばそう思う	13.8	15.5	6.8	8.1	13.5
3 どちらかといえばそう思わない	1.6	1.8	0.2	0.0	1.0
4 そう思わない	2.0	2.1	0.4	1.9	2.6
	1288	1053	474	259	193

『ごみを分けて出せば、ごみ処理の効率がよくなる』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	87.7	86.4	95.1	91.9	89.8
2 どちらかといえばそう思う	10.3	11.5	4.1	5.8	8.2
3 どちらかといえばそう思わない	0.8	0.8	0.4	0.0	1.0
4 そう思わない	1.2	1.3	0.4	2.3	1.0
	1296	1061	469	260	196

『ごみを分けて出せば、資源の再利用に役立つ』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	82.1	81.1	90.5	76.8	67.2
2 どちらかといえばそう思う	14.1	15.2	7.2	16.6	24.5
3 どちらかといえばそう思わない	1.9	1.9	1.1	2.7	6.3
4 そう思わない	2.1	1.8	1.3	3.9	2.1
	1294	1060	471	259	192

『ごみを分けて出せば、環境汚染の防止につながる』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	80.9	79.9	89.4	80.2	75.9
2 どちらかといえばそう思う	14.8	15.8	7.7	16.0	18.9
3 どちらかといえばそう思わない	2.4	2.4	1.7	1.2	2.6
4 そう思わない	1.9	2.0	1.3	2.7	2.6
	1294	1060	470	257	191

『ごみを分けて出せば、焼却炉などの処理施設が長持ちする』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	77.7	77.1	86.8	77.0	73.7
2 どちらかといえばそう思う	17.5	18.1	10.5	16.3	18.4
3 どちらかといえばそう思わない	2.7	2.8	1.5	2.7	3.2
4 そう思わない	2.2	2.0	1.3	3.9	4.7
	1285	1053	469	257	190

『ごみを分けて出すのは、とても面倒だ』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	11.6	12.1	10.2	9.5	7.6
2 どちらかといえばそう思う	25.0	26.7	16.6	17.7	18.5
3 どちらかといえばそう思わない	13.8	14.1	10.9	10.2	13.6
4 そう思わない	49.7	47.1	62.3	62.6	60.3
	1278	1044	469	254	184

『ごみを出してよい日まで、家においておくと邪魔になる』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	20.4	20.7	20.7	18.5	18.9
2 どちらかといえばそう思う	27.0	27.4	26.3	28.0	22.2
3 どちらかといえばそう思わない	13.4	14.2	10.5	8.7	10.3
4 そう思わない	39.2	37.8	42.5	44.9	48.7
	1273	1041	468	254	185

『自分一人がごみを分けて出さなくても、大した影響はない』

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 そう思う	4.5	4.7	3.9	3.5	7.1
2 どちらかといえばそう思う	5.9	6.2	3.2	3.5	5.4
3 どちらかといえばそう思わない	13.7	15.2	7.1	11.8	12.0
4 そう思わない	75.9	73.9	85.8	81.2	75.5
	1279	1045	466	255	184

問4.3 【分別の希望】

(複数回答)

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 プラスチック類	44.3	40.5	66.9	31.4	30.8
2 水銀を含んだ物	80.4	80.3	82.6	79.3	62.2
3 ボタン型電池	65.9	66.9	65.8	63.6	48.6
4 普通の乾電池	66.8	66.9	70.0	65.9	46.3
5 ガラス類	70.4	70.9	73.0	67.4	50.5
6 古タイヤ	58.0	57.9	59.8	50.2	36.0
7 あきびん	66.9	68.0	68.1	53.3	45.8
8 金物	67.5	68.2	67.7	57.5	50.5
9 古紙	32.5	32.1	38.8	18.8	19.6
10 古布	25.5	24.0	34.4	13.0	13.6
11 タンス等	68.4	68.3	69.4	71.7	57.5
12 その他	2.4	1.9	3.6	0.8	3.7
13 分ける必要はない	0.8	0.7	1.5	1.2	0.9
	1316	1081	477	261	215

問4.4 【実行しているごみの減量方法】

(複数回答)

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 廃品回収	77.0	76.1	83.0	68.2	49.3
2 すぐごみになるものを不買	32.0	32.8	29.8	28.0	25.6
3 使えるうちは新しい物に買い換えない	56.9	57.1	51.8	50.6	50.7
4 自家焼却	24.8	25.3	17.0	47.9	63.3
5 生ごみを自家処理	12.5	11.5	11.7	33.0	38.6
6 生ごみ水を切って出す	69.7	69.6	74.8	56.7	41.9
7 その他	1.1	1.1	1.3	1.5	1.9
8 とくにない	4.0	4.3	2.9	4.2	3.3
	1317	1081	477	261	215

問45 【実行しているごみの再利用法】

(複数回答)

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 資源回収やちり紙交換などに出す	86.3	86.0	90.8	79.3	70.7
2 あきびん酒屋へ持って行く	47.4	47.6	47.0	58.6	54.0
3 バザーを利用	23.8	24.2	23.3	20.3	11.6
4 再利用可能なごみの分別	67.2	66.9	72.5	47.5	44.7
5 衣服などを親戚や知人に譲る	45.4	45.3	47.8	49.8	44.2
6 リサイクルショップの利用	7.1	7.6	7.8	5.0	4.2
7 その他	1.8	2.0	0.8	1.9	0.5
8 とくにない	4.1	4.3	2.7	6.1	7.9
	1315	1081	477	261	215

問46 【トイレのタイプ】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 水洗	76.6	76.2	88.3	43.6	23.2
2 くみ取り式水洗(簡易水洗)	3.8	3.6	3.8	15.6	8.9
3 くみ取り	19.6	20.2	7.9	40.9	68.0
	1303	1070	471	257	203

問47 【くみ取り方法】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 連絡しなくてもよい	76.6	88.4	32.7	8.2	6.4
2 たまったら業者に連絡	13.4	3.1	40.0	83.0	72.0
3 連絡して来てもらうこともある	8.5	8.1	18.2	4.8	6.4
4 くみ取ってもらっていない	1.6	0.4	9.1	4.1	15.3
	307	258	55	147	157

問48 【くみ取り頻度の実態】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 1カ月に1回位	78.4	86.2	47.1	27.7	17.3
2 1カ月半に1回位	4.3	2.0	13.7	16.3	7.5
3 2カ月に1回位	8.6	5.9	19.6	27.7	27.1
4 2カ月半に1回位	1.3	0.4	0.0	5.7	7.5
5 3カ月に1回位	3.0	1.6	7.8	14.9	24.8
6 その他	4.3	4.0	11.8	7.8	15.8
	301	253	51	141	133

問49 【くみ取り頻度の評価】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 少ない	10.3	11.5	3.9	2.9	7.7
2 ちょうどよい	88.7	87.8	96.1	96.4	89.2
3 多い	1.0	0.8	0.0	0.7	3.1
	301	253	51	140	130

問50 【くみ取り連絡への対応(業者はすぐに来るか)】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 すぐ来てくれる	39.4	37.6	58.0	62.0	62.9
2 来てくれるが、遅い	12.8	5.8	28.0	29.6	29.6
3 何度か連絡をしないと来てくれない	0.0	0.0	2.0	4.2	5.3
4 わからない	47.8	56.6	12.0	4.2	2.3
	274	226	50	142	132

問51 【くみ取りで支払う手数料の実態】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 1回あたり 500円未満	3.7	4.0	0.0	2.1	0.0
2 1回あたり 500円以上1000円未満	15.3	14.9	18.0	10.0	3.0
3 1回あたり1000円以上1500円未満	18.2	15.3	36.0	25.7	19.7
4 1回あたり1500円以上2000円未満	11.1	9.2	10.0	30.0	32.6
5 1回あたり2000円以上	10.4	8.0	30.0	25.0	38.6
6 月単位で一定額支払っている	37.4	44.6	2.0	2.9	0.8
7 年単位で一定額支払っている	4.0	4.0	4.0	4.3	5.3
	297	249	50	140	132

問52 【くみ取りの手数料に対する評価】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 高い	8.1	8.4	4.0	13.6	9.2
2 やや高い	16.5	16.0	24.0	23.6	17.7
3 ちょうどよい	68.4	67.6	64.0	60.0	66.9
4 やや安い	2.7	2.8	2.0	1.4	1.5
5 安い	4.4	5.2	6.0	1.4	4.6
	297	250	50	140	130

問53 【希望するくみ取り方法】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 定期がよい	90.1	96.1	66.0	46.2	35.8
2 連絡した方がよい	8.0	2.8	28.0	46.2	53.0
3 どちらでもよい	2.0	1.2	6.0	7.7	11.2
	302	255	50	143	134

問54 【居住地域】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 住宅地域	73.5	72.6	85.8	58.1	12.6
2 商業地域	18.7	20.7	8.3	5.4	11.7
3 工業地域	1.1	1.3	0.0	0.8	0.0
4 農村地域	6.8	5.4	5.9	35.7	75.7
	1300	1066	473	258	206

問56 【住居の形態】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 持ち家の一戸建	61.1	56.5	80.9	80.1	77.1
2 持ち家の中高層集合住宅	2.9	3.4	0.2	0.0	0.0
3 借家の一戸建	7.5	8.1	4.6	6.9	4.2
4 借家の民間木造アパート	7.7	8.5	4.2	2.3	3.3
5 借家の民間鉄筋アパート等	8.7	10.2	2.7	0.0	0.5
6 借家の公社・公団・公営住宅	5.9	6.3	4.8	3.5	0.0
7 社宅・官舎・独身寮	4.3	4.9	1.5	4.2	9.4
8 下宿・間借り・住み込み・寄宿舎	0.8	0.7	0.6	2.7	0.9
9 その他	1.1	1.3	0.4	0.4	4.7
	1314	1078	477	261	214

問57 【記入者の年齢】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
～19歳	0.5	0.6	0.0	3.5	0.5
20～29歳	12.1	13.4	4.2	8.8	8.5
30～39歳	19.8	19.0	23.6	18.8	19.8
40～49歳	30.0	21.8	32.7	30.3	18.9
50～59歳	21.0	21.1	22.6	17.6	21.2
60～69歳	16.3	16.9	13.3	16.1	23.6
70～歳	6.4	7.3	3.6	5.0	7.6
	1310	1075	474	261	212

問58 【記入者の性別】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 男	34.8	36.4	30.5	38.7	49.1
2 女	65.2	63.6	69.5	61.3	50.9
	1307	1072	475	261	212

問59 【世帯人数】

【 0歳～ 5歳】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
0人	87.2	73.7	79.4	74.0	56.2
1人	8.0	15.1	12.8	13.8	28.1
2人	4.0	10.8	7.6	11.8	13.8
3人	0.6	0.2	0.2	0.4	1.0
4人以上	0.2	0.2	0.0	0.0	1.0
	1276	1040	475	254	202

【 6歳～18歳】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
0人	63.4	66.9	48.4	55.5	54.5
1人	15.5	14.1	23.4	16.9	14.4
2人	15.5	14.0	22.7	18.9	23.8
3人	5.3	4.8	5.1	8.3	7.4
4人以上	0.4	0.3	0.4	0.4	0.0
	1275	1039	475	254	202

【19歳～64歳】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
0人	6.8	7.5	4.6	7.5	10.3
1人	19.2	21.3	10.1	11.8	16.8
2人	42.7	41.1	47.6	45.7	37.4
3人	18.5	18.4	21.3	18.1	20.2
4人	10.7	9.6	14.3	12.2	11.3
5人	1.2	1.3	1.9	3.2	2.5
6人	0.6	0.6	0.2	1.2	1.0
7人以上	0.2	0.2	0.0	0.4	0.5
	1274	1038	475	254	203

【65歳～】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
0人	75.1	73.7	79.4	74.0	56.2
1人	14.5	15.1	12.8	13.8	28.1
2人	10.1	10.8	7.6	11.8	13.8
3人	0.2	0.2	0.2	0.4	1.0
4人以上	0.2	0.2	0.0	0.0	1.0
	1275	1039	475	254	203

【世帯全体】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1人	16.9	18.3	8.2	11.8	16.3
2人	18.4	19.9	14.1	11.4	9.4
3人	17.1	17.2	19.0	18.1	11.9
4人	26.2	24.9	33.1	25.6	21.3
5人	10.7	10.2	13.1	16.5	16.3
6人	7.1	6.0	9.3	9.8	14.4
7人	2.4	2.2	3.0	3.9	7.4
8人	0.9	1.2	0.2	2.0	3.0
9人以上	0.3	0.2	0.2	0.8	0.0
	1274	1038	475	254	202

問60 【記入者からみた家計支持者の統柄】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 本人	38.7	40.9	32.2	35.1	48.2
2 夫または妻	51.8	49.1	61.4	51.6	36.6
3 子供（養理の関係も含む）	7.4	7.6	5.4	10.9	12.7
4 その他	2.1	2.4	1.1	2.4	2.5
	1240	1012	466	248	197

(b) 【家計支持者の職業】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 専業主婦	2.5	2.8	1.5	0.8	2.6
2 学生	3.7	4.4	0.2	1.6	0.5
3 臨時雇用（パート等）	3.8	4.1	2.2	2.8	3.1
4 常時雇用の一般従業者	62.0	59.8	68.3	66.3	61.3
5 自営業主および家族従業者	12.8	13.1	11.1	12.9	17.5
6 経営者（重役）役員	6.6	6.8	7.0	8.8	4.1
7 その他	8.6	9.1	9.8	6.8	10.8
	1230	1003	460	249	194

(c) 【家計支持者の就業先の規模】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 他の被雇用者なし	7.6	7.7	7.2	5.9	13.2
2 1～499人	57.5	58.4	54.5	58.0	56.8
3 500～999人	6.5	7.0	5.0	7.8	6.6
4 1000人以上	15.7	15.4	17.8	12.8	5.4
5 官公庁（公務員）	12.7	11.5	15.6	15.5	18.0
	995	790	404	219	167

(d) 【家計支持者の職業内容】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 事務的職業	19.6	18.7	20.5	22.0	12.3
2 販売的職業	19.1	20.0	17.1	19.3	13.5
3 熟練・労務的職業	20.1	20.2	20.8	28.0	36.8
4 専門的職業	21.6	21.6	21.3	13.8	9.9
5 管理的職業	12.0	11.6	15.8	11.0	6.4
6 農林水産業	1.7	1.8	0.7	0.9	8.2
7 その他	5.8	6.1	3.7	5.1	12.9
	1003	801	404	218	171

問61 【記入者の職業】

	仙台全体	旧仙台	泉	宮城	秋保
1 専業主婦	32.2	30.8	33.1	27.9	14.3
2 学生	4.0	4.8	0.2	2.8	0.0
3 臨時雇用（パート等）	12.9	12.4	14.7	13.0	11.1
4 常時雇用の一般従業者	29.4	29.4	32.9	31.2	38.6
5 自営業主および家族従業者	11.2	11.2	9.7	14.2	21.2
6 経営者（重役）役員	3.5	3.6	2.2	3.6	4.2
7 その他	6.9	7.8	7.2	7.3	10.6
	1216	990	456	247	189



エコマークとは「私たちの手で、地球を、環境を守ろう」という気持ち
を表した、環境保全に役立つ商品につけられるシンボルマークです。
環境(Environment)と地球(Earth)の頭文字「e」が人間の手の形とな
って、地球をやさしくつつみ込んでいるデザインになっています。
(エコマークの「エコ」とは私たち人間や生物が生きやすい環境
という意味です。)

平成元年11月発行

生活環境(ごみ等)に関する市民意識調査報告書

編集・発行 仙台市環境事業局

〒981 仙台市本町二丁目16番10号
(仙台大同生命ビル10階)

電話 022-261-1111

協力 生活環境研究会(東北大学文学部行動科学研究室内)

印刷 コーシン印刷株式会社

この報告書の本文用紙は、古紙再生紙を使用しています。